			_			^ DI II	щ	गर			<u>L</u>		子切子不
. 4	事業	業 名	障害者施策	推進協調	義会			025	予算	会計 款	一般会計 健康福祉費	; <b></b>	01
i	部	門	障害児·障害	害者福祉				113		項	社会福祉費	,	01
7	施	策	地域におけ	る自立し	した	生活の実現	ļ	1	目	目	身体障害者	福祉費	02
•	作成	部署	健康福祉局	障害福祉	上部门	障害企画課	09	01 16	連絲	各先	972-2585		
事			対象(誰な	を・何を	)			意	巡	ظ)	ういう状態に	こしたいのか	<b>\</b> )
業の	<u> </u>	章害者に	関する施策							-		推進について	て、必要な
目							事」	頁を調査	審請	義し	ます。		
的													
												<b>逆事する者等</b>	
事												及び障害者に	
業												義するもので する年度であ	
の			計画策定会									9 る中皮(4)	りり、旭州1田
内容	~_ V	<i>"</i> нхд с	ПЫЛЛСА				изж с	-11 / 1	/L \	• / 0			
谷													
88	±1,	/	HTT 15	左左	TO T	11 th A = 1		1					
H		年 度	昭和 48									条例、名古屋市障害者加	
_		・人員	16年度決算額	17年度決算	算額	18年度予算額	н н і	, <del>T</del> .				2次実施計画	無 頁
事第	養	(千円)	159	4	217	1, 908	拖	引載 個別	計画	名さ	屋市障害者	基本計画	8 頁
財	国•	県支出金					事	業の実	績	単位	16年度	17年度	目標 年度
源	地	方 債						会議開	侔				
内	その	----- 他特定財源					1	回数	IE.	口	1	1	_
訳	<u> </u>	般財源	159		217	1, 908							
			0. 1		0.1	0. 2	2	委員の	数	人	19	20	-
дву.	貝奴		0. 1		U. II								
11.50		t # へ ロ	めの世界を	2017 担任			白石	   ** : +		W / I	10万亩	17左曲	口+==10左车
		事業の目	的の成果を	測る指標		指標設		<u> </u>  考え方	·/=	単位	16年度	17年度	目標18年度
成		1	<b>的の成果を</b> 出席状況	測る指標		<b>指標設</b> 十分な審議と	幅点	い議論を		単位	<b>16年度</b> 84	<b>17年度</b> 85	目標18年度
成	哥	1		測る指標	票	指標設	: 幅点 でき	ぶい議論を さるだけ多			84	85	
		1		測る指標	票	<b>指標設</b> 十分な審議と うためには、	: 幅点 でき	ぶい議論を さるだけ多		単位		85	目標18年度 100
成果	哥	1		測る指標	<b>.</b>	指標設 十分な審議と うためには、 の委員の出席	: 幅広 でき が必	てい議論を さるだけ多 公要です。	数		84	85	
成	哥	委員の	出席状況	測る指標	<b>.</b>	指標設 十分な審議と うためには、 の委員の出席 会議を開催し	: 幅 位 き が が 、 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	てい議論を さるだけ多 公要です。 問査審議を	· 数 		84 目標 ( 100 )	85 目標 ( 100 )	
成果指	1	1	出席状況	測る指標	<b>票</b>	指標設 十分な審議と うためには、 の委員の出席	幅でが 、施策	ない議論を さるだけ多 必要です。 間査審議を き・事業の	· 数 	%	84	85	
成果	哥	委員の	出席状況	測る指標	<b>=</b>	指標設 十分な審議と うためには、 の委員の出席 会議を開催し うことにより	幅でが、施で、施での	い議論を さるだす。 を を を を を を を を を を を を を を を を を で を き を き	·数		84 目標 ( 100 )	85 目標 ( 100 )	
成果指	1	委員の	出席状況	測る指標	<b>=</b>	指標設 十分な審議と うために出席 会議を開催し うこと図るもの 進を図るもの	幅でが、施で、施での	い議論を さるだす。 を を を を を を を を を を を を を を を を を で を き を き	·数	%	84 目標 ( 100 ) 1 目標	85 目標 ( 100 )	
成果指	1	委員の	出席状況			指標設 十分な審議と うために出席 会議を開催し うこと図るもの 進を図るもの	: 幅でが 、施で指 : 施まま標	には、 はなでです。 でででででででいます。 でででできませる。 ででできませる。 ででできませる。 ででできませる。 ででできませる。 ででできませる。 ででできませる。 ででできませる。 ででできませる。 ででできませる。 でででできませる。 でででできませる。 でででできませる。 できる。 で。 できる。 で。	数に対金を	% □	84 目標 ( 100 ) 1 目標 ( )	85 目標 (100) 1 目標	
成果指標	① ②	委員の 会議開 る議開 者に関す	出席状況  「怪回数	<b>事業開</b> 総合的か	票	指標設 十分ない。 一会議といる 会。 一会の 一会の 一会の 一会の 一名の 一名の 一名の 一名の 一名の 一名の 一名の 一名の 一名の 一名	「	には、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	数 行推会た <b>事業</b> 下	% 回 の <b>改</b> 章害	84 目標 ( 100 ) 1 目標 ( ) <b>Z善点等</b> 者基本法に	85 目標 (100 ) 1 目標 ( )	100
成 果 指 標 名	1 ②	委員の 会議開 会議開 に関する	出席状況 催回数 「る施策の終済基本計画を	<b>事業開</b> 総合的か と策定し	<b>票</b>	指標設 十分なめ員のの 会議と図の 会議と図る回数を 時からの推進 た。	幅でが 、施で指 深を平	には、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	数 行推会た <b>事</b> り よ	% 回 の改章 9 障	84 目標 ( 100 ) 1 目標 ( ) <b>Z善点等</b> 者基本法に 章害者自立	85 <sup>目標</sup> ( 100 ) 1 <sup>目標</sup> ( ) 基づいて平月 支援法が施行	100 - <del>100</del> <del>100</del> されたこと
成果指標	1 ②	委員の会議開作会議開作を表する。 ( ) といっては、 ( )	出席状況 催回数 かる施策の終 が基本計画を 8年度は施第	事業開窓合策進協	<b>票</b>	指標設 十分なめ員 一分なめ員 一点をと図のの 一点をと図のの は、 一点で は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	幅でが、施の指って、施策を持って、施策を持っている。	い議論を おきな要 でで 審事を を で で で で で で で で で で で で で	数 行推会た <b>事</b> り 月 て	% 回 の で 事 り 障	84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>善点等</b> 者基本自計画 害福祉計画	85 <sup>  標</sup> ( 100 ) 1 <sup>  横</sup> ( ) 基づいて平行 を接策定するこ	100 - <del>  100</del> <del>  100</del> - <del>  100</del> - <del>  100</del> - <del>  100</del> -   100 -   100   1
成果指標名にま	1 ②	委	出席状況	<b>事業開</b> 総合策進協議 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>票</b>	指標設 十分に 一分の 一会 一点 一会 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点	幅でが、施で指の変を平、ない。	い。 議論けす 講論けす で で で で で で で で で で で で で	数 行推会た <b>事</b> り 月 て	% 回 の で 事 り 障	84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>善点等</b> 者基本自計画 害福祉計画	85 <sup>目標</sup> ( 100 ) 1 <sup>目標</sup> ( ) 基づいて平月 支援法が施行	100 - <del>  100</del> <del>  100</del> - <del>  100</del> - <del>  100</del> - <del>  100</del> -   100 -   100   1
成果指標名にま	1 ②	委	出席状況 催回数 かる施策の終 が基本計画を 8年度は施第	<b>事業開</b> 総合策進協議 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>票</b>	指標設十分のの 会う進議 特面にに	幅でが、施で指を平、なきにはき必能策あ楊を子、なき	い。 議論けす 講論けす で で で で で で で で で で で で で	数 行推会た <b>事</b> り 月 て	% 回 の で 事 り 障	84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>善点等</b> 者基本自計画 害福祉計画	85 <sup>  標</sup> ( 100 ) 1 <sup>  横</sup> ( ) 基づいて平行 を接策定するこ	100 100 - 対16年度に されたこと こととの意 犬沢への意
成果指標	1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	委(会(表(にでででまで <t< th=""><th>出席状況</th><th><b>事業開</b> 総合の定義 会策進に を が で が で で で で で に で で に で に で に で に で で で で</th><th><b>票</b></th><th>指標設 十分に変量を 一分を 一分を 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に</th><th>  「   「   「   「   「   「   「   「   「   「</th><th>いきなめ、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で</th><th>数 行推会た <b>事</b> り月でめ に が</th><th>% 回 の 3</th><th>84  F 標 ( 100 )  1  F 標 ( 上標 ( 上標 ( 上標 ( 上) ( 上海・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き</th><th>85 <sup>目標</sup> ( 100 ) 1 <sup>目標</sup> ( ) 基づいて平所 を策策定すること</th><th>100 - <del>  100</del> <del>  100</del> - <del>  100</del> - <del>  100</del> - <del>  100</del> -   100 -   100   1</th></t<>	出席状況	<b>事業開</b> 総合の定義 会策進に を が で が で で で で で に で で に で に で に で に で で で で	<b>票</b>	指標設 十分に変量を 一分を 一分を 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に 一点に	「   「   「   「   「   「   「   「   「   「	いきなめ、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	数 行推会た <b>事</b> り月でめ に が	% 回 の 3	84  F 標 ( 100 )  1  F 標 ( 上標 ( 上標 ( 上標 ( 上) ( 上海・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き	85 <sup>目標</sup> ( 100 ) 1 <sup>目標</sup> ( ) 基づいて平所 を策策定すること	100 - <del>  100</del> <del>  100</del> - <del>  100</del> - <del>  100</del> - <del>  100</del> -   100 -   100   1
成果指標	1 ②	委   (     会   (     表市、今ま     カ     大き     大き <th>出席状況 催回数 一る施策の 新者 本度 は 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</th> <th>事業開 総合策進に 管 活 に 活 に 活 に に に に に に に に に に に に に</th> <th><b>票</b></th> <th>指標設 十分ため 一会 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点</th> <th>  「幅でが 、施で指</th> <th>いるな 調達の表 には、 ででででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででかる。 でである。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 になる。 ででかる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 に、 にな。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に</th> <th>数 行推会た <b>業</b> り ま の は の に り に り に り に り に り に り に り に り に り に</th> <th>の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で</th> <th>84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b></th> <th>85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調</th> <th>100 -</th>	出席状況 催回数 一る施策の 新者 本度 は 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事業開 総合策進に 管 活 に 活 に 活 に に に に に に に に に に に に に	<b>票</b>	指標設 十分ため 一会 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点	「幅でが 、施で指	いるな 調達の表 には、 ででででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででかる。 でである。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 になる。 ででかる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 に、 にな。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に	数 行推会た <b>業</b> り ま の は の に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で	84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調	100 -
成果指標	1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	委(会(表(にでででまで <t< th=""><th>出席状況</th><th>事業開 総合策進に 管 活 に 活 に 活 に に に に に に に に に に に に に</th><th><b>票</b></th><th>指標設 十分ため 一会 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点</th><th>  「幅でが 、施で指</th><th>いるな 調達の表 には、 ででででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででかる。 でである。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 になる。 ででかる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 に、 にな。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に</th><th>数 行推会た <b>業</b> り ま の は の に り に り に り に り に り に り に り に り に り に</th><th>の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で</th><th>84  F 標 ( 100 )  1  F 標 ( 上標 ( 上標 ( 上標 ( 上) ( 上海・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き</th><th>85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調</th><th>100 100 - 対16年度に されたこと こととの意 犬沢への意</th></t<>	出席状況	事業開 総合策進に 管 活 に 活 に 活 に に に に に に に に に に に に に	<b>票</b>	指標設 十分ため 一会 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点	「幅でが 、施で指	いるな 調達の表 には、 ででででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででかる。 でである。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 になる。 ででかる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 に、 にな。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に	数 行推会た <b>業</b> り ま の は の に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で	84  F 標 ( 100 )  1  F 標 ( 上標 ( 上標 ( 上標 ( 上) ( 上海・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き・ 大き	85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調	100 100 - 対16年度に されたこと こととの意 犬沢への意
成果指標   名にま見   評	1 ②	委   (     会   (     表市、今ま     カ     大き     大き <th>出席状況 催回数 「本語を表」と 「本語を表 「本語を表」と 「本語を表 「本語を表」と 「本語を表 「本語を表 「本語を表 「本語を表」と 「本語を表 「本 「本語を表 「本 「本語を表 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本</th> <th>事業開 総合策進に 管 活 に 活 に 活 に に に に に に に に に に に に に</th> <th><b>票</b></th> <th>指標設 十分ため 一会 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点</th> <th>  「幅でが 、施で指</th> <th>いるな 調達の表 には、 ででででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででかる。 でである。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 になる。 ででかる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 に、 にな。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に</th> <th>数 行推会た <b>業</b> り ま の は の に り に り に り に り に り に り に り に り に り に</th> <th>の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で</th> <th>84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b></th> <th>85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調</th> <th>100 -</th>	出席状況 催回数 「本語を表」と 「本語を表 「本語を表」と 「本語を表 「本語を表」と 「本語を表 「本語を表 「本語を表 「本語を表」と 「本語を表 「本 「本語を表 「本 「本語を表 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本 「本	事業開 総合策進に 管 活 に 活 に 活 に に に に に に に に に に に に に	<b>票</b>	指標設 十分ため 一会 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点	「幅でが 、施で指	いるな 調達の表 には、 ででででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででかる。 でである。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 ででかる。 になる。 ででかる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 に、 にな。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に	数 行推会た <b>業</b> り ま の は の に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で	84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調	100 -
成果指標	1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	委( 会 ( ( に で ( で ( ( た ( ( た ( ( た ( ( た ( ( た ( ( た ( ( た ( ( た ( ) ( ( ) ( ) ( ) ( ( ) (<	出席状況 催回数 におよれている。 「本でである。」 「本でできる。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でできる。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。 「なっと。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本でででできる。 「本でででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本でででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「さ。 「本ででできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでもできる。 「もでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	事業開 会策進に行いる おいま おいま おいま おいま はい	<b>票</b>	指標設と、牌	幅でが	いるな。 である <b>化</b> 図成本推ま の要 である <b>化</b> 図成本推ま の要 論けす 議業めま <b>び</b> 84 した 合役 69 である 60 で	数 行推会た <b>業</b> り ま の は の に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で	84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調	100 - 対16年度に さととなり だ況への意 <b>総合評価</b>
成果指標   名にま見   評価	す ① ② (事屋り。) 踏 有達効	委(会)(表)(本)素(本)(本)(本)また(本)(x)(本)(x) <th< th=""><th>出席状況 催回数 たる施本度を 8年続、計画の 4 4 3</th><th>事業開 会策進に行 を推に行 に議 に議 を に で で で で で で で で に で で に で で に で で に に で で に に で に に に に に に に に に に に に に</th><th><b>聖</b></th><th>指標設と、席 特別の 会う進議 からのと 一様では、原 をと図催 のなまりのしまでは、 では、のででは、のででは、できます。 は、のででは、のででは、できます。 では、のででできます。 では、のででできます。 では、できます。 できまする。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できななななる。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな</th><th>幅でが、施で指の変を平、なきの体重の外</th><th>には、 でででである。 でででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 ではない。</th><th>数 行推会た <b>業</b> 『よびり ・を ・を</th><th>の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で</th><th>84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b></th><th>85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調</th><th>100 -</th></th<>	出席状況 催回数 たる施本度を 8年続、計画の 4 4 3	事業開 会策進に行 を推に行 に議 に議 を に で で で で で で で で に で で に で で に で で に に で で に に で に に に に に に に に に に に に に	<b>聖</b>	指標設と、席 特別の 会う進議 からのと 一様では、原 をと図催 のなまりのしまでは、 では、のででは、のででは、できます。 は、のででは、のででは、できます。 では、のででできます。 では、のででできます。 では、できます。 できまする。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できななななる。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	幅でが、施で指の変を平、なきの体重の外	には、 でででである。 でででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 ではない。	数 行推会た <b>業</b> 『よびり ・を ・を	の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で	84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調	100 -
成果指標   名にま見   評価	す ① ② (事屋り。) 踏 有達効	委(会)(表)(本)素(本)(本)(本)また(本)(x)(本)(x) <th< th=""><th>出席状況 催回数 におよれている。 「本でである。」 「本でできる。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でできる。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。 「なっと。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本でででできる。 「本でででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本でででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「さ。 「本ででできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでもできる。 「もでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで</th><th>事業開 会策進に行 を推に行 に議 に議 を に で で で で で で で で に で で に で で に で で に に で で に に で に に に に に に に に に に に に に</th><th><b>聖</b></th><th>指標設と、席 特別の 会う進議 からのと 一様では、原 をと図催 のなまりのしまでは、 では、のででは、のででは、できます。 は、のででは、のででは、できます。 では、のででできます。 では、のででできます。 では、できます。 できまする。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できななななる。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな</th><th>幅でが、施で指の変を平、なきの体重の外</th><th>には、 でででである。 でででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でのまる。 での。 でのまる。 での。 でのまる。 でのる。 での。 での。 でのる。 での。 でのる。 での。 での。 でのる。 でのる。 での。 での。 での。 でのる。 でのる。 での。 での。 での。 でのる。 での。 での。 でのる。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での</th><th>数 行推会た <b>業</b> 『よびり ・を ・を</th><th>の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で</th><th>84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b></th><th>85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調</th><th>100 - 対16年度にとない だといる。 総合評価 B 総合評価</th></th<>	出席状況 催回数 におよれている。 「本でである。」 「本でできる。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でできる。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でである。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。」 「本でできる。 「なっと。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本でできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本でででできる。 「本でででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本でででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「本ででできる。 「さ。 「本ででできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでできる。 「もでもできる。 「もでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	事業開 会策進に行 を推に行 に議 に議 を に で で で で で で で で に で で に で で に で で に に で で に に で に に に に に に に に に に に に に	<b>聖</b>	指標設と、席 特別の 会う進議 からのと 一様では、原 をと図催 のなまりのしまでは、 では、のででは、のででは、できます。 は、のででは、のででは、できます。 では、のででできます。 では、のででできます。 では、できます。 できまする。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できななななる。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	幅でが、施で指の変を平、なきの体重の外	には、 でででである。 でででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でのまる。 での。 でのまる。 での。 でのまる。 でのる。 での。 での。 でのる。 での。 でのる。 での。 での。 でのる。 でのる。 での。 での。 での。 でのる。 でのる。 での。 での。 での。 でのる。 での。 での。 でのる。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での	数 行推会た <b>業</b> 『よびり ・を ・を	の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で	84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調	100 - 対16年度にとない だといる。 総合評価 B 総合評価
成果指標   名にま見   評価	す ① ② (事屋り。) 踏 有達効	委(会)(表)(本)素(本)(本)(本)また(本)(x)(本)(x) <th< th=""><th>出席状況 催回数 たる施本度を 8年続、計画の 4 4 3</th><th>事業開 会策進に行 を推に行 に議 に議 を に で で で で で で で で に で で に で で に で で に に で で に に で に に に に に に に に に に に に に</th><th><b>聖</b></th><th>指標設と、席 特別の 会う進議 からのと 一様では、原 をと図催 のなまりのしまでは、 では、のででは、のででは、できます。 は、のででは、のででは、できます。 では、のででできます。 では、のででできます。 では、できます。 できまする。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できななななる。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな</th><th>幅でが、施で指の変を平、なきの体重の外</th><th>には、 でででである。 でででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でのまる。 での。 でのまる。 での。 でのまる。 でのる。 での。 での。 でのる。 での。 でのる。 での。 での。 でのる。 でのる。 での。 での。 での。 でのる。 でのる。 での。 での。 での。 でのる。 での。 での。 でのる。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での</th><th>数 行推会た <b>業</b> 『よびり ・を ・を</th><th>の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で</th><th>84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b></th><th>85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調</th><th>100 - 対16年度に さととなり だ況への意 <b>総合評価</b></th></th<>	出席状況 催回数 たる施本度を 8年続、計画の 4 4 3	事業開 会策進に行 を推に行 に議 に議 を に で で で で で で で で に で で に で で に で で に に で で に に で に に に に に に に に に に に に に	<b>聖</b>	指標設と、席 特別の 会う進議 からのと 一様では、原 をと図催 のなまりのしまでは、 では、のででは、のででは、できます。 は、のででは、のででは、できます。 では、のででできます。 では、のででできます。 では、できます。 できまする。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できまななる。 できななななる。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	幅でが、施で指の変を平、なきの体重の外	には、 でででである。 でででである。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でのまる。 での。 でのまる。 での。 でのまる。 でのる。 での。 での。 でのる。 での。 でのる。 での。 での。 でのる。 でのる。 での。 での。 での。 でのる。 でのる。 での。 での。 での。 でのる。 での。 での。 でのる。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での	数 行推会た <b>業</b> 『よびり ・を ・を	の で の で で で で で で で で で で で で で で で で で	84 I 標 ( 100 ) 1 I 標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	85 I 標 ( 100 ) 1 I でいががする を事業とあれる。 ために、調	100 - 対16年度に さととなり だ況への意 <b>総合評価</b>

:	事業	業 名	自立支援医	療(更生医	療)の給付		026 <b>予</b> 算		一般会計 健康福祉費		01
:	部	門	障害児・障害	<b>全</b> 者福祉			113 費		社会福祉費		01
	<del></del> 施	<del></del> 策	地域におけ		生活の実現		1 目		障害者自立		05
	<del>门</del> 作成	部署	健康福祉局				16 連絡		972-2587		
事			対象(誰を	[・何を)			意図	ځ)	ういう状態	にしたいのか	N)
業	身体	本障害者	の方(身体	障害者手帳	所持者)	自立	支援医療	(更	生医療)を	給付すること	こによっ
日目			吸器、ぼう	こう又は直	腸機能障	て、「	障害者のこ	方の:	生活を支援	します。	
的	l .		きます。								
			方が更生(障の供給が認め								
事			の併給が認め 透析療法、腎								
業		歯科	·矯正術 等								
の										自己負担となり している方には	
内容			ける負担軽減			HHJ(⊂1	可収な公別	貝ルが	座別 して元王(	2 ( V · 3)) (C ( 4	、万银百二只
台	また	、長期か	つ継続的な治	療を要する方	や過去1年間に	こ高額を	な医療費が終	継続し	して発生してい	いる方以外で、	世帯の所得が
PP			の場合は制度			ਯ <b>/-/</b> ਸ-	* + * +	البالية	□ 14 At = ○ A		
		年 度	昭和 25		処法令・要組						I . I
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	H 1 F	•	新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事為	<b>美費</b>	(千円)	514, 752	534, 923	589, 633	掲載	<b>人</b> 個別計画				頁
財	国・	県支出金	257, 376	267, 461	356, 236	事第	美の実績	単位	16年度	17年度	目標 年度
源	地	方 債				() 事	更生医療延	t.1			
内	その	---- 他特定財源					におけれる	件	54, 484	55, 787	_
訳		 般 財 源	257, 376	267, 462	233, 397						
			2.5	2. 5	2. 5	2					
49%	只双	. ()()	4. 0	4. 0	۵. ن						
	ᆿ	世 孝 ク ロ	めのは用た	別る性描	₽₩₩₩	中ろさ	そう士	** / <b>T</b>	16年 由	17年 由	日畑 左庄
	事	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設			単位	16年度	17年度	目標 年度
成	事		<b>的の成果を</b> 寮延べ給付何		事業の有効	性を泡	則るため	単位	<b>16年度</b> 54, 484	<b>17年度</b> 55, 787	目標 年度
	1					性を泡	則るため	単位件	54, 484	55, 787	目標 年度
成果					事業の有効	性を泡	則るため				目標 年度
果					事業の有効	性を泡	則るため		54, 484	55, 787	目標 年度
					事業の有効	性を泡	則るため		54, 484	55, 787	目標 年度
果指	1				事業の有効	性を泡	則るため		54, 484	55, 787	目標 年度
果					事業の有効	性を泡	則るため		54, 484	55, 787	目標 年度
果指	1				事業の有効	性を泡	則るため		54, 484 目標 ( )	55, 787 目標 ( )	目標 年度
果指	1			件数 ]	事業の有効	性を行しま	則るため した。 -	件	54, 484 目標 ( )	55, 787 目標 ( )	目標 年度
果指標平成	① ②	更生医	療延べ給付付	件数 ] ] 事業開始	事業の有効指標に設定	性を行しま	則るため した。 <b>:及び事業</b>	件の改	54, 484 目標 ( ) 目標 ( ) 文 <b>善点等</b>	55, 787 目標 ( )	-
果指標  平度成改	① ② 18年 Eされ	更生医	廃延べ給付付 ら障害者自立支払 担額が、所得階層	牛数  事業開始に 愛法の施行により	事業の有效指標に設定	性を注して変化性を表して医療	則るため した。 <b>: 及び事業</b> <sup>定される更生</sup>	件の改	54, 484  目標 ( )  目標 ( ) <b>対善点等</b> (給付が、自立支持	55, 787 目標 ( ) 目標 ( ) 爰医療(更生医療)	-
果指標  平度成改	① ② 18年 Eされ	更生医: 4月1日かました。 (二・・) 入院時	廃延べ給付付 から障害者自立支払 担額が、所得階層の食事療養費標準	生数 事業開始に 愛法の施行により 遅に応じた応能負担額が制度の	事業の有效 指標に設定 特からの状 、身体障害者福祉 担から、原則と 対象外となりま	性を <b>兄変化</b> 足法に 医療	則るため した。 <b>: 及び事業</b> 定される更生 費の1割とす	件の改医療の	54, 484  目標 ( ) <b>文善点等</b> 給付が、自立支持  発力となりました	55, 787 目標 ( ) 目標 ( ) 爰医療(更生医療)	の給付として制
果指標  平度成改	① ② 18年 Eされ	更生医: 	廃延べ給付付 から障害者自立支払 担額が、所得階層の食事療養費標準	生数 事業開始に 事業開始に 愛法の施行により 遅に応じた応能負 連負担額が制度の を要する方(腎臓	事業の有效 指標に設定 特からの状 、身体障害者福祉 担から、原則と 対象外となりま 機能障害、小腸	性をまれている。 <b>兄変</b> に 医 を と で た に で た に 障 に 零 害	則るため した。 <b>( ) 及び事業</b> 定される更生 東の1割とす 、免疫機能障	件 作 を 変 を を 変 る 定 を 害 の む る た る た る た る た る た る た る た る た る た る	54, 484  目標 ( ) <b>文善点等</b> 給付が、自立支持  発力となりました	55, 787 目標 ( ) 目標 ( ) 爰医療(更生医療)	の給付として制
果指標  平度成改	① ② 18年 Eされ	更生医: 	廃延べ給付付 から障害者自立支払 担額が、所得階展の食事療養費標準 の継続的な治療を	生数 事業開始に 事業開始に 愛法の施行により 遅に応じた応能負 連負担額が制度の を要する方(腎臓	事業の有效 指標に設定 特からの状 、身体障害者福祉 担から、原則と 対象外となりま 機能障害、小腸 定水準以上の方に	性をまれている。 <b>兄変</b> に 医 を と で た に で た に 障 に 零 害	則るため した。 <b>( ) 及び事業</b> 定される更生 東の1割とす 、免疫機能障	件 作 を 変 を を 変 る 定 を 害 の む る た る た る た る た る た る た る た る た る た る	54, 484  目標 ( ) <b>文善点等</b> 給付が、自立支持  発力となりました	55, 787 目標 ( ) 目標 ( ) 爰医療(更生医療)	の給付として制
果 指 標     成改な	① 2 1 8 年 され 点 正 変 更 点	更生医: 	廃延べ給付付 から障害者自立支援 担額が、所得階層 の食事療養費標準 つ継続的な治療を ている方を除き、	牛数 事業開始に 養法の施行により 愛法の施行により 愛はない制度の を要する方(腎臓 世帯の所得が一	事業の有效 指標に設定 特からの状況 、身体障害者福祉 、身体障害者福祉 対象外となります。 対機能障害、小腸材 定水準以上の方に 市評価	性をまれている。	則るため した。 <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	件 件 医療の まる 定率 害 の た。	54, 484  目標 ( ) <b>対善点等</b> 2給付が、自立支持  3負担となりました  7) や過去1年間に	55, 787 目標 ( ) ( ) 爰医療(更生医療) た。 高額な医療費が継	の給付として制
果指標  平度成改	① 2 1 8 8 され点 有	更生医: (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	原延べ給付付 を障害者自立支援 担額が、所得階層の食事療養での継続的な治療を ている方を除き、 4 給管	牛数 事業開始に 養法の施行により 選性のできる。 選性のできる。 選性のできる。 選性のできる。 選性のできる。 選性のできる。 は相対のできる。 はればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	事業の有效 指標に設定 特からの状 、身体障害者福 担から、とない場別を 大きない、小腸材 定水準以上の方が 市評価 かの医療に限 かの医療に限	性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	則るため ことで また。 <b>注及び事</b> 東大の1割とで を を を を を を を を を を を を を	件 件 の で 変 変 を 変 る 害した の で さ も 年 度	54,484  目標 ( ) <b>対善点等</b> A合付が、自立支持 A会担となりました ( ) や過去1年間に と思われます。 までは世帯の所	55,787  目標 ( )  展標 ( )  爰医療(更生医療) た。 高額な医療費が継 一方、に応じて費用	の給付として制 続して <b>総合評価</b>
果 指 標     成改な	① 2 1 8 年 され 点 正 変 更 点	更生医: 	療延べ給付付 なら障害者自立支援 担額事療養の食事療養の の食事療を治療を でいる方を除き、 をで費の	牛数 事業開始に 養活に応報が上のでは、 事業には、 を関連している。 事業には、 のでは、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	事業の有效 指標に設定 特からの状 、身体障害原則ま 対象をとない場 を が を が を が を が を が を が を が を が と な が と な が と な が と が と が た が た が た が た が た が た が た が た	性し <b>兄</b> 症 した機は <b>変</b> に 医。障度 のでは、 <b>代</b> 規 療 害対 のとお、 のよう。	則した。 <b>( )</b> <b>( )</b> <b></b>	件 体 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	54,484  目標 ( ) <b>対善点等</b> 給付が、自立支持  発力となりました。  は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	55,787 目標 ( ) ( ) 爰医療(更生医療) た。 高額な医療費が継 一方、給付対象	の給付として制
果 指 標     成改な	① 2 1 8 8 され点 有	更生医: (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	療延べ給付付金を変数である。  「ないる方を除き、 ないる方を除き、 ないる方を除き、 ないる方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方をしている方ができ、	牛数 事業開始に 事業開始に 選集のでは、たのでででででででである。 事業には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	事業の有效 指標に設定 特からの状 、身体障害原則ま 対象をとない場 を が を が を が を が を が を が を が を が と な が と な が と な が と が と が た が た が た が た が た が た が た が た	性し <b>兄</b> 並 した機は <b>変</b> に 医。障度 のでは低度 が単しら(低現 療 害対 のよる、)のよる、)のよう。	則した。 <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(は)</b> <b>(本)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(4)</b> <b>(5)</b> <b>(5)</b> <b>(6)</b> <b>(6)</b> <b>(6)</b> <b>(6)</b> <b>(6)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b>(7)</b> <b></b>	件 作 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	54,484  目標 ( ) <b>対善点等</b> 給付が、自立支持  発力となりました。  は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	55,787  目標 ( )  展( )  爰医療 (更生医療) た。 高額な医療費が継 一方応じてて男別として	の給付として制 続して <b>総合評価</b>
果 指 標	① 2 1 8 8 c h 点 有 達	更	療延べ給付付 なら障害者自立支援 担額事療養の食事療養の の食事療を治療を でいる方を除き、 をで費の	牛数	事業の有效 指標に設定 特からの状 、身体障害原則を 対機能障系とない。 対機能で で で で が で が で で で に で が に で が に が に が	性し <b>兄</b> 並 しし幾ま <b>変</b> に 医、 能度 <b>変</b> に 医、 能度 <b>で</b> は低行 ・ では、 では、 では、 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない こうしょう はいい はいかい はいい はいかい はいかい はいい はいかい はいい はいかい はいい はい	則した。 <b>(及び)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(a)</b> <b>(b)</b> <b>(b)</b> <b>(b)</b> <b>(b)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b>	件 作 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	54,484  目標 ( ) <b>対善点等</b> 給付が、自立支持  発力となりました。  は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	55,787  目標 ( )  展( )  爰医療 (更生医療) た。 高額な医療費が継 一方応じてて男別として	の給付として制 続して <b>総合評価</b>
果 指 標	① 2 1 E T T T T T T T T T T T T T T T T T T	更	療延べ給付付 の	中数 事業開始り 事業開始り 憲法の応制のでは、一方ので	事業の有效 指標に設定 特からの状況 、	性し <b>兄</b> 並 しし幾ま <b>変</b> に 医、 能度 <b>変</b> に 医、 能度 <b>で</b> は低行 ・ では、 では、 では、 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない こうしょう はいい はいかい はいい はいかい はいかい はいい はいかい はいい はいかい はいい はい	則した。 <b>(及び)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(a)</b> <b>(b)</b> <b>(b)</b> <b>(b)</b> <b>(b)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b>	件 作 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	54,484  目標 ( ) <b>対善点等</b> 給付が、自立支持  発力となりました。  は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	55,787  目標 ( )  展( )  爰医療 (更生医療) た。 高額な医療費が継 一方応じてて男別として	の給付として制 続して <b>総合評価</b>
果 指 標	① 2 1 E T T T T T T T T T T T T T T T T T T	更	療延べ給付付 なら障害者自立支援 担額事療養の食事療養の の食事療を治療を でいる方を除き、 をで費の	中数 事業開始り 事業開始り 憲法の応制のでは、一方ので	事業の有效 指標に設定 特からの状況 、	性し <b>兄</b> 並 しし幾ま <b>変</b> に 医、 能度 <b>変</b> に 医、 能度 <b>で</b> は低行 ・ では、 では、 では、 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない こうしょう はいい はいかい はいい はいかい はいかい はいい はいかい はいい はいかい はいい はい	則した。 <b>(及び)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(な)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(お)</b> <b>(a)</b> <b>(b)</b> <b>(b)</b> <b>(b)</b> <b>(b)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b> <b>(c)</b>	件 作 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	54,484  目標 ( ) <b>対善点等</b> 給付が、自立支持  発力となりました。  は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	55,787  目標 ( )  展( )  爰医療 (更生医療) た。 高額な医療費が継 一方応じてて男別として	の給付として制 続して <b>総合評価</b>

	事業	名	身体障害者	(児)補装具	交付			027	J	計				01
	<u></u>	門	障害児・障害	主者福祉				113			健康福祉費 社会福祉費			03
	<del>"</del> 施	<u> </u>			生活の実現	ļ		1			障害者自立			05
	<u>//</u> 作成音		健康福祉局	- ,	.,,	09	01	_				者) 2585 (児)		00
			対象(誰る	を・何を)								にしたいのカ	۱۱)	
事			者補装具)	J. 10 F. 1 0	生のしの							生活の能率の		
業の	夕14   方	<b>厚</b> 吉石	「手帳を交付	371/C18	成以上の							ついては、* 地を育成・ <b>!</b>		
目		「害鄣z	児補装具)			す。		724	ши	, .	01000000	20 C F 19% P	771	
的		障害者	手帳を交付	された18	歳未満の									
	方		. (100)	15.5			1. 5						T	
事業			f(児)の身体 を行い、必									が医学的判別	Ē (,	必要な
												ッ。 を上乗せしナ	こ額	を限度
の内	額と	して設	党定し、助成	しています	0									
容	<b>重</b> 業	盟始在	速: 身体障	宝者 四和	125年度 身	′体陨	音宝	炉	昭和:	20名	主産			
	于人	N12H	及·为种种		120   12 7	17*11-		_				児童福祉法	第2	1条の
開	始。	車 度	昭和 25	年度 根据	処法令・要約	岡等	6、	名古	屋市	身	体障害者・	児ストマ用		
							成	事業是	実施星	要網	iii			
事	業費•	人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額		画			世糸	2010第	2次実施計画	無	頁
事第	·費(·	千円)	745, 505	738, 848	660, 191	掲	載	個別語	計画			_		頁
財		支出金	364, 881	372, 399	391, 110	事	業(	の実績	<b>漬</b>	单位	16年度	17年度	目	票年度
源		方 債			 	1	交付	计件数	数	件	28, 588	29, 425		_
内		持定財源				<u> </u>	/ (1	1112	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
訳		財源		·	-	2								
職	員数		4. 2	4.2	3.1		-				1055	475-		* <i>-</i> -
成			的の成果を	測る指標	指標設					单位		17年度	日	票年度
果	$\left  \begin{array}{c} 1 \end{array} \right ^{2}$	を付件	釵		制度の浸透大の視点が					件	28,588 <sub>目</sub> 標	29, 425 <sub>目</sub> 標		_
				]	指標に設定	-				'	( )			
指											- II			
標	2	[ —		]							目標( )	目 標 ( )		
				事業開始	ー 時からの状え	兄変	化及	及び事	事業の	り む C		,		
												L法令が障害		
			ます。それに 及び日常生活								(1割負担)	へと変更と	なり	ます。
<i>51</i>	<b>□、</b> 作	衣弁ル	又し、日市工作	コル共削し			/J-11	14241	U -	0			4/1	人部/正
重亚	有		<b>1</b> 自/6	大陪宝老/旧	市評価		捕る	t. σ	)でお	、ス	ため生活し	:必要不可欠	花	合評価
П		<u></u> 性	- なり									活の能率の		D
		<b>龙</b> 度	<b>一</b> 向_	上を図り、身	身体障害児は	こつ	いて	には、	将来	社	会人として	独立自活す		В
価	効 2	率 性	<b>3</b> るた		と育成助長で			-	も有	効	です。			
					平価委員会(		部評	<b>評価</b>					総	合評価
1	合付ま	でのユ	平均日数の知	豆縮に努めて	てください。									D

Į.	事;	業 名	重度身体 日常生活			障害児等に	対す	る	028 <b>う</b>	款	一般会計 健康福祉費			+ .	01 03
	邹	門	障害児·阿	章害者福	祉				113 書	- I	社会福祉費			[(	01
	拖	策	-			生活の実現			1		障害者自立	Z支援費		(	05
	作成	部署				障害企画課	09	01			972-2587				
事業		504H	対象(計			1 to 6/2	<b>4</b> .	<del>-!</del> 17 <del>-!</del> 1				にしたいのな		L11 =	_
水の目的			身体障害				V 13	ます。		,	, , .	上を図ることを			(
												川具を給付			
事業												の所得状況は 対象者要件・			
まの												对多有安件: 表置•視覚障害			
内												b行支援用具			
容	す。														
	事	業開始年	.度:重度。	身体障害	者(昭	沼和44年度)	、重	度障	害児等	等(昭	和47年度)				
												第2項・児童			
開	始	年 度	昭和 4	4 年度	根	処法令・要約	岡等					本障害者日常 度障害児日常			
									合付要		17年11年/	文件百儿日市	1 11 11	1/17	
事	業費	・人員	16年度決算	額 17年度	決算額	18年度予算額	計				紀計画2010第	2次実施計画	無		頁
_		(千円)	139, 89	95 134	1, 657				個別計i				7111		頁
財	国•	県支出金	70, 02		, 996	,		⋾業0	つ実績	単位	16年度	17年度	目材	票年月	
源	<u></u>	方 債					_		7 7 (1)(		13 1 12			-	_
内	<b></b> -	´ 他特定財源				{·	1	給作	计件数	件	2,003	1, 901		_	
訳	<u></u>	般財源	69, 87	70 67	, 661	73, 746									
н, ,		(人)	2.		2. 7	,	2								
1130			的の成果			指標設	定の	)考え	え方	単位	16年度	17年度	目材	票年	变
成		<u> </u>				事業の有効	• –		- · •						
		給付件	数			として設定	きしる	ました	た。	1-1	2,003	1, 901			
果	1	۱ ر			٦					件	目標	目標		_	
指		[			<b>–</b> J						( )	( )			
	_														
標	2	[ —			— ]						目標()	目標()			
				主業	盟始日	<u> </u> 時からの状況	足迹	化及	7/(重	≝の₹	<u> `</u> //	,			
暗铜	丰者	自立支持	受法の施行									変障害児等と	もに	根拠	夫
令力	ジ障	害者自立	立支援法第	977条	第15	頁第2号とた	より	ます	。それ	1に付	半い、日常生	E活用具及び	補装	具間~	で
							支援	事業	に位置	量づけ	けられ、利用	者負担や品	目に	ついて	$\subset$
は、	市	が決定を	とすること	になり	ます。										
						市評価	i						総	合評値	Б
評	有	効 性									ごのハンディ	<b>'</b> キャップを			
	達	成度	—————————————————————————————————————	経滅する	本事美	業は、有効で	であ	ると	考える	ます。				В	
יבו	効	率 性	3												
価	W	<del>+</del> II	J		∕∓≖⊬≡	证据未足合/	D H	<b>並</b> л =π	/ <b>#</b>				4//	ு ≕ா /=	II.
4,	<u>Д</u> .	ナベクロ	<b>万払 ロ 坐4</b> σ			評価委員会(		司科	Щ				术	合評値	Щ
术	百竹	まじの当	户均日数0	プ起補に	分(9)	てください。								В	

						1	I . = I	4박 스 취			1.,
1	事 業 名	特別障害者	手当等の対	<b></b>		029 <b>予</b>	会計款	一般会計 健康福祉費			01 03
ì	部門	障害児・障害				113 費		社会福祉費			01
j	施策	地域におけ	る自立した	と生活の実現	L	1		身体障害者			02
•	作成部署	健康福祉局	障害福祉部	障害企画課	09 (	01 16 連絡	洛先	972-2585			
事		対象(誰る							にしたいのカ		
業の	重度の障害				手当!	を支給する	るこ	とにより福	祉の増進を	図ります	0
目	常時介護を	・必要とする る在宅の重									
的		- '		くん) ぞれ上乗せして	1分4日	女に古公1~	C1. \ d	= - <del> -</del>			
	 国のナヨ額に 1 障害児福		座巾かてれる	てれ上来せして	、刈豕化	白に又稍し	CVJ	5 9 0			
	(1)対象者	政令で定	める程度の重	度の障害を有	するた	めに、日常	生活	において常時	の介護を要する	る20歳未済	茜の
	障害児の方 (2)支給金額	額 障害の程	度等によって	月額12,190円	~28, 2	290円(2月	• 5月	・8月・11月 <i>1</i>	こ支給)		
事	(3)支給制限								、所得が所得	制限額を起	習え
業	ているとき。 2 特別障害	者手当									
の t	(1)対象者	政令で定	める程度の著	しい重度の障	害を有	するために	、日	常生活におい	て常時特別の	介護を有っ	する
内容	20歳以上の障 (2)支給金額		<b>痩</b> 筌によって	月額31,440円	~38 5	530円 (2月	• 5月	· 8月 · 11月 l	で支給)		
Ú	(3)支給制限								き、所得が所得	制限額を	超え
	ているとき。 3 その他										
	昭和 6						当受約	含者のうち、『	章害基礎年金等	を受給で	きな
	い方に対して	、経過措置と	して従来の社	冨祉手当を支糸							
									関する法律、特 ♂、障害児福祉		
開	始 年 度	昭和 61	年度 根	拠法令・要約	岡等障	章害者手当の	)支給	に関する省分	3、名古屋市障	害児福祉	手当
					等。	导支給要綱、 A	月国	年金法等の-	一部を改正する	法律附則	第97
事	業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画	3 名古屋第	折世糸	己計画2010第	2次実施計画	無	頁
事当	<b></b> 養費 (千円)	1 050 007	1 001 075	1 000 001	<b>∔</b> ⊟ <b>±</b> l	4.				<b>-</b>	
7/	~ >≂ \       /	1, 258, 807	1,201,375	1, 320, 991	掲載	戊 個別計画					頁
	国・県支出金	809, 474				以  個別計画 業の実績	単位	16年度	17年度	目標 5	
財					事第	業の実績	単位			目標:	
財	国・県支出金				事第	業の実績	単位	<b>16年度</b> 14,520	<b>17年度</b> 14, 525	目標。	
財源	国・県支出金地 方債	809, 474	816, 512	854, 562	事業	<b>業の実績</b> デ支払期(年4 目) ごとの支給人	単位			目標・年	
財源内訳	国・県支出金 地 方 債 その他特定財源	809, 474	816, 512	854, 562 	事第	<b>業の実績</b> デ支払期(年4 目) ごとの支給人	単位			目標 4	
財源内訳職	国・県支出金 地 方 債 その他特定財源 一般財源 員数(人)	809, 474	816, 512 	854, 562 466, 429 6. 9 指標設	事業の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の	<b>業の実績</b> - 支払期(年4 引) ごとの支給人(の合計	単位			目標名	丰度
財源内訳	国・県支出金地 方 債 その他特定財源 一般財源 員数(人) 事業の目 各支払其	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 明(年4期)	816, 512 444, 863 6. 9 <b>測る指標</b>	854, 562 466, 429 6. 9 指標設 本市におい	事業各期員 ② 定の な 、 ど	業の実績 - 支払期(年4 - 対 ごとの支給人 の合計 - 対 が との 支給人	人	14, 520	14, 525 <b>17年度</b>	-	丰度
財源内訳職	国・県支出金地 方 債 その他特定財源 一般財源 員数(人) 事業の目	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 明(年4期)	816, 512 444, 863 6. 9 <b>測る指標</b>	854, 562 466, 429 6. 9 指標設 本市におい 方が手当を	事 (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	業の実績 - 支払期(年4 - 対 ガ との支給人 の合計 - 対 が だけの しているか	人	14, 520 16年度 14, 520	14, 525 17年度 14, 525	-	丰度
財源内訳職 成 果	国・県支出金地 方 債 その他特定財源 一般財源 員数 (人) 事業の目 を支払其	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 明(年4期)	816, 512 444, 863 6. 9 <b>測る指標</b>	854, 562 466, 429 6. 9 指標設 本市におい	事 (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	業の実績 - 支払期(年4 - 対 ガ との支給人 の合計 - 対 が だけの しているか	単位 人 単位	14, 520	14, 525 <b>17年度</b>	-	丰度
財源内訳職成	国・県支出金地 方 債 その他特定財源 一般財源 員数 (人) 事業の目 を支払其	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 明(年4期)	816, 512 444, 863 6. 9 <b>測る指標</b>	854, 562 466, 429 6. 9 指標設 本市におい 方が手当を	事 (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	業の実績 - 支払期(年4 - 対 ガ との支給人 の合計 - 対 が だけの しているか	単位 人 単位	14, 520 16年度 14, 520 目標 ( )	14, 525 17年度 14, 525 目標 ( )	-	丰度
財源内訳職 成 果	国・県支出金地 方 債 その他特定財源 一般財源 員数 (人) 事業の目 を支払其	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 明(年4期)	816, 512 444, 863 6. 9 <b>測る指標</b>	854, 562 466, 429 6. 9 指標設 本市におい 方が手当を	事 (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	業の実績 - 支払期(年4 - 対 ガ との支給人 の合計 - 対 が だけの しているか	単位 人 単位	14, 520 16年度 14, 520	14, 525 17年度 14, 525	-	丰度
財源内訳職成果指	国・県支出金 地 方 債 その他特定財源 一般財源 員数(人) 事業の目 (1)	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 明(年4期)	816, 512 444, 863 6. 9 <b>測る指標</b> ごとの支給	854, 562 466, 429 6. 9 <b>指標設</b> 本市におい 方が手当を を指標とし	事 (1) (2) (定) て受ま	業の実績 r 支払期(年4 f) ごとの支給人(の合計 <b>考え方</b> がれだけのしているか	単位 人 単位	14, 520 16年度 14, 520 目標 ( )	14, 525 17年度 14, 525 目標 ( )	-	丰度
財源内訳職 成 果 指 標	国・県支出金 地 方 債 その他特定財源 一般財源 員数(人) 事業の目 ① 各支払其 ① [	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 明(年4期)	816, 512 	854, 562 466, 429 6.9 <b>指標設</b> 本市におい 方が手当をを指標とし	事 事 (1) ② (2) 定 で (2) た (3) とした (2) な (4) とした	業の実績  「支払期(年4 引) ごとの支給人 (の合計  考え方 ごれだけの しているか こ。	単位人	14,520 16年度 14,520 目標 ( ) 日標 ( ) 文善点等	14, 525 17年度 14, 525 目標 ( )	目標 4	<b>下度</b>
財源内訳職 成 果 指 標 重	国・県支出金地 方 債 その他特定財源 一般 財源 員数 (人) 事業の目 ① 名支払其 ① ② 〔	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 明(年4期) 計	816, 512 	854, 562 466, 429 6.9 <b>指標設</b> 本市におい 方が手票とし <b>時からの状</b> して昭和5	事 事 (2) 定 で (2) た (2) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	業の実績  「支払期(年4 目) ごとの支給人 (の合計  考え方 ごれているか こ。  と及び事業  0月に福	単位人	14,520 16年度 14,520 日標 ( ) 日標 ( ) 又善点等	14,525 17年度 14,525 <sup>目標</sup> ( ) <sup>日標</sup> ( )	<b>目標 4</b> - が、昭和	<b>下度</b>
財源內訳職 成果指標 重1	国・県支出金地 方 債 その他特定財源 一般 財源 員数 (人) 事業の目 ① 名支払其 ① ② 〔	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 明(年4期) 計	816, 512 	854, 562 466, 429 6.9 <b>指標設</b> 本市におい 方が手票とし <b>時からの状</b> して昭和5	事 事 (2) 定 で (2) た (2) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	業の実績  「支払期(年4 目) ごとの支給人 (の合計  考え方 ごれているか こ。  と及び事業  0月に福	単位人	14,520 16年度 14,520 日標 ( ) 日標 ( ) 又善点等	14, 525 17年度 14, 525 目標 ( )	<b>目標 4</b> - が、昭和	<b>下度</b>
財源內訳職 成果指標 重1	国・県支出金地 方 債 その他特定財源 一般 財源 員数 (人) 事業の目 ① 「	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 明(年4期) 計	816, 512 	854, 562 466, 429 6.9 <b>指標設</b> 本市におい 方が手当を を指標とし <b>時からの状</b> して昭和50 福祉手当制度	事 (1) (2) (定) で受ま (2) でで受ま (2) でで受ま (4) では (4) では (5) では (6) では (7) では (7) では (7) では (8) では (9)	業の実績  「支払期(年4 目) ごとの支給人 (の合計  考え方 ごれているか こ。  と及び事業  0月に福	単位人	14,520 16年度 14,520 日標 ( ) 日標 ( ) 又善点等	14,525 17年度 14,525 <sup>目標</sup> ( ) <sup>日標</sup> ( )	<b>目標 4</b> - が、昭和は廃止し	<b>下度</b>
財源内訳職 成 果 指 標 重10	国・県支出金地 方 債 その他特定財源 一般財源 一般財源 各人 〔	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 朗(年4期) 計	816, 512 444, 863 6. 9 <b>測る指標</b> ごとの支給 事業開始 する、障害児	854,562 466,429 6.9 <b>指標設</b> 本市におい 方が指標とし た出標とし は本が手がはでいる。 を指標とし を指標とし を指標とし で昭和50 福祉手当制原	事 (1) (2) 定 (2) 定 (2) 定 (3) で (4) に (4) に (5) に (5) に (6) に (7) に	<b>業の実績</b> 「支払期(年4 目) ごとの支給人目の合計 <b>考え方</b> ごれだいるか こ。 <b>と及び事業</b> に別された	単位人単位人人の改手と	14,520 16年度 14,520 日標 ( ) 日標 ( ) 文善点等 に伴い、福	14,525 17年度 14,525 日標 ( ) 日標 ( ) おまりました  記祉手当制度	<b>目標 4</b> - が、昭和	<b>下度</b>
財源内訳職 成 果 指 標 重1	国・県支出金 地 方 債 その他特定財源 一般財 員数 (人) 事業の目 ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	809, 474 449, 333 6.9 <b>的の成果を</b> 期(年4期) (児) に対す 川障害者手	816, 512 444, 863 6. 9 <b>測る指標</b> ごとの支給 事業開始 する、障害害児 この最重度の最重度のよる。	854,562 466,429 6.9 6.9 指標設 本市が手にお当をを を指標とし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事     ①     ②     定     で     で     の     の     で     の<	<b>業の実績</b> 「支払期(年4月)」の合計 <b>考え方</b> されているか ・ 大人である。 ・ 大人ではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	単位人単位人の改手と別の扱	14,520 16年度 14,520 日標 (	14,525  17年度 14,525  14,525  「「標」 ( ) ) 「はいまります。 した度  14,525  「はいまります。 した度  14,525	目標 なが、昭和は廃止は総合評	<b>下度</b>
財源内訳職 成 果 指 標 重1り	国・県支出金地 方 債 その他特定財源 一般財源 一般財源 各人 〔	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 期(年4期) (児) に対す 川障害者手量	816, 512  444, 863 6.9 <b>測る指標</b> ごとの支給  事業開始 する、 に  まる。なお に  まる。なお に  まる。なお に  まる。など に まる。など に まる。など に まる。と は まる。と に まる。と は まる。と に まる。と は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	854,562 466,429 6.9 6.9 指標設 本市に手においたがある。 を指標とし を指標とし たがいのででである。 にはおいたがのでである。 にはおいたがのでである。 にはおいたがのでである。 にはおいたがのでである。 にはおいたがのでである。 には、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	事     ①     ②     定     で     で     近     の     で     の<	<b>業の実績</b> 「支払期(年4月)」の合計 <b>考え方</b> がいのか <b>多えだい 多えだい 多れている 本にいる 本にいる 本にいる で軽支給を で軽支給を で軽支給を で軽支給を ででです。</b>	単位人単位人の改手と別の扱いの扱うの	14,520 16年度 14,520 14,520 14,520 15 標 (	14,525 17年度 14,525 14	<b>目標 4</b> - が、昭和は廃止し	<b>下度</b>
財源内訳職 成 果 指 標 重10 評	国・県支出金   地 方 債	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 期(年4期) (児) に対す 計	816, 512  444, 863 6.9 <b>測る指標</b> ごとの支給  事業開始 する、 に  まる。なお に  まる。なお に  まる。なお に  まる。など に まる。など に まる。など に まる。と は まる。と に まる。と は まる。と に まる。と は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	854,562 466,429 6.9 6.9 指標設 本市が手にお当をを を指標とし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事     ①     ②     定     で     で     近     の     で     の<	<b>業の実績</b> 「支払期(年4月)」の合計 <b>考え方</b> がいのか <b>多えだい 多えだい 多れている 1 1 1 1 1 1 2 1 3 3 3 4 3 5 5 5 5 5 7 7 7 8 8 7 8 8 9 1 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>	単位人単位人の改手と別の扱いの扱うの	14,520 16年度 14,520 1 標 (	14,525 17年度 14,525 14	目標 なが、昭和は廃止は総合評	<b>下度</b>
財源内訳職 成 果 指 標 重19 評	国・県 支 出 金 情 に 原 支 出 金 情 源 に 一 数 事 各人 [	809, 474 449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 朝(年4期) (児) に対す 川障害者手	816, 512 	854,562 466,429 6.9 6.9 指標設 本市に手においたがある。 を指標とし を指標とし たがいのででである。 にはおいたがのでである。 にはおいたがのでである。 にはおいたがのでである。 にはおいたがのでである。 にはおいたがのでである。 には、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	事     ①     ②     定     で     任     1     記     日<	<b>業の実績</b> 「支払期保存を 大大の実績」の合計 「大大のでは、 <b>考えだい 考えだい</b> 「おいるか」 「おいるか」 「おいるか」 「おいるか」 「おいるか」 「おいるが」 「おいるが」 「おいるが、のでは、 で軽支よるが、でいる。 「はいるが、のでは、 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	単位人単位人の改手と別の扱いの扱うの	14,520 16年度 14,520 1 標 (	14,525 17年度 14,525 14	目標 なが、昭和は廃止は総合評	<b>下度</b>
財源内訳職 成 果 指 標 重19 評 価	国・県 支 出 金 情 に 原 支 出 金 情 源 に 一 数 事 各人 [	809, 474  449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 期(年4期) (児) に対す 計  3  正さって にでは、すって ままます。	816,512 444,863 6.9 <b>測る指標</b> ごとの支給 事業開始 する、障電車おるものであるないるものであるないるものであるない。	854,562 466,429 6.9 6.9 指標設 本市が手標とし おいるのが いの ない のの ない にはいる ない	事     ①     ②     定     で<	<b>業の実績</b> 「支払期(年4年4月)」の合計 <b>考えだい 考えだい 多えだい 多なが 事</b> にれ 「常域給名効・ 「特別のせた」 「特別のでする」 「おいて軽支よ」 「特別のでする」 「	単位     人       単位     人       の     社       りるつを       の     技       りるつを	14,520  16年度  14,520  1 標 (	14,525  17年度 14,525  14,525  「「標」 ( ) では、	目標 4 一 一 が、昭和 が、昭和 は廃止は 総合評 B	<b>下度</b>
財源内訳職 成 果 指 標 重19 評 価	国・地の他般大の他般大のの地域大のの地域大のの地域大のの地域大のの地域大のの地域大のの地域大ののは、大ののは、大ののは、大のの4し大ののは、 <t< th=""><th>809, 474  449, 333 6. 9  <b>的の成果を</b> 期(年4期) (児) に対す 計  3  正さって にでは、すって ままます。</th><th>816,512 444,863 6.9 <b>測る指標</b> ごとの支給 事業開始 する、障電車おるものであるないるものであるないるものであるない。</th><th>854,562 466,429 6.9 6.9 指標設 本市が手標とし おいるのが いの ない のの ない にはいる ない ない</th><th>事     ①     ②     定     で&lt;</th><th><b>業の実績</b> 「支払期(年4年4月)」の合計 <b>考えだい 考えだい 多えだい 多なが 事</b>にれ 「常域給名効・ 「特別のせた」 「特別のでする」 「おいて軽支よ」 「特別のでする」 「</th><th>単位     人       単位     人       の     社       りるつを       の     技       りるつを</th><th>14,520  16年度  14,520  1 標 (</th><th>14,525  17年度 14,525  14,525  「「標」 ( ) では、</th><th>目標 全が、昭和は廃止は</th><th><b>下度</b></th></t<>	809, 474  449, 333 6. 9 <b>的の成果を</b> 期(年4期) (児) に対す 計  3  正さって にでは、すって ままます。	816,512 444,863 6.9 <b>測る指標</b> ごとの支給 事業開始 する、障電車おるものであるないるものであるないるものであるない。	854,562 466,429 6.9 6.9 指標設 本市が手標とし おいるのが いの ない のの ない にはいる ない	事     ①     ②     定     で<	<b>業の実績</b> 「支払期(年4年4月)」の合計 <b>考えだい 考えだい 多えだい 多なが 事</b> にれ 「常域給名効・ 「特別のせた」 「特別のでする」 「おいて軽支よ」 「特別のでする」 「	単位     人       単位     人       の     社       りるつを       の     技       りるつを	14,520  16年度  14,520  1 標 (	14,525  17年度 14,525  14,525  「「標」 ( ) では、	目標 全が、昭和は廃止は	<b>下度</b>

			_	•••	_			- '				<u>L</u>		
1	事業	名	視覚障害	者向け	「福祉	このしお	り」	の作	F成	030		一般会計 健康福祉費	. <b></b>	01
-	<u></u>	門	障害児・隆	音宝者為	三十							社会福祉費		03
	<del>"</del> 施	策	地域にお			生活の	実現	1		1		身体障害者		02
	<u></u> 作成音		健康福祉						01			972-2585		1 -
事			対象(記	隹を・何	Jを)					意図			にしたいのか	
業の目的		障害者						り、 図り	視() ) ま	覚障害す。	者へ	の障害者福	」を作成する 祉施策の広幸	<b>最の充実を</b>
事業の内容			:施策に関 作成し、								の点:	字版、録音	テープ版及び	<b>ドデイジー</b>
開	始。	<b>手</b> 度	昭和	年月	复 根	処法令 ·	要組	岡等	身位	本障害	者福祉	业法第21条6	D4	
事	業費・	人員	16年度決算	額 17年月	<b>E決</b> 算額	18年度予	算額	計	画	名古屋	新世	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事第	美費(·	千円)	1, 96	69	2, 053	2,	054	掲	載	個別計画	E .			頁
財	国・県	支出金	98	34	1,026	1,	541	事	業0	つ実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	 方							点与	产版作	m	100	104	104
内	その他	---- 特定財源						1	成数		冊	100	104	104
訳		財源		35	1, 027		513	2		-ブ版・ <b>)</b> 版作成		180	182	182
職	員数		0.		0.1	+15.	0.1		数	: <del>-</del>		10/5	17 左	ᄆᄪᄱᇨᇠ
成	争:	耒の日	的の成果	を測る	<b>怕</b> 惊	配布数	標設				単位	16年度	17年度	目標18年度
肞		京字版	配布数			した。	. C 19X	·/~11	日小示。	C U 4		97	104	
果	1	ſ			٦						冊	目標	目標	104
		[ —			<del>-</del> ]							( 100 )	( 97 )	
指	= -	テープ	版・CDF	饭配布数	<u></u>	配布数した。	を成	果扣	旨標	としま		180	182	
標	2	c			_	0700					本	目標	目標	182
175													目標 (180)	
				事	*開始	時からの	か状況	兄変	化.及	カバ事章	上 Magazina Ma Magazina Ma Ma Ma Magazina Magazina Magazina Magazina Ma Magazina Magazina Ma Ma Ma Ma Ma Ma Ma Ma Ma Ma Ma Ma Ma	<u> </u>	( 100 )	
平月	戈13年	度から	ラデイジー								, √√ ų	^ D M T		
	,		·	, ,	- '		,							
							評価							総合評価
評	有	<b>効</b> 性											。近年増加	
	達」	<b>龙</b> 度										ても情報提 提供も不可欠	供を行ってです。	В
価	効 3	率 性		<b>Д</b> 7 И	, M.	ハマンがいコ	NXD	<b>(</b> )	MV II	/IXIC &	、 <b>の</b> 1位	N 0.1.41V	. • 10	
ΙЩ		,	-		行政詞	評価委員	会(	の外	部評	価				総合評価
(3	この事	業に対	付するコノ	レントは	ありま	ません。	)							_
														R

# 業 名   戦傷病者の接護   113	事務事業	4経常的	(				5 票	佂	業 評	事	務	事			
簡	01				予質	031					援護	戦傷病者の	名	事 業	-
施 策 地域における自立した生活の実現	01					113				祉	丰者福祉	産害児・産業	門	<del></del>	÷
意図 (どういう状態にしたいのか	02					1		現	生活の実						
# たの大戦における傷病により障害を有する   各種の戦傷病者団体への補助を行うことに	•		972-2587	先	連絡	16	09 01	課	障害企画	[祉部]	障害福	健康福祉局	署	乍成部	1
大学										_					
<ul> <li>事業のの内容</li> <li>事業のの内容</li> <li>事業のの内容</li> <li>名古屋戦災障害者の会への補助 軍人軍属以外の方で先の大戦における傷病により障害を有する方の団体に対して、団権の行うもの。</li> <li>名古屋市原爆被爆者の会への補助 先の大戦で原子爆弾に被爆された方の団体に対して、団体の活動補助を行うもの。</li> <li>開始年度 昭和 35 年度 根拠法令・要綱等 接護団体助成要綱</li> <li>事業費・人員 16年度決算額 17年度決算額 18年度予算額 報載 個別計画</li> <li>事業の上のしまりによりで表します。</li> <li>事業の上のしまりによりで表します。</li> <li>事業の目的の成果を測る指標 指標設定の考え方 単位 16年度 17年度</li> <li>成果 10</li></ul>	により、戦								を有する	) 障害	により	おける傷病	大戦に		の目
事業費・人員 16年度決算額 17年度決算額 18年度予算額 書業費 (千円) 2,192 4,317 2,951 別		こ対して、団	る方の団体に	する の活	を有	障害	により	病	おける傷      た方の団	こお助 は助 は助 は 神 は は は は は は れ	大戦に、への大戦に、大戦に、大戦に、大戦に、大のの大会の大会に被爆が、	の方で先の 障害者の会 以外の方で もの。 爆被爆者の で原子爆弾	人量人を量のを量のを量の	年 名 第 ま る 第 ま ま ま も ま も ま も も も も も も も も も も も も	業の内容
事業費 (千円) 2,192 4,317 2,951 掲載 個別計画   日本			更綱	戊要	本助月	護団(	援護 接	要緺	処法令・	根抄	年度	昭和 35	₣度	始年	開
財 国・県支出金   事業の実績 単位 16年度 17年度   源 地 方 債	<b>万</b> 無 頁	2次実施計画	紀計画2010第	世紀	屋新	名古		額	18年度予算	決算額	17年度決	16年度決算額	人員	業費・	事
# 方 債	頁				計画	個別	掲載	51	2, 9	1, 317	4,	2, 192	千円)	費 (-	事美
源 地 方 賃	目標 年度	17年度	16年度	鱼位	遺	の実績	事業		l				支出金	国・県	財
<ul> <li>訳 一般財源 2,192 4,317 2,951 度数 (人) 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 で表案の目的の成果を測る指標 指標設定の考え方 単位 16年度 17年度 原源軍人会合同大会参加者数 信源軍人会の活動状況を示す指標として設定しました。 日本標 (( ) ) ( ) ) ( ) )</li> <li>指 被爆者相談室実施回数 名古屋市原爆被爆者の会の活動状況を示す指標として設定しました。 日本標 ( ) ) ( ) )</li> <li>被爆者相談室実施回数 名古屋市原爆被爆者の会の活動状況を示す指標として設定しました。 日本標 ( ) ) ( ) )</li> <li>事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等</li> </ul>	-	84	107	人	大	合同	① 会 会								
成果       傷痍軍人会合同大会参加者数       傷痍軍人会の活動状況を示す指標として設定しました。       107       84         指標       被爆者相談室実施回数       名古屋市原爆被爆者の会の活動状況を示す指標として設定しました。       78       85         標標()       日標標()       日標標()       日標標()         中標()       日標標()       日標標()         事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等	-	85	78	口		室実力	2 談				4,				
場携軍人会合同大会参加者数     示す指標として設定しました。     107     84       指     被爆者相談室実施回数     名古屋市原爆被爆者の会の活動状況を示す指標として設定しました。     78     85       標     して設定しました。     目標(())     日標(())     日報(())	目標 年度	17年度	16年度	並	È	え方	定の考	設定	指標	<b>a標</b>	測る指	的の成果を	業の目	事業	
#	_			人					示す指標	1	会参加	人会合同大	房痍軍		
標 ② で で で で で で で で で で で で で で で で で で	)	( )	目 標 (							<b>-</b> ]					
	-			口	ک	指標	を示す	、況	の活動状		回数	目談室実施	按爆者∶ [ <u></u>		
平成17年度は戦後60周年を記念して、各団体で、60周年記念大会等が開催されました					- 1				=						
運営に際しては、会員数(名古屋市傷痍軍人会225名)の減少、会員の高齢化が問題となす。															運営

					市評価	総合評価
評	有	効	性	3	戦傷病者の方が減少しつつも、いまだ多くの方がいることから、事業の継続は必要であり、決して事業の必要性が低くなったとはいえ	
	達	成	度	_	未の歴紀は必要であり、伏して事業の必要性が似てなったとはいえ   ないものと考えています。	В
価	効	率	性	3		
					行政評価委員会の外部評価	総合評価
	<u>こ</u> の	事業	に対	けするコ	メントはありません。)	В

#### 4)経常的事務事業

В

				•	•••				- '				<u>L</u>	<u> </u>	
	事	業 名	障害者	• 高	齢者権	利擁	護セン	ター	の追	重営	032 予算		一般会計 健康福祉費		01
	部	門	隨害児	• <b>隨</b>	<b>宇者福</b> 祉	<u>-</u>					113 費		社会福祉費		01
	<u></u> 施	<del></del> 策					生活の	宝玥			1 目		知的障害者		03
		<u></u>	-		-		障害企匠			01			972-2585		100
事	1 - 12	ל אוים			挙□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		华口工匠	31IV	09	UI				にしたいのか	<b>,</b> )
業	<del>Еп l</del>	的障害者					<b>宁</b>		日十二	左左工				に応じ地域で	
の	Zhe	切焊合伯	* 个月个円	早古	有 ・ 前 フ	和业	同即伯						護寺の相談 できるよう		で女心した
目									土化	白 // * ス	ムのこ	C 1/3	しさるよう	にしまり。	
的	(1)	Lo ak de l	·II/.			17	ケイルコ さ	- A H	ر میلید ر	<i>}</i> -}-		<b>→</b> =	- HH // Let - 1/2		
	(1)	相談事		ハニ 17米	<del>/</del> →+/-!							`	門的相談		
事		①生活 ② **					の問題が					火			
業		②法律 ②陪生	相談 者権利				約などの					伙			
の	(2)	金銭管理			中山口口口口							すれ	いなどの代	行	
内		財産保全					オ産の預				1.1 777 4 2	<b>1</b>	11 12 2 17 1	411	
容		福祉サ			月援助						防止、	福祉	ナービスの	利用手続支	援等
		実施主	<b>本</b>	, 4, ,			占古屋市							, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
開	始	年 度	平成	11	年度	根抄	処法令・	要糾	岡等	「地域社	<b>国祉権利擁護</b>	隻事業の 🤋	実施について」「障害	者の明るいくらし」促進	<b>事業の実施について</b>
事	業費	・人員	16年度決	算額	17年度決	算額	18年度予	·算額	計	画	名古屋	新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	有 37 頁
事訓	<b>業費</b>	(千円)	90,	740	86,	322	103,	144	10		個別計画	名さ		基本計画	13 頁
財	国•	県支出金		648	36,	109	36.	955	事	<b>業</b> σ	実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
		方 債									) (1)X		101/2		
									1	契約	J者数	人	338	370	370
	<u> </u>	他特定財源													
т. т		般財源	54,	092	•	213	66,	189	2	相談	(件数	件	6, 261	6,067	6, 261
墹		(人)		0.1		0. 1		0.1		<u> </u>				.=.	
	-	事業の目	的の成	果を	測る指	票				)考え		単位	16年度	17年度	目標18年度
成		契約者	粉				本事業						338	370	
	(1)	人がプロ	<b>9</b> ,				標とし	(設	正し し	ノまし	ノ7こ。	人		010	370
果		ſ				٦l							目標	目標	370
		[ —				· ]							( 276 )	( 338 )	
指		I da tel	Met				本事業	の浸	透厚	まを 》	削る指				
		相談件	数				標とし	て設	定し	しまし	た。		6, 261	6, 067	
標	2	ر ا				٦						件	目標	目標	6, 261
IN						.								( 6, 261 )	
		l			<del></del> 414 D		+ 1. > 4	د دا ا، ح		. // . 77	- v ± 1	407	,	( 0, 201 )	
	D =	<i>b</i>	. <del></del>	. <del> </del>			• • •						文善点等 1		<del>*</del>
														院入院中の	
														りました。る 入所者も対象	
成」 し7		皮には、	牲賃名		一厶及	וליט.	· 读小/ / / /	122判	E貝~	色八,	<i>∿</i> − <i>□</i>	(7)	<i>/////////////////////////////////////</i>	八川有も刈る	火に加えま
	<u> </u>														
							市	評価							総合評価
評	有		4	住み	は慣れた	地垣	<b>太</b> での生	活の	)保	障や	福祉サ	ービ	スの利用等	契約を結ぶ	
			•	上て	、判断	能力	つが十分							ますます重	<b>.</b>
	達	成 度	_	要と	なって	きき	<b>ミす。</b>								Α
価	効	率 性	4												
					行	政語	平価委員	会0	り外	部評	価				総合評価

契約待ちを減らすよう努めてください。

	車 🗎	業 名	精神保健福	汕ϫ議会				033				01
		., .						第		健康福祉費		03
	部		障害児・障害		ルオッサロ	1		113 <b>費</b>	_ <u> </u>	社会福祉費		01
	施佐	-			生活の実現		0.1	1	1	精神保健福	<b>社</b> 質	04
事	作队	部署	対象(誰る		障害企画課	09	01	16 建		972-2532	にしたいのか	1)
業	<del>結</del> え	油促健及	び精神障害		関する重	調る	<b>本</b> 寀				<u>こしたいのか</u> に答え、ま7	
の	項	<b>T</b>		1日   1   1   1   1   1   1   1   1   1	- KJ 7 'J +						者の福祉の地	
目的										上を図りま		,
	2	20人の審	議会委員に	より、精神	伸保健及び精	神	章害	者の福	祉に	関する事項	を調査審議し	ノ、また市
事	長0	の諮問に	答えるほか	、精神保險	建及び精神障	害者	者の	福祉に	関す	る事項に関	して市長に記	意見を具申
業	はは	ます。ま 歯房腔の	た、指定例 効果的な性	院の指定の  道監叔笠の	)取消しに関 )あり方など	する	5 C	と、心 て調本	思人 字業	院の指定の L まま	取消しに関す	Fること、
の t	有用 T	十かり りしゃつ	/メル <del>本</del> ゖリ/よ1月	法   目 4 4	70) y /J'A C	. ( _	<b>υ</b> γ.	て明旦	笛賊	しょり。		
内容												
Έ.												
開	始	年 度	平成 8	年度 根		岡等	精神保	保健及び精神	申障害者	福祉に関する法律第	§9条、名古屋市精神(	呆健福祉審議会条例
事	業費	・人員	16年度決算額				画				2次実施計画	無 頁
事第	<b>美費</b>	(千円)	133	160	490		+15	個別計画	i i			頁
財	国•	県支出金				事	業の	つ実績	単位	16年度	17年度	目標 年度
源	地	方 債					全位	<b>本会議</b>		_	_	
内	その	----- 他特定財源				1		星回数	回	1	1	_
訳	<u> </u>	 般 財 源	133	160	490							
職	員数	(人)						7 - 1/1	r	0.0	4.0	
		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	0. 1	0. 1	0. 1	(2)	委員	員の数	人	20	19	-
成	事		0.1 <b>的の成果を</b>		0.1 指標設				単位		19 <b>17年度</b>	- 目標18年度
/~	- 事	事業の目	的の成果を		指標設 十分な審議	。 <b>定の</b> と幅	<b>)考え</b> 広い	<b>た方</b> 議論を	単位	16年度	17年度	目標18年度
120		事業の目			<b>指標設</b> 十分な審議。 行うために	<b>定の</b> と幅 は、	<b>)考え</b> 広いでき	<b>え方</b> 議論を るだけ	単位			
果	①	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設 十分な審議	<b>定の</b> と幅 は、	<b>)考え</b> 広いでき	<b>え方</b> 議論を るだけ	単位	16年度	17年度	- 目標18年度 100
果		事業の目	<b>的の成果を</b> 出席状況	測る指標 数 ]	指標設 十分な審議 行うためにい 多数の委員のす。	<b>定の</b> と幅 は、 の出	<b>)考え</b> 広できが	<b>え方</b> 議論を るだけ 必要で	単位	<b>16年度</b> 60	<b>17年度</b> 74	
		<b>事業の目</b> 委員の日	<b>的の成果を</b> 出席状況 のべ出席 <i>』</i> のべ委員編	測る指標 数 ]	指標設 十分な審議 行うためには 多数の委員です。	<b>定の</b> と幅、出 開催	<b>)考え</b> 広できが	<b>え方</b> 議論を るだけ 必要で	単位	16年度 60 <sup>目 標</sup>	17年度 74 目標 ( 100 )	
果指	1	<b>事業の目</b> 委員の日	<b>的の成果を</b> 出席状況 のべ出席 <i>】</i>	測る指標	指標設 十分な審議 行うためにい 多数の委員のす。	<b>定の</b> と幅、出 開催	<b>)考え</b> 広できが	<b>え方</b> 議論を るだけ 必要で	単位 %	16年度 60 <sup>目 標</sup> ( 100 )	17年度 74 <sup>目 標</sup>	
果		<b>事業の目</b> 委員の日	<b>的の成果を</b> 出席状況 のべ出席 <i>』</i> のべ委員編	測る指標	指標設 十分な審議 行うためには 多数の委員です。	<b>定の</b> と幅、出 開催	<b>)考え</b> 広できが	<b>え方</b> 議論を るだけ 必要で	単位	16年度 60 <sup>目 標</sup> ( 100 )	17年度 74 目標 ( 100 )	
果指	1	<b>事業の目</b> 委員の日	<b>的の成果を</b> 出席状況 のべ出席 <i>』</i> のべ委員編	<b>測る指標</b> 数 ]	指標設 十分な審議。 行うためには 多数の委員の す。 全体会議の「 としました。	<b>定</b> の とは、出 開催	<b>)考え</b> 広で席が 回数	え <b>方</b> 議論を る必要で を指標	学位 %	16年度 60 目標(100) 1 目標()	74 目標 ( 100 )	
果指標	1 2	<b>業の目</b> 委員の日	的の成果を 出席状況 のべ出席 ので委員系 議開催回数	測る指標 数 数 数 事業開始	指標設 十分な審議 行うためにい 多数の委員です。 全体会議ので としました。	<b>定</b> のとはの 開	<b>考</b> 方 広で席 回数	え <b>方</b> 議論をけて を指標	単位 %	16年度 60 目標 (100 ) 1 目標 ( ) 文善点等	74 目標 (100 ) 1 目標 ( )	100
果指標平	① ②	<b>業の目</b> 委員の日 全体会記	的の成果を 出席状況 のべ出席 のべ委員系 議開催回数	<b>測る指標</b> 数 ] 数数 ] 事業開始 完医療公費	指標設 十分なきのを 十分をある を を と しました。 けい りが りの は りが りが りが と りま かった。 の の ま き も し ま し り ま し り も し ま し り も し ま し ま し り も し り も り も り も り も り も り も り も り も	<b>上定の</b> 開。 <b>況</b> ひび で <b>双</b> び で <b>双</b> び で <b>変</b> び	<b>                                      </b>	え方 議る必 を指標 なび事 保健権	単位 % 回	16年度 60 目標(100) 1 目標() 対善点等	17年度 74 <sup>目標</sup> (100 ) 1 <sup>目標</sup> (100 )	100 - に関する事
果指標平務	① ②	<b>業の目</b> 委員の日 全体会記 3年保健福	的の成果を 出席状況 のべ出席人 のべ委員系 議開催回数 では、議会の る社審議会の	<b>測る指標</b> 数] <b>事業開始</b> 完	指標設 十分な審議に 1分をある 1分を 2本を 2本を 2を 2を 2を 3の 3の 3の 4を 3の 4を 3の 4を 3の 5の 5の 5の 5の 6の 7を 8 4を 8 5の 7を 8 5の 8 7を 8 7を 8 7を 8 7を 8 7を 8 7を 8 7を 8 7	<b>  定</b> の	考え   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一	<b>え方</b> 議る必 を指 を <b>なび事</b> 様 保 正	単位 % 回	16年度 60 <sup>目標</sup> (100 ) 1 <sup>目標</sup> (( ) 女善点等 で展の申請に 平成14年	74 目標 (100 ) 1 目標 ( )	100 - に関する事 神保健福祉
果指標平務	① ②	<b>業の目</b> 委員の日 全体会記 3年保健福	的の成果を 出席状況 のべ出席人 のべ委員系 議開催回数 では、議会の る社審議会の	<b>測る指標</b> 数] <b>事業開始</b> 完	指標設 十分な審議に 十分たた委員です。 全体会議した。 全体会しました。	<b>  定</b> の	考え   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一	<b>え方</b> 議る必 を指 を <b>なび事</b> 様 保 正	単位 % 回	16年度 60 <sup>目標</sup> (100 ) 1 <sup>目標</sup> (( ) 女善点等 で展の申請に 平成14年	17年度 74 <sup>目標</sup> (100 ) 1 <sup>目標</sup> (( ))	100 - に関する事 神保健福祉
果指標平務	① ②	<b>業の目</b> 委員の日 全体会記 3年保健福	的の成果を 出席状況 のべ出席人 のべ委員系 議開催回数 では、議会の る社審議会の	<b>測る指標</b> 数] <b>事業開始</b> 完	指標設 十分な審議に 十分たた委員です。 全体会議した。 全体会しました。	<b>定の</b> 開。	考え   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一	<b>え方</b> 議る必 を指 を <b>なび事</b> 様 保 正	単位 % 回	16年度 60 <sup>目標</sup> (100 ) 1 <sup>目標</sup> (( ) 女善点等 で展の申請に 平成14年	17年度 74 <sup>目標</sup> (100 ) 1 <sup>目標</sup> (( ))	100 - に関する事 神保健福祉

					市評価	総合評価
評	有	効	性	4	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第9条では、設置は任意となっていますが、ほとんどが外部の委員である審議会において精神保健及び精神障害者福祉に関する事項を調	
	達	成	度	3	査審議し、市長の諮問に答え、また市長に意見具申することは、本市精神保健福祉施策の 推進に非常に意義のあることです。今後、自殺予防対策や障害福祉計画の策定等にあたり	
価	効	率	性	3	この審議会を有効に活用することが必要です。	
					行政評価委員会の外部評価	総合評価
<u> </u>	出席	率の	向」	ともしく	<b>行政評価委員会の外部評価</b> は欠席者への対応を検討してください。	総合評価
Ļ	出席。	率の	向」	ともしく		総合評価 B

事 業 名	  精神医療対	·策(措置入	(院)		034 予	会計				01
							健康福祉費			03
部   門 施   策	障害児・障害		生活の実現		113 費		社会福祉費精神保健福			01 04
作成部署	_ / - /	•	障害企画課		1		972-2532	门业县		04
事	対象(誰を			0.5				こしたいのか	١)	
業精神保健指定	医2名の診察	の結果、精神		適正			護を行いま			
<b>の</b> り、かつ、医 <b>目</b> その精神障害	≦療及び保護の ₹のために自身	ために入院さ を侮つけ マ	せなければ							
的 を及ぼすおそ	れがあると認	められた方								
								は、精神保健		
<b>事</b>		しより。衫	祭の結果、	日傷	及い他者の	)わっ	てれかめる。	と診断された	場合	計には八
		には緊急に	.病床を確保	する	必要がある	うたと	め、愛知県料	青神病院協会	に多	委託し市
内内及び近郊	の民間精神	科病院にお	いて毎日1月	末の空	足床を確保	して	います。			
容										
開始年度	平成 8							第23条から第31条、第		ı
事業費・人員			18年度予算額	H 1 F		5世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業費(千円)	18, 237	25, 056	,							頁
財国・県支出金	55	23	82	事	業の実績	単位	16年度	17年度	目	標年度
源 地 方 債					新たに措置	人	28	31		_
内 その他特定財源					した人数	/\	20	01		
訳一般財源	18, 182	25, 033	19, 285	2						
職員数(人)	2.0	2.0	2.0							
	的の成果を	測る指標	指標設			単位	16年度	17年度	目	標 年度
事業の目成	的の成果を	測る指標	指標設 設定が困難			単位	16年度	17年度	目	標年度
成	的の成果を	測る指標				単位			目	標年度
成	的の成果を	測る指標				単位	16年度	17年度	目	標年度
成	的の成果を	測る指標				単位			目	標年度
成	的の成果を	測る指標				単位			目	標年度
成果 ① [ —	的の成果を	測る指標				単位	目標( )	目標()	目標	標年度
成果 1 [	的の成果を	測る指標  				単位			目標	標年度
成果 ① [ —	的の成果を	]	設定が困難	です	0		目標( )	目標()	目標	標年度
成果 ① [ —			設定が困難	です <b>況変</b> (	と及び事業	の改	目標 ( ) 目標 ( ) <b>本点等</b>	目標( )		
成 果 指 セ 精神 利額 し、減額 し、 に を り に り に り に り に り に り に り に り に り に	療施設事業費 した。	 	設定が困難 時からの状 力基準額を準	です <b>況変</b> (	。 <b>と及び事業</b> ていた夜「	の改	目標 ( ) ( ) <b>対善点等</b> び休日の単	<sup>目標</sup> ( ) <sup>目標</sup> ( ) 価を平成16 <sup>年</sup>	<b>手</b> 度	に見直
成 果 指 標 2 精神減額に 三 料額に で は に は に り に り に り に り に り に り に り に り に	療施設事業費 した。	 	設定が困難 時からの状 力基準額を準	です <b>況変</b> (	。 <b>と及び事業</b> ていた夜「	の改	目標 ( ) ( ) <b>対善点等</b> び休日の単	<sup>目標</sup> ( ) <sup>目標</sup> ( ) 価を平成16 <sup>年</sup>	<b>手</b> 度	に見直
成 果 指 セ 精神 利額 し、減額 し、 に を り に り に り に り に り に り に り に り に り に	療施設事業費 した。	 	設定が困難 時からの状 力基準額を準	です <b>況変</b> (	。 <b>と及び事業</b> ていた夜「	の改	目標 ( ) ( ) <b>対善点等</b> び休日の単	<sup>目標</sup> ( ) <sup>目標</sup> ( ) 価を平成16 <sup>年</sup>	<b>手</b> 度	に見直
成 果 指 標 2 精神減額 に 一 大 大 関 に 大 は り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	療施設事業費 した。	 	設定が困難 時からの状 力基準額を準	<b>況変</b> ( 運用しまで	。 <b>と及び事業</b> ていた夜「	の改	目標 ( ) ( ) <b>対善点等</b> び休日の単	<sup>目標</sup> ( ) <sup>目標</sup> ( ) 価を平成16 <sup>年</sup>	手度 55人	に見直
成 果 指 標 2 精神減額に 三 料額に で は に は に り に り に り に り に り に り に り に り に	療施設事業費 した。 つせ、平成1	<b>事業開始</b> で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	時からの状況 加基準額を準 から9月25日 市評価 それのある料	です <b>況変</b> ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	<b>と及び事業</b> ていた夜「 確保する病 <b>産</b> 害者を保	の改	目標 ( ) <b>Z善点等</b> び休日の単 シ2床とし、	<sup>目標</sup> ( ) <sup>目標</sup> ( ) 価を平成16 <sup>年</sup> この期間に2	手度 55人	に見直
成 果 指 標 ② ( 無 神 神 減 に は に り た。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	療施設事業費 した。 つせ、平成1 4 自復 すが	<b>事業開始</b> <b>事業開始</b> の国庫補助 7年4月1日か 高他害のおる	時からの状況 加基準額を準 から9月25日 <b>市評価</b>	です <b>況変</b> ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	<b>と及び事業</b> ていた夜「 確保する病 <b>産</b> 害者を保	の改	目標 ( ) <b>Z善点等</b> び休日の単 シ2床とし、	<sup>目標</sup> ( ) <sup>目標</sup> ( ) 価を平成16 <sup>年</sup> この期間に2	手度 55人	に見直 利用し <b>合評価</b>
成 果 指標 指標 科 減開た 新 額 催 ・ 対 類 成 性 達 は う は う は う は う く う く う く う く う く う く う	療施設事業費 つせ、平成1 4 自復 すされ	<b>事業開始</b> で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	時からの状況 加基準額を準 から9月25日 市評価 それのある料	です <b>況変</b> ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	<b>と及び事業</b> ていた夜「 確保する病 <b>産</b> 害者を保	の改	目標 ( ) <b>Z善点等</b> び休日の単 シ2床とし、	<sup>目標</sup> ( ) <sup>目標</sup> ( ) 価を平成16 <sup>年</sup> この期間に2	手度 55人	に見直 利用し
成 果 指 標 ② ( 無 神 神 減 に は に り た。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	療施設事業費 つせ、平成1 4 自復 すされ	<b>事業開始</b> <b>事業開始</b> の国庫補助 7年4月1日か 高他害のおる は、 ます。	<b>時からの状</b> 加基準額を準 から9月25日 <b>市評価</b> それのよる所	で <b>変</b> を 変 で 神制 で 神間 で	<b>と及び事業</b> でいた夜「 確保する病 である」	の改	目標 ( ) <b>Z善点等</b> び休日の単 シ2床とし、	<sup>目標</sup> ( ) <sup>目標</sup> ( ) 価を平成16 <sup>年</sup> この期間に2	手度 5人 <b>総</b>	に見直 利用し 合 <b>評価</b>
成果指標     精し万ま       1     (2)       科減開た     有達効       一     (2)       本額催。     効成率       (2)     (2)       (3)     (4)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (4)       (7)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (1)     (4)       (1)     (4)       (1)     (4)       (2)     (4)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (1)     (2)       (1)     (2)       (2)     (3)       (4)     (4)       (5)     (4)       (6)     (4)       (7)     (4)       (7)     (4)       (8)     (4)       (8)     (4)       (9)     (4)       (1)     (4)       (1)     (4)       (1)     (4)       (2)     (4)       (3)     (4)       (4)     (4	療施設事業費 した。 つせ、平成1 1 1 4 1 4	<b>事業開始</b> <b>事業開始</b> か の国庫補助 7年4月1日か 高他害長のおう います。	時からの状 力基準額を準 から9月25日 市評価 それのよる分 で価委員会の	で <b>変</b> を 変 で 神制 で 神間 で	<b>と及び事業</b> でいた夜「 確保する病 である」	の改	目標 ( ) <b>Z善点等</b> び休日の単 シ2床とし、	<sup>目標</sup> ( ) <sup>目標</sup> ( ) 価を平成16 <sup>年</sup> この期間に2	手度 5人 <b>総</b>	に見直 利用し <b>合評価</b>
成 果 指標 指標 科 減開た 新 額 催 ・ 対 類 成 性 達 は う は う は う は う く う く う く う く う く う く う	療施設事業費 した。 つせ、平成1 1 1 4 1 4	<b>事業開始</b> <b>事業開始</b> か の国庫補助 7年4月1日か 高他害長のおう います。	時からの状 力基準額を準 から9月25日 市評価 それのよる分 で価委員会の	で <b>変</b> を 変 で 神制 で 神間 で	<b>と及び事業</b> でいた夜「 確保する病 である」	の改	目標 ( ) <b>Z善点等</b> び休日の単 シ2床とし、	<sup>目標</sup> ( ) <sup>目標</sup> ( ) 価を平成16 <sup>年</sup> この期間に2	手度 5人 <b>総</b>	に見直 利用し 合 <b>評価</b>

	事	業 名		精神医療対	対策(医	療保	:護入院)			035 予	会計		般会計				01
	部	門		障害児・障	生者福祉	ıŀ				算 113 <b>費</b>			康福祉費 会福祉費				03
	<u>ii)</u> 施						生活の実現			1 目			神保健福		<b></b> 卦		04
		部署		_ ,	- , .		障害企画課	_	01	16 連糸				-, ,	`		
事				対象(誰								-	いう状態				
業の				あり、かつ、 及び保護を図													ます。必
目	者で	であっ		意入院が行れ									<sup>医</sup> 療機関 隻を行い			$\subseteq$	とによっ
的	れた		五少	アサーア	字歩め	<b>一</b> 沙	医の説得及							-		⇒△4	始将な行い
=							医の説何及 受診に至ら										
事業	は、	精神	申保	健指定医は	に依頼し	て診	察を行いま	す。	診	察の結果	き、神	皮診	診察者が#	青神	障害者	でで	あり、かつ
のの													え障があ	り任	意入院	が行	行われる状
内	直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支 態にないと判定された場合は、応急入院指定病院まで移送します。																
容	ן צ																
PE	11.	<i> </i>	<del></del>	77; -L\	<i>}</i> → + <del>!</del> →	10.0	hit 스 포션	₩ <b>₩</b>	1. جائرار	.h./口 <i>b.</i> h. ㅜ	~ 10 de	# 4.1	775 H - + 1	<b>≓</b> ↓ 1 ·	) 字 日日. 1- 1	フ <sup>ッ</sup>	4./±///
		年		平成 12			処法令・要組									_	
_		・人 /エロ					18年度予算額	н	·画 J載		扩世术 「	记言	十画2010第	2次	美施計四	即 [	無頁
_	1	(千円		143	5	123	,			個別計画	27/11		10左曲	- 1	7左曲		頁
,,,		県支出			.		45	手		<b>の実績</b> 申保健福	単位		16年度	I	7年度	4	目標 年度
	地	_ 方_			-			1	祉訪	問援助	件	:	2, 445	1	, 925		_
内		他特定							件数	ζ							
т. т		般財		143		123	1, 077	2	移i	送件数	件		0		0		_
	<b>二</b> 业																
戦		大人		1.7		1.7	1.(	<u></u>	\ <del>*</del> .	; ±	W /1		16左由	1	7左帝		口描 左庇
	1			的の成果を			指標設	定 <i>σ</i>	)考;	え方	単位		16年度	1	7年度		目標 年度
成	1						指標設	定 <i>σ</i> .	l )考;	え方	単位		16年度	1	7年度		目標 年度
成	1						指標設	定 <i>σ</i>	)考;	え方	単位						目標 年度
	=						指標設	定の	)考;	え方	単位		<b>16年度</b>	<b>1</b> 目 ;			目標 年度
成果	=						指標設	定 <i>σ</i>	L )考;	え方	単位					)	目標 年度
成	1						指標設	定 <i>の</i>	)考;	え方	単位					)	目標 年度
成果	=						指標設	定 <i>σ</i> .	)考;	え方	単位	目 (			標	)	目標 年度
成果指	1						指標設	定 <i>σ</i> .	) 考 ;	え方	単位	目 (	標 )	目 <sup>;</sup>	標		目標 年度
成果指	1				別る指	標 - ]	指標設 指標設					目 (	標 )	目 ;	標	)	目標 年度
成果指	1				別る指	標 - ]						目 (	標 )	目 ;	標	)	目標 年度
成果指	1				別る指	標 - ]						目 (	標 )	目 ;	標	))	目標 年度
成果指	1				別る指	標 - ]						目 (	標 )	目 ;	標	)	目標 年度
成果指	1				別る指	標 - ]	持からの状え	兄変				目 (	標 )	目 ;	標	)	
成果指標	(1)	事業の	D目	的の成果を	事業	標 ]	持からの状況 市評価	兄変	化及	ひ事業	の改	目(目(書)	標 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	目;	槽穴	)	目標 年度 総合評価
成果指標	1			的の成果を	事業 [ 実、主治図	標 - ] 開始に	時からの状 市評価 説得及び保健	<b>况変</b>	その地	ひず事業	の改	目(】目(	標 (標 (点等 活動を尽く	目; ( 目; (	標	)	
成果指標	(1)	事業の	D目	<b>4</b> 家が 一 す。	<b>事業</b> 本	<b>標</b> - ] 開始	<b>市評価</b> 説得及に説得るようを尽くし	<b>沢変</b>	化の地で、任め、任め、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは	なび事業 地域精神保 で で の 理解が	(健き得る)	目(目(善社よれ	標 ( ) 標 ( ) まあめる ( ) まあめる ( ) まあめる ( ) またい (	目(目(しと限)でがり	標で必緊急を変	)	
成果指標	1 2	事業 <i>0</i>	性	<b>4</b> 家が 一 す。	<b>事業</b> 本	<b>標</b> - ] 開始	<b>市評価</b> 説得及に説得	<b>沢変</b>	化の地で、任め、任め、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは	なび事業 地域精神保 で で の 理解が	(健き得る)	目(目(善社よれ	標 ( ) 標 ( ) まあめる ( ) まあめる ( ) まあめる ( ) またい (	目(目(しと限)でがり	標で必緊急を変	)	総合評価
成 果 指 標 評	1 ② 有達	事業 <i>の</i>	性度	<b>めの成果を</b> 家がける。	<b>事業</b> 注別る指 主の送さも を 本 を た り き た り き た り き た り た り た り た り た り た	<b>標</b> - ]	<b>市評価</b> 説得及に説得るようを尽くし	兄変所等しも適	で、本人に	なび事業 型域精神保で が高のいて 適いで が適い	(健き得る)	目(目(善社よれ	標 ( ) 標 ( ) まあめる ( ) まあめる ( ) まあめる ( ) またい (	目(目(しと限)でがり	標で必緊急を変	)	総合評価
成 果 指 標 評 価	1 2 有達効	事業	<u>性</u> 度性	<b>めの成果を</b> 家がける。	<b>事業</b> (本) 人移行う で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	標 - 開 - 開 - 開 - 開 - 開 - 関 - の得のあ - で - で	<b>市評価</b> 説得及に尽説に尽いる。 対力とない。 <b>平価委員会</b>	兄変所等しも適	で、本人に	なび事業 型域精神保で が高のいて 適いで が適い	(健き得る)	目(目(善社よれ	標 ( ) 標 ( ) まあめる ( ) まあめる ( ) まあめる ( ) またい (	目(目(しと限)でがり	標で必緊急を変	)	総合評価
成 果 指 標 評 価	1 2 有達効	事業	<u>性</u> 度性	<b>4</b> 家は 一 も 4	<b>事業</b> (本) 人移行う で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	標 - 開 - 開 - 開 - 開 - 開 - 関 - の得のあ - で - で	<b>市評価</b> 説得及に尽説に尽いる。 対力とない。 <b>平価委員会</b>	兄変所等しも適	で、本人に	なび事業 型域精神保で が高のいて 適いで が適い	(健き得る)	目(目(善社よれ	標 ( ) 標 ( ) まあめる ( ) まあめる ( ) まあめる ( ) またい (	目(目(しと限)でがり	標で必緊急を変	)	総合評価

:	事	業名	精神医療対業)	策(精	神科	救急医療施	設事	F		, -	会計款	一般会計 健康福祉費	,		01
	部	門	障害児·障害	害者福祉	Ŀ				113	劃		社会福祉費			01
	施	策	地域におけ	る自立	した	生活の実現	ı		1	▋▐	目	精神保健福	祉費		04
	作成	部署	健康福祉局	障害福祉	业部	障害企画課	09	01	16 建	툍絡	先	972-2532			
事			対象(誰る	を・何を	-)				意図	] (	. ځ	ういう状態に	こしたいのか	١)	
業の目的	もなっ	しくは症 った方	日等におい 状の急変に	より医	療が	必要と	療る	を提	供しま	きす	0		制を確保し、		
													土曜昼間、		
事業の内			:健指定医、 :とともに社										た当番病院	を設置し	ま
容	4/5	h	75.4		T 1-0 11		w kk	\(\frac{1}{12} \dots \do	L /	7 ~ 18	0 /k- <del>1+</del> -1-	<b>┸</b> ┏╈┍╬╸╈┺═┺┃		telet a see les tech	* 0 * F
		年 度	平成 13	年度									:に関する法律		
_		・人員				18年度予算額	н	画			世紀	記計画2010第	2次実施計画	無	頁
事美	<b>美費</b>	(千円)	14, 260	14,	111	14, 097	猲	載	個別計	画					頁
財	国•	県支出金	7, 130	7,	055	7, 048	事	業(	の実績	È	単位	16年度	17年度	目標18:	年度
源	地	方 債					1	精神	申科救急	小心	1	0.400	0 550	0 550	2
内	その	他特定財源					<b>(</b> )	医猩	いまり ままれ 利用を	旨	人	2, 462	2, 558	2, 558	5
訳	_ ;	般 財源	7, 130	7,	056	7, 049	<u> </u>								
山中	二米	(人)	0. 1		0. 1	Λ 1	2								
堰	貝釵		0. 1		U. I	0. 1									
収			的の成果を			指標設	上 定の	    考え	え方	È	単位	16年度	17年度	目標18:	年度
成	Ę	事業の目		測る指標		<b>指標設</b> どれだけ事	業力	が利。	用され	L	単位	<b>16年度</b> 2, 462	17年度 2,558	目標18:	年度
	Ę	事業の目	的の成果を	測る指標		指標設	業が	が利。	用され		<u>単位</u>	2,462 目標	2,558	<b>目標18</b> :	
成	Ę	事業の目	的の成果を	測る指標		<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを	業が	が利。	用され			2, 462	2,558		
成果	Ę	事業の目 精神科	的の成果を	測る指標		<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを	業が	が利。	用され			2,462 目標	2,558		
成果指	1	事業の目 精神科	的の成果を	<b>測る指</b> 相者	<b>標</b> - ] - ]	<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを	業が 示す した	が利力も	用されのとし		人	2,462 目標 (2,197) 目標 ( )	2,558 目標 (2,462)		
成果指標	1	<b>事業の目</b> 精神科 [	的の成果を	測る指 用者 事業別	標 . ]	<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを て設定しま	<b>光</b> 元 か	が利。 ナも た。	用され のとし <b>なび事</b>	<b>業</b> 6	人の改	2,462 目標 (2,197) 目標 ( ) ( <b>善点等</b>	2,558 目標 (2,462 ) 目標 ( )		
成果指標	1	<b>事業の目</b> 精神科 [	<b>的の成果を</b> 救急医療利	測る指 用者 事業別	標 . ]	<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを て設定しま	業示した <b>兄変</b> (元成1)	が利。 ナも た。	用され のとし <b>なび事</b>	<b>業</b> 6	人の改	2,462 目標 (2,197) 目標 ( ) ( <b>善点等</b>	2,558 目標 (2,462 ) 目標 ( )		8
成 果 指 標 国	1 ②	<b>事業の目</b> 精神科 [	的の成果を 救急医療利力 質の減額に作	<b>測る指</b> 用者 事 <b>業</b> 業 半い、平	標 - ] 開始 元 元 の 物	<b>指標設</b> どれだけかを て設定しま <b>時からの状</b> 6年度及び平 <b>市評価</b> 長患の重篤(	業示して変成した。	が利。 <b>化</b> 17年	用されのとし <b>なび事</b> で で で で で る	業(値)	人 <b>の</b> 改 fiをi	2,462 目標 (2,197) 目標 ( ) <b>Z善点等</b> 減額しまし	2,558 目標 (2,462) 目標 ( )	2, 558	8
成 果 指 標 国	1	事業の目 精神科 [ 助基準8	的の成果を 救急医療利力 類の減額に作	<b>測る指</b> 用者 事 <b>業</b> 業 半い、平	標 - ] 開始 元 元 の 物	指標設 どれだけ事 ているかま て設定しま <b>・市評価</b>	業示して変成した。	が利。 <b>化</b> 17年	用されのとし <b>なび事</b> で で で で で る	業(値)	人 <b>の</b> 改 fiをi	2,462 目標 (2,197) 目標 ( ) <b>Z善点等</b> 減額しまし	2,558 目標 (2,462) 目標 ( )	2, 558	8
成果指標 国 評	1 2 事補	<b>事業の目</b> 精神科 [ 助基準8	<b>的の成果を</b> 救急医療利力 類の減額に作	<b>測る指</b> 用者 事 <b>業</b> 業 半い、平	標 - ] 開始 元 元 の 物	<b>指標設</b> どれだけかを て設定しま <b>時からの状</b> 6年度及び平 <b>市評価</b> 長患の重篤(	業示して変成した。	が利。 <b>化</b> 17年	用されのとし <b>なび事</b> で で で で で る	業(値)	人 <b>の</b> 改 fiをi	2,462 目標 (2,197) 目標 ( ) <b>Z善点等</b> 減額しまし	2,558 目標 (2,462) 目標 ( )	2, 558 総 <b>合</b> 評	8
成果指標 国 評	1 2 有達	事業の目       精神科       し       助基準       効成       皮	<b>的の成果を</b> 救急医療利力 類の減額に作	<b>測る指</b> 用者 <b>事業</b> 半い、 事際 害院	<b>標</b> - ] - ] <b>始</b> ・ の確保	<b>指標設</b> どれだけかを て設定しま <b>時からの状</b> 6年度及び平 <b>市評価</b> 長患の重篤(	業示し <b>兄</b> 成 こと	がする。 <b>化</b> な 17年 防重	用され <b>なび事</b> するが でででするが	業(値)	人 <b>の</b> 改 fiをi	2,462 目標 (2,197) 目標 ( ) <b>Z善点等</b> 減額しまし	2,558 目標 (2,462) 目標 ( )	2, 558 総 <b>合</b> 評	·····································
成果指標 国 評 価	①     ②       有達効	事業の目       精神科       し       基準       効成率       性度性	<b>的の成果を</b> 救急医療利力 類の減額に作	<b>測る指</b> 用者 事 半い、 事 に 害院 を そ そ で れ る た る た る た る た る た る た る た る た る た る	標 - ) 開始10 の確 政	指標設 どれだかと でででででである。 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でである。」 「一方でする。」 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方である。 「一方です。 「一方です。 「一方です。 「一方です。 「一方です。 「一方です。 「一方です。 「一方です。 「一方です。 「一方です。 「一方です。 「一方です。 「一方で。 「 「一方で。 「一方で。 「一方で。 「一方で。 「一方で。 「一方で。 「一方で。 「一方で。 「一方で。 「一方で。 「一方で。 「一方で。 「 一方で。 「 一方で。 「 一方で 「 一方で 「 一方で 「 一方で 「 一方で 「 一 「 一 「 一 「 一 「 一 「 一 「 一 「 一 「 一 「	業示し <b>兄</b> 成 こと	がする。 <b>化</b> な 17年 防重	用され <b>なび事</b> するが でででするが	業(値)	人 <b>の</b> 改 fiをi	2,462 目標 (2,197) 目標 ( ) <b>Z善点等</b> 減額しまし	2,558 目標 (2,462) 目標 ( )	2, 558 総合評	·····································

事業名 精神医療費(措置入院)の負担 03	37 予 会計 一般会計 01
部 門 障害児·障害者福祉 11	_  算   款   健康福祉費
部 門 障害児・障害者福祉         11           施 策 地域における自立した生活の実現         1	—   _
	6 連絡先 972-2532
事 対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	者の医療保護を図るために行われる行政処
	、公益性も高いと考えられることから、そ を公費で負担します。
<b>的</b>	
************************************	
<mark>▼</mark> 及ぼすおそれがあると認められた方について、市長に。	よる入院措置を採り、その医療費について公
の  質で負担します。 たたし、当該精仲障害者の属する世位	帯の所得の状況により、費用の全部又は一部
を徴収します。	
容	
<b>图松在床</b> 亚比 。 在床 相加头人。 黄烟笠 味味。	见健功//***********************************
	保健及び精神障害者福祉に関する法律第30・31条 7 大島新州紀計画2010第2次字族計画   原
	G古屋新世紀計画2010第2次実施計画 │無 │ 頁 □別計画   百
財 国・県支出金 74,920 83,418 91,448 事業の	
源地方債 措置入	1.02
	1 17/-
訳   一般財源   24,974   27,806   30,483   世間   推置   推置   推置   表	<sup>人院</sup>   千円   99,894   111,224   -
事業の目的の成果を測る指標 指標設定の考える	
成 本来、適正に行われ	
るかどうかの指標が	求め
<b>  果</b>	標の
指	
標 ②	目標目標
標 ② [ ] 事業開始時からの状況変化及び	
事業開始時からの状況変化及び	び事業の改善点等
事業開始時からの状況変化及び   事業開始時からの状況変化及び   市評価	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
事業開始時からの状況変化及び	( ) ( ) ( ) ( ) が事業の改善点等 総合評価 今後も法に則り、適正な事務処
事業開始時からの状況変化及び         事業開始時からの状況変化及び         市評価         評 有 効 性 4	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
事業開始時からの状況変化及び         市評価         市評価         神評価         有効性 4       措置入院費の公費負担については、理を行います。         理を行います。         面 郊 率 性 4       理を行います。	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
事業開始時からの状況変化及び         事業開始時からの状況変化及び         市評価         神評価         有効性 4       措置入院費の公費負担については、理を行います。         理を行います。         行政評価委員会の外部評価	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
事業開始時からの状況変化及び         市評価         市評価         神評価         有効性 4       措置入院費の公費負担については、理を行います。         理を行います。         面 郊 率 性 4       理を行います。	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

į	事	業名	3	自立支	援医	療(精	青神通	6院)	Ø;	給付			038	予算			安会計 表福祉	費					01
3	部	P	F	障害児	·障	<b>害者福</b>	扯						113	費			会福祉						01
	施	Э		地域に	おけ	る自立	こした	生	5の	実現			1	目			手者自	立	支援	<b></b>			05
	作月	戈部署		健康福				障害	企画	可課	09	01					-2532						
事業の目的				対象 精神医 る精神	療を			まする	5程,	度	て、	在	援医 宅精	療 青神區	(精 章害	神通 者の	<b>う状態</b> 院)で 方ので を普及	を終	合付す	「るこ ぼ保を	. と	によ	
事業の内容	る指者額ま世	ものなとなった。	で立長負長所す。 支期担期得 1000円の100円の100円の100円の100円の100円の100円の100	爱医療機 かつ継続 上限額を かつ継続 が一定水	と関でなけない。 注的は準 は に に に に に に に に に に に に に に に に に に	治療を担合ををとれる	受する要素を	るる措る制	要、がや対める	あ去1 あ去1 おより おより おり と	、年ままま	対象( 間に) 間に) に)	の医額高額	療費な医	で 1 医療 医療 要	- 割が が が が が が が れ	が自己が 継続し <sup>*</sup> 迷続し <sup>*</sup>	負担て発	担とな Ě生し	りまってい	す。 る	(低 がには	所得 、月
-		年		平成	8		12 (0)		•								第58条					. 1	
		・人		16年度決							1 1 1	Ţ			<b>新世紀</b>	他計	画2010	第2	次実	施計區	<b>当</b>	無	頁
		(千)		1, 865,										計画			0 <del></del>		,				頁
,,,		・県支		932,	726	1, 038	, 129	1, 0	99,	041	事	業(	り実	績	単位	1	6年度		174	丰度		目標	年度
源	地	方_	债 					 			(1)	通	完医	療	千円	1.8	65, 452	2 2	2. 076	5, 259		_	_
内	その	)他特定	財源								•	費				2, 0			<b>2,</b> 0. 0	, 200			
訳		般具		932,		1,038		ł – – –			2												
職		数 (人			4.0		4.0			1.6													
-		事業の	の目	的の成	果を	測る指	標			票設					単位	1	6年度		174	丰度		目標	年度
成		通	完医	<b>寮費公</b> 第	費負:	担支払	件数			療費						24	9, 257		291,	253			
<b>—</b>	1									る指				-	件							-	-
果							- ]	しま	ミし	た。						目 村	宗	\	目標		\		
指																(		) '	(		)		
10																							
標	2	) (					٦									目 柞	漂	E	目標				
							<del>-</del>									(		)	(		)		
						事業	開始日	時か	<b>δ</b> 0.	)状	兄変	化及	とび	事業	の改	<b>坟善</b> ,	点等						
				ら障害者自 付として制				、精神	申保健	建及び	青神障	害者	冨祉に	2関す	る法律	はに規グ	定される	通院	医療費	公費負	担制	度が、	自立支援
		点= ·	自己負	担額が、医	医療費	05%から	、原則								only to the s	ماه <del>د</del> سیب	th. 1 ::	-y -!	0-11				
			月額自	者及び長期 己負担上N	艮額を請	ひける 負担	軽減措	昔置がま	ありま	(す。)					継続し	て発	王してい	る万	には、				
				つ継続的な ている方を											した。								
										評価	_											総合	評価
評	有	効	性	4		神障害は増加して												その	の対象	者は			
	達	成	度	_		年度シ												0				F	3
価	効	率	性	3	1																		
Щ						1	<b>宁政</b> 言	平価	委員	会(	) 外:	部評	価								+	総合	評価
``	ノフ	テム	1/1:	アトス重	[終]									ビナ	l, )						+	, , , ,	

Į	事 業	美 名	精神医療審	査会				予 <u>会計</u> 算 款	一般会計 健康福祉費		01
3	部	門	障害児・障害	· 李者福祉			113		社会福祉費		01
	<del>立</del>				.生活の実現	<u> </u>			精神保健福		04
1	乍成	部署	健康福祉局	障害福祉部	障害企画課	09 (	01 16 <b>j</b>		972-2532		L.
事			対象(誰る	4・何を)			意図	(ど	ういう状態	にしたいのか	N)
業	精神	申病院に	入院中の患			人権				及び保護を確	
の目						す。					
的											
	精神	障害者の	の人権に配慮	しつつ、その	の適正な医療	及び位	呆護を確	保する	ために、市長	長からの求め!	に応じて、精
										ついて中立公	
事										ています。審	
$\overline{}$										人からの退院 レ学識経験を <sup>2</sup>	
の										経験を有する	
^]	委員	() 4人の	計20名であ	0、医療委員	(3人、法律家	委員1	人,有諳	战者委員	員1人の5人で	構成される合	
容	を取	ひ扱いる	ます。全体会	:議を通常年1	回、合議体	を年32	回(4合諱	§体× <sup>左</sup>	₣8回)開催〕	<sub>ン</sub> ています。	
開	始	年 度	平成 8	年度 根据	処法令・要約	岡等   米	青神保健	及び料	青神障害者為	国祉に関する 国社に関する	法律第12条
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画	3 名古屋	屋新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事業	養	(千円)	10, 923	11, 033	12, 443			画			頁
財	国•	県支出金	,	,	,		業の実績	単位	16年度	17年度	目標 年度
		方債					と期の報告		10 172	17 172	
						1 4	学に関する		2,905	2,881	_
		也特定財源 					<b>季査</b>	_			
訳		投 財 源	10, 923	11, 033		<b>②</b> 3	委員数	人	20	20	_
ᄣ		(人)	1. 5	1.5	1. 5	_					
46%							L = 1		405-	176-	
			的の成果を		指標設			単位	16年度	17年度	目標18年度
成	事	業の目 退院等	<b>的の成果を</b> 請求受理か	<b>測る指標</b> ら結果通知	指標設 患者からの	請求	に対し、				目標18年度
成	事	業の目 退院等	的の成果を	<b>測る指標</b> ら結果通知	<b>指標設</b> 患者からの 迅速な審査	請求に	に対し、 われてレ	`	<b>16年度</b> 42.7	<b>17年度</b> 40.8	
	事	業の目 退院等	<b>的の成果を</b> 請求受理か	<b>測る指標</b> ら結果通知	<b>指標設</b> 患者からの 迅速な審査 るかの指標	請求に	に対し、 われてレ	`			目標18年度 30
成	事	業の目 退院等	<b>的の成果を</b> 請求受理か	<b>測る指標</b> ら結果通知	<b>指標設</b> 患者からの 迅速な審査	請求に	に対し、 われてレ	`	42.7	40.8	
成	事	業の目 退院等	<b>的の成果を</b> 請求受理か	<b>測る指標</b> ら結果通知	<b>指標設</b> 患者からの 迅速な審査 るかの指標	請求に	に対し、 われてレ	`	42.7	40.8 目標	
成果	1	業の目 退院等	<b>的の成果を</b> 請求受理か	<b>測る指標</b> ら結果通知	<b>指標設</b> 患者からの 迅速な審査 るかの指標	請求に	に対し、 われてレ	`	42.7	40.8 目標	
成果	事	業の目 退院等	<b>的の成果を</b> 請求受理か	<b>測る指標</b> ら結果通知	<b>指標設</b> 患者からの 迅速な審査 るかの指標	請求に	に対し、 われてレ	`	42.7	40.8 目標	
成果指	1	業の目 退院等	<b>的の成果を</b> 請求受理か	<b>測る指標</b> ら結果通知	<b>指標設</b> 患者からの 迅速な審査 るかの指標	請求に	に対し、 われてレ	`	42.7 目標 ( 30 )	40.8 目標 ( 30 )	
成果指	1	業の目 退院等	<b>的の成果を</b> 請求受理か	<b>測る指標</b> ら結果通知 間 ]	<b>指標設</b> 患者からの 迅速な審査 るかの指標 ました。	請求に が行 さとし	に対し、 われてい て設定し	月	42.7 目標 ( 30 ) 目標 ( )	40.8 目標 (30)	
成果指標	1 2	<b>業の目</b> 退院等記 までに対	<b>的の成果を</b> 請求受理か かかった期	<b>測る指標</b> ら結果通知 間  事業開始	指標設 患者からの 迅速な審査 るかの指標 ました。 時からの状	語求に だだとし、 になる <b>況変化</b>	に対し、 われてい て設定し <b>:及び事</b>	業の改	42.7 目標 ( 30 ) 目標 ( ) 文善点等	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( )	30
成果指標平	① ②	<b>業の目</b> 退院等に までに	的の成果を 請求受理か かかった期	<b>測る指標</b> ら結果通知 間 <b>事業開始</b> まで精神医療	指標設 患者からの るかの指標 ました。 時からの状況 審査会の事	語求に だだい で に た た た た た た た た た た た た た た た た た た	に対し、 われてい て設定し <b>こ及び事</b> をしてい	業のないたも	42.7 <sup>目標</sup> (30 ) <sup>目標</sup> ( ) <b>対善点等</b> のを、法改	40.8 目標 (30)	30 成14年4月1
成果指標平局	事 ① ② ②	<b>業の目</b> 退院等に に 度 に に ま て し ま て に ま で に ま で に ま で は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	<b>的の成果を</b> 請求受理か かかった期 管害福祉さ 準福祉センタ	<b>測る指標</b> ら結果通知 間 <b>事業開始</b> まで精神医療	指標設 患者からの るかの ました。 時からの状況 いる会の でである。	語求に だだい で に た た た た た た た た た た た た た た た た た た	に対し、 われてい て設定し <b>こ及び事</b> をしてい	業のないたも	42.7 <sup>目標</sup> (30 ) <sup>目標</sup> ( ) <b>対善点等</b> のを、法改	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( )	30 成14年4月1
成果指標平局	事 ① ② ②	<b>業の目</b> 退院等に に 度 に に ま て し ま て に ま で に ま で に ま で は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	<b>的の成果を</b> 請求受理か かかった期 管害福祉さ 準福祉センタ	<b>測る指標</b> ら結果通知 間 事業開始 事業開始 でに事務局	指標設 患者からの るかの ました。 時からの状況 いる会の でである。	語求に だだい で に た た た た た た た た た た た た た た た た た た	に対し、 われてい て設定し <b>こ及び事</b> をしてい	業のないたも	42.7 <sup>目標</sup> (30 ) <sup>目標</sup> ( ) <b>対善点等</b> のを、法改	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( )	30 成14年4月1
成果指標平局	事 ① ② ②	<b>業の目</b> 退院等に に 度 に に ま て し ま て に ま で に ま で に ま で は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	<b>的の成果を</b> 請求受理か かかった期 管害福祉さ 準福祉センタ	<b>測る指標</b> ら結果通知 間 事業開始 事業開始 でに事務局	指標設 患者からのな るした。 時からの状 を審移す。	請求に <b>況変化</b> <b>深</b> <b>別</b>	に対し、 われてい て設定し <b>こ及び事</b> をしてい	業のないたも	42.7 <sup>目標</sup> (30 ) <sup>目標</sup> ( ) <b>対善点等</b> のを、法改	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( )	30 成14年4月1 合議体に増
成果指標平日や	事 ① ② ②	<b>業の目</b> 退院等に に 度 に に ま て し ま て に ま で に ま で に ま で は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	的の成果を 請求受理か かかった期間 で障害福祉と でではいる。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 では、	<b>測る指標</b> ら結果通知 間 事業開始 事業開始 事業開始 関でに努めてい	指標設 患者からのな るした。 時からの状 いを 音をす。 市評価	請求に <b>祝変化</b> <b>の変化</b> <b>の変化</b>	に対し、 われてい て設定し を を で あ で あ れ て と し で も れ て い て も れ て し る し る し る 。 の る 。 の る 。 の る 。 の る 。 の る 。 の 。 の	、 <b>業の</b> む 6年度	42.7 <sup>目標</sup> (30 ) <sup>目標</sup> ( <b>)</b> <b>対善点等</b> のを、法改 からは、36	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( ) 正により平月 合議体から4	30 成14年4月1
成果指標平局	事 ① ② ②	<b>業の目</b> 退院等に に 度 に に ま て し ま て に ま で に ま で に ま で は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	的の成果を 請求受理か かかった期間 で障害福センタ で適切な処理	<b>測る指標</b> ら結果通知 間 事業開始 事業開始 果でに努めてい 医療の特殊性	指標設 患者かな事情 るした。 時からの状 いを会管 いまして、 適正 として、 適正	請が に に に に に に に に に に に に に	に対し、 われで と な で を で で る で る で る で る で る で る で る で る で	ド <b>業の</b> で を 確保	42.7 目標 ( 30 ) 目標 ( *** ( **) ( *** ( **) ( *** ( *** ( *** ( **) ( *** ( **) ( *** ( **) ( **) ( *** ( **) (	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( ) 正により平 合議体から4	成14年4月1 合議体に増 <b>総合評価</b>
成果指標平日や	事 ① ② ② 立 な 13 <sup>4</sup> よ り 大 こ り 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	<b>業の目</b> 退院等に までに 度様保かって	的の成果を 請求受理か かかった期間 管害福セン処理 構思問題	測る指標 ら結果通知 ら結果通知 事業開始 事業神事が でして多めでいる。 でのない立 でのない立 でのない立 でのない立 でのない立 でのない立 でのない立	指標設 患者なのた。 時かなのた。 時かを変われる。 時かを変われる。 は、これののしまでは、これののしまでは、これののしまでは、ののものは、これののものは、これののものは、これののものは、これののは、これのでは	まださい。 これでは、 になるではな。 になるではな。 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるではな。 になるではな。 になるではな。 になるではな。 になるではな。 になるではな。 になるではな。 になるではな。 になるではな。 になるではな。 になるではな。 になるではな。 にななな。 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 に	にわて 対れで して して と で で いて で いて で れた で れて で れて で れて た り て れて た り て り た り た れ る ら く る ら く る ら く る ら く る ら る ら る ろ る ろ る ろ る ろ る ろ る ろ る ろ る ろ	<b>業</b> の <b>さ</b> も度 をなら精神	42.7  I 標 ( 30 )  I 標 ( 30 )  A	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( 30 ) 正により平 合議体から4 は患者本人の意専 に接護に配慮し	成14年4月1 合議体に増 <b>総合評価</b>
成果指標平日や	事 ① ② <sup>対134</sup> 対 方り、注	<b>業の目</b> 退院等に までに 度様保かって	的の成果を         請求の受理かれかかった期間         管審社切な処理         構思門ので         4         3	測る指標 おおまり は は まま は まま は まま は まま は まま は まま は ま	指標設 患者をあるまます。 おかなのた。 おかなのた。 おかなのでである。 は、で、ののでは、これで、ののででは、これで、のののでである。 は、これで、ので、のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	まだと 一般では では では では では では では では では では	にわて 対れ設 <b>ことを</b> <b>ことを</b> <b>でないででででででででいる。</b> ででででででででででででででいる。 ででででででででいる。 でででででででいる。 ででででででいる。	<b>業</b> の <b>さ</b> も度 をなな精利意	42.7 目標 ( 30 ) 目標 ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( 30 ) 正により平 会議体から4 は患者本人ので配慮 まず護にます。	成14年4月1 合議体に増 <b>総合評価</b>
成果指標平日や	事 ① ② <sup>対134</sup> 対 方り、注	<b>業の目</b> 退ま [ 年情迅 <b>効 性</b>	的の成果を請求かので請求かかった期間管審社切な構思門つ調整43	測る指標 お結果通知 お結果通知 事業開始 事業神事めのな独・統一ののなな独続請求と を療らのでは、からので、ののな、ののな、ののな、ののな、ののな、ののな、ののな、ののな、ののな、の	指標設 患者を おなのた。 おなのた。 おなのた。 おなのた。 おなのた。 おなのででである。 おいでのででのででいるのでである。 はたで関いるのでは、 はいのでは、 はいの	まだと これでは、 これでは、 これでは、 これでは、 これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	にわて 対れ設 <b>ン及び</b> を で で で で で で で で で で で で に で で に で に で に で に で に で に で に に に に に に に に に に に に に	<b>業</b> の <b>さ</b> も度 をなな精利意	42.7 目標 ( 30 ) 目標 ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( 30 ) 正により平 合議体から4 は患者本人の意専 に接護に配慮し	成14年4月1 合議体に増 <b>総合評価</b>
成果指標平月や評	事 ① ② 対334 対 3	<b>業の目</b> 退ま [ 年情迅 <b>効 性</b>	的の成果を請求かので請求かかった事福也43よ	測る指標 お結果通知 お結果通知 事業開始 事業神事めのな独・統一ののなな独続請求と を療らのでは、からので、ののな、ののな、ののな、ののな、ののな、ののな、ののな、ののな、ののな、の	指標設 患者をあるまます。 おかなのた。 おかなのた。 おかなのものでは、 は、で、これで、これで、これで、ののもので、 は、これで、ののもので、 は、これで、これで、ののので、 は、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	まだと これでは、 これでは、 これでは、 これでは、 これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	にわて 対れ設 <b>ン及び</b> を で で で で で で で で で で で で に で で に で に で に で に で に で に で に に に に に に に に に に に に に	<b>業</b> の <b>さ</b> も度 をなな精利意	42.7 目標 ( 30 ) 目標 ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( 30 ) 正により平 会議体から4 は患者本人ので配慮 まず護にます。	成14年4月1 合議体に増 <b>総合評価</b>
成果指標平日や	事 ① ② 対334 対 3	<b>業の目</b> 退ま [	的の成果を請求の         請求の       2         情報切り       2         本       3         お       3	測る指標 時期 一 事精に努 事精に努 一 事精に努 一 のな独継の事務ののな独継の事務ののな独継の事務ののな独継の事務ののな独継の事務ののな独継の事務ののなのである。	指標設 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>院を である。                                    </b>	にわて	<b>業</b> の <b>さ</b> も度 をなな精利意	42.7 目標 ( 30 ) 目標 ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( 30 ) 正により平 会議体から4 は患者本人ので配慮 まず護にます。	成14年4月1 合議体に増 <b>総合評価</b>
成果指標平日や評価	事 ① ② 対50、 有達効	<b>業</b> の目 院で 実際で ま保か 性度性	的の成果を請求の成果を請求のである。         請求かかった期間         管福セン処         構思門つるため。         るため。	測る指標 おま	指標設 患者を おなのた。 おなのた。 おなのた。 おなのた。 おなのた。 おなのででである。 おいでのででのででいるのでである。 はたで関いるのでは、 はいのでは、 はいの	<ul><li>記さ</li><li>記さ</li><li>変務し</li><li>なを神す求い</li><li>か外式行し</li><li>なを持ずまい</li><li>か外式行し</li><li>なを持ずまい</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり</li><li>かり&lt;</li></ul>	にわて	<b>業</b> へ 6 <b>を</b> なら 精 有 観 点 を なら 精 有 観 点 は の も 度	42.7  I 標 ( 30 )  I ( 30	40.8 目標 ( 30 ) 目標 ( 30 ) 正により平 会議体から4 は患者本人ので配慮 まず護にます。	成14年4月1 合議体に増 <b>総合評価</b>

1	事	業 名	精神病院に	対する実	地審査		040	J 1	会計	一般会計 健康福祉費		01
i	部	門	障害児·障害	害者福祉			113			社会福祉費		01
7	施	策	地域におけ	る自立し	た生活の実現	1	1	目	目	精神保健福		04
	作成	部署			部障害企画課	09				972-2532		
事業	<i>h</i> -	<u> </u>	対象(誰を		~ \\ →	사 <del>보</del> 구	意			–	こしたいのか	
の目的			による措置 中の医療保		の中内精神	て、	精神病	院に	おり		地の指導監権 適正な運用を ます。	
事業の内容	患者	者の入院 査は、各	継続の要否病院に対し	について て年1回行	び市内精神病 市長が指定す すう実地指導の の実地審査は	る料	青神保健 併せて行	指定	医がます	「審査を行い 。 ただし必	います。原則 要がある場	」として実地 合は随時行
開	始	年 度	平成 8	年度 村	艮拠法令・要終	岡等	精神保健及	ひ精神	神障	害者福祉に関す	る法律第38条の	6及び第38条の7
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算	額 18年度予算額	н		屋新	世紀	2010第	2次実施計画	無頁
事第	*費	(千円)	466	18	665	撂	載   個別	計画				頁
財	国•	県支出金				事	業の実	<b>漬</b>	単位	16年度	17年度	目標 年度
源	地	方 債				(1)	実地審査		人	50	60	_
内	その	他特定財源				0	象患者数	Ţ ·	<i>/</i> \	00	00	
訳		般財源	466	18		2						
職	員数	女(人)	0.3	0.3	0.3	)						
	_	1 0 0	11 - P. T. L	ADJ 27 16 177	16.17.70					<u> </u>	47 <del>-</del>	
_15	Jali.	事業の目	的の成果を	測る指標			考え方		単位	16年度	17年度	目標18年度
成	1		<b>查</b> 実施状況		少なくとも各 審査を行うと 置入院者の措	病院 とも 置後	E年1回の第 に、新規 63か月の第	E地 措 E地	%	100	100	目標18年度 100
成果			查実施状況 実施患者	数	少なくとも各 審査を行うと	病院と置後	E年1回の写 かに、新規 £3か月の写 かた成果と	E地 措 E地	%	100	100	
		実地審	<b>查</b> 実施状況	数	少なくとも名 審査を行うと 置入院者の措 審査を確実に	病と置行ま続の	経年1回の頃 かに、新規 いまか月の頃 かた成果と た。	ミ地 措 ミ地 し	%	100	100	
果指		実地審	查実施状況 実施患者 対象患者	数	少なくとも名 審査を行うと 置入院者の措 審査を確実に て指標設定し 患者の入院組	病と置行ま続の	経年1回の頃 かに、新規 いまか月の頃 かた成果と た。	単地 世帯地 い設	%	100 目標 ( 100 ) 8	100 目標 ( 100 ) 8	
果	1	実地審	查実施状況 実施患者 対象患者	数	少なくとも名 審査を行うと 置入院者の措 審査を確実に て指標設定し 患者の入院組 て審査した結	病と置行ま続の	経年1回の頃 かに、新規 いまか月の頃 かた成果と た。	単地 世帯地 い設	%	100 目標 ( 100 ) 8 目標	100 目標 (100 ) 8 目標	
果指	1	実地審	查実施状況 実施患者 対象患者	数 数 	少なくとも名 審査を行うと 置入院者の措 審査を確実に て指標設定し 患者の入院組 て審査した結	病と置行ま 続果	年1回の 第4 第5 第3 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5	医措 とし い設	%	100 目標 ( 100 ) 8 目標 ( )	100 目標 (100 ) 8 目標	
果指	1	実地審	查実施状況 実施患者 対象患者	数 数 	少なくとも名 審査を行うと 置入院者の実に 審査を確実に て指標設定し 患者の入院総 てました。	病と置行ま 続果	年1回の 第4 第5 第3 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5	医措 とし い設	%	100 目標 ( 100 ) 8 目標 ( )	100 目標 (100 ) 8 目標	
果指標	2	実地審	查実施状況 実施患者 対象患者	数 数 	少なくとも名 審査を行うと 置入院者の実に 審査を確実に て指標設定し 患者の入院総 てました。	病院も後つと「続果」の変	年1回の 第4 第5 第3 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5	医措 とし い設	%	100 目標 ( 100 ) 8 目標 ( )	100 目標 (100 ) 8 目標	
果指	2	実地審	在実施状況 実施患者 対象患者 態変更件数	数	少なを を行者の を行者の を行者の を行者の を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	病と置行ま続果のなりでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	年1回の第 のに、新の月の のに、新の月の のた。 のた。 ので、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	単措 地 けい 設 <b>業</b> の し し	% 件 <b>の</b> 改	100 目標 ( 100 ) 8 目標 ( ) <b>善点等</b>	100 目標 (100 ) 8 目標 ( )	100
果指標	2	実地審	在実施状況 実施患者 対象患者 態変更件数	数 数 <b>事業開始</b> 事務院に入 る で た め た の た め に り に り れ る り に り れ る り に り れ る り に り れ る り に り れ る り に り れ る り に り れ る り に り る り る り る り に り に り に り に り に り	少審では と行者確認 を有力を標準では と行者確認 を有力をでする。 と行者確認 を有力をでする。 と行者では を有力をでする。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	病と置行まに続果の現場では後でしていると、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	年1回の第 に、新の月の らに、月の日 られた。 ででである。 ででである。 ででは、 ででは、 ででである。 ででは、	(地構地し) い設 業	% 件 <b>の改</b>	100 目標 ( 100 ) 8 目標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	100 目標 (100 ) 8 目標 ( ) び保護の 、入院継続	100
果 指 標	1 2 有達	実地審	在実施状況 実施患者 対象患者 態変更件数	数 数 <b>事業開始</b> 事務院に入 る で た め た の た め に り に り れ る り に り れ る り に り れ る り に り れ る り に り れ る り に り れ る り に り れ る り に り る り る り る り に り に り に り に り に り	少なを を行者の を行者の を行者の を行者の を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	病と置行まに続果のなどでは、そのとは、これでは、そのとのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	年1回の第 に、新の月の らに、月の日 られた。 ででである。 ででである。 ででは、 ででは、 ででである。 ででは、	(地構地し) い設 業	% 件 <b>の改</b>	100 目標 ( 100 ) 8 目標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	100 目標 (100 ) 8 目標 ( ) び保護の 、入院継続	100 総合評価
果指標	1 2 有達	実地審       入院形       小院形       小院       小院 </th <th>を実施状況 実施患者 対象患者 態変更件数 4 精確が 4 が通</th> <th>数 数 <b>事業開始</b> 事務院に入 に あ 当 か ど う</th> <th>少審では と行者確認 を有力を標準では と行者確認 を有力をでする。 と行者確認 を有力をでする。 と行者では を有力をでする。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、</th> <th>病と置行すに続果の現場を置行する続果の現場を関する。</th> <th>年1回の9 のは い月果 のた。 のた。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でし</th> <th>(地構地し) い設 業</th> <th>% 件 <b>の改</b></th> <th>100 目標 ( 100 ) 8 目標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b></th> <th>100 目標 (100 ) 8 目標 ( ) び保護の 、入院継続</th> <th>100 総合評価</th>	を実施状況 実施患者 対象患者 態変更件数 4 精確が 4 が通	数 数 <b>事業開始</b> 事務院に入 に あ 当 か ど う	少審では と行者確認 を有力を標準では と行者確認 を有力をでする。 と行者確認 を有力をでする。 と行者では を有力をでする。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	病と置行すに続果の現場を置行する続果の現場を関する。	年1回の9 のは い月果 のた。 のた。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でし	(地構地し) い設 業	% 件 <b>の改</b>	100 目標 ( 100 ) 8 目標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	100 目標 (100 ) 8 目標 ( ) び保護の 、入院継続	100 総合評価
果 指 標	1 2 有達効	実 ( )	を実施状況 実施患者 対象患者 態変更件数 4 精確が 4 が通	数 事 <b>業開</b> が 高当 に の い で で の い で の で の で の で の で の で り で り で り で り で り	少審では、 をすると をすると をすると を行者確設 では、 を行者確認 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	病と置行すに続果の現場を置行する続果の現場を関する。	年1回の9 のは い月果 のた。 のた。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でし	(地構地し) い設 業	% 件 <b>の改</b>	100 目標 ( 100 ) 8 目標 ( <b>**</b> ( <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b> <b>**</b>	100 目標 (100 ) 8 目標 ( ) び保護の 、入院継続	100 総合評価 <b>A</b>

					_										
Ę	事業	業 名		精神病院	記に	_ <del>_</del> 対する	実地	指導			041 <b>予</b> 算	会計款	一般会計 健康福祉費		0
i	部	PF.		障害児・	章:	害者福祉	ıt.				113 費		社会福祉費		
	施	<del></del> 策						.生活の実現	1		1 目		精神保健福		0
•	作成	部署		健康福祉	局	障害福	祉部	障害企画課	09	01	16 連	格先	972-2532		
事業の目的				<b>対象(</b> する精神	抻病	床を有	する		て、も・	. 精って	神病院は患者の。	する こお 人権	定例的な実 ける制度の 擁護を図り	. , ,	賢等を通し を確保し、
事業の内容	精神病院に入院中の方の人権擁護に配慮した適正な医療及び保護の確保のために、市内に 精神病床を有する病院に対し、実地に調査・指導を行います。精神保健福祉職員及び市会 る精神保健指定医が、原則として定例的に各病院年1回行いますが、必要があるときは随す。 す。 開始年度 平成 8 年度 根拠法令・要綱等 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の67														5長が指定
開	始	年	度	平成	8	年度	根拠	処法令・要約	岡等	精神	保健及び料	青神障	害者福祉に関す	-る法律第38条の	6及び第38条の
事	業費	・人	員	16年度決算	額	17年度決	學額	18年度予算額	н н	画	名古屋籍	新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無
事第	<b>美費</b>	(千F	<del>]</del> )	1	41		110	265	捤	載	個別計画				Ī
財	国•	県支	出金						事	業(	の実績	単位	16年度	17年度	目標18年月
源内		<b>方</b> 他特定							1	実均回数	也指導 数	件	17	16	15
訳	<u> </u>	 般 財		 1	 41		110	265							
		(人		0.		(	0. 5	0.5	2			1			
						`	<i>J</i> . <i>O</i>	0.0							
	昌	事業(	D目	的の成果				指標設	<u></u> 定σ	) )考 <i>?</i>	え方	単位	16年度	17年度	目標18年月
成				<b>的の成果</b> 導回数				<b>指標設</b> 少なくとも 回実地指導	各別を行	病院 亍う	に年1 ことを		16年度 17	<b>17年度</b> 16	
果	1							指標設 少なくとも 回実地指導 目標に指標 た。	各別を行う	病院 行う 定し	に年1 ことを まし	単位	17		<b>目標18年</b> 月
果指	1	実地	11指導		き			指標設 少なくとも 回実地指導 目標に指標 た。 各病院にお 慮した適正	各別を行うというというというというというというというというというというというというという		に年1 にこま にこま に に に に に に に に に に に に に に に に	□	17 目標	16 標	
果		実地	11指導	導回数	き	測る指	標 ]	<b>指標設</b> 少回目た 今 実標に 病しが に 適保結 に 適保結 し ましましま	各を設いなれと。		に 年 と に に に び か標 配 保 指 設	回件	17 目標 ( 15 ) 41 目標 ( )	16 目標 (15)	
果指標	1)	実 <sup>地</sup> ( - 実 <sup>地</sup>	2指型	導回数	数数	測る指	標	指標設少回目標と指導た。 病しがしまい 病に の状 がっこう 病に がい に 適 保 結 正 さ 果 た からの状 がった の 状 が から	各を設いなれと。況変	病 一	に 年 1 年 と し に び か 標 設 も <b>し</b> も で が 標 設 も で り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り	回件の改	17 目標 ( 15 ) 41 目標 ( )	16 目標 (15) 61 目標 ( )	15
果指標	1)	実 <sup>地</sup> ( - 実 <sup>地</sup>	2指型	導回数	数数	測る指	標	指標設少回目標と指導た。 病しがしまい 病に の状 がっこう 病に がい に 適 保 結 正 さ 果 た からの状 がった の 状 が から	各を設いなれと。況変	病 一	に 年 1 年 と し に び か 標 設 も <b>し</b> も で が 標 設 も で り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り	回件の改	17 目標 ( 15 ) 41 目標 ( )	16 目標 ( 15 ) 61	15
果指標	1)	実 <sup>地</sup> ( - 実 <sup>地</sup>	2指型	導回数	数数	測る指	標	指標設少回目標と指導た。 病しがしまい 病に の状 がっこう 病に がい に 適 保 結 正 さ 果 た からの状 がった の 状 が から	各を行いなれど。呪指	病 一	に 年 1 年 と し に び か 標 設 も <b>し</b> も で が 標 設 も で り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り ま り	回件の改	17 目標 ( 15 ) 41 目標 ( )	16 目標 (15) 61 目標 ( )	15
果 指 標	① ② 果的 有達	実出に対する対域を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	指指	導回数 導指摘件 病院実地 4 4	また 数 指電	<b>事業</b> で保健金銭と は、推進した	<b>標</b> - 開っ	指標設 少回目た 各慮護導定時いく 病しがししまのめ、 市福祉に でまる おいっと おいっと おいっと おいっと おいっと おいっと おいっと おいっと	各を行 いなれと <b>の</b> 選 関が	南庁宮 て医でし 化基 る切に る類に	にこま 権及る指 <b>ひや</b> にびか標 <b>事</b> 指 にいれていた。 これ、	回件の改造が	17 目標 ( 15 ) 41 目標 ( ) <b>本善点等</b> 巻の見直し 、行動制限、 復帰にた	16 目標 ( 15 ) 61 目標 ( ) を適宜行っ	ています。
果 指 標	(1) (2) 果的	実 実 実 ( - つな 対 な が	11指導	導回数 導指摘件 病院実地 4 4	また 数 指電	<b>測る指</b> 事 <b>業</b> 行 保健金推 で に い に は 、	<b>標</b> 開っ ドラン意 特理で義 神等いと	<b>指標と</b> <b>指標と指指</b> な実標。 病しがししらた 市 編のがよわれる ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 できない できない できない できない できない できない できない できない	各を記 いなれと。 <b>呪</b> 指 関がこ		にこま 権及る指 <b>び</b> や 年とし にびか標 <b>事</b> 指 にれ神 にれ神 まれ にれ神	回件の改造が	17 目標 ( 15 ) 41 目標 ( ) <b>本善点等</b> 巻の見直し 、行動制限、 復帰にた	16 目標 ( 15 ) 61 目標 ( ) を適宜行っ	でいます。 <b>総合評価</b>
果 指 標	①   ②     果   有達効	実しました物が成率	指指	導回数 導指摘件 病院実地 4 4	を数は指す。神話的と	<b>測る指</b> 事 <b>業</b> 行 保金進 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	標 - 開っ   開っ   精理で義 政   神等いと   記	<b>指標</b> と <b>指標</b> と <b>指標</b> と <b>指指</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b>	各を行いなれと。呪指関がこの外	南庁宮 で医でし 化基 る切か 部院うし 人療いて 化基 法にら 評	にこま 権及る指 <b>びや</b> 年とし にびか標 <b>事</b> 指 にれ神 にれ神 <sup>基</sup>	回件の基づ社療機	17 目標 ( 15 ) 41 目標 ( <b>善点等</b> <b>善点等</b> で を を を を を で の 見面し 、 復帰に対して 実 に りに を に を に を に を に を に を に に を に を に を に を に を に を に を に を に を に を に に を に に を に を に に を に を に を に を に を に を に を に を に を に を に を に を に を に に に に に に に に に に に に に	16 F標 (15) 61 F標 (か) を適宜行つ で適宝行つ	15 ています。

-	事業	業 名	社	上会適応訓	練事業	É				042 <b>予</b>	会計款	一般会計 健康福祉費	, <b></b>	01
i	邹	門	到	章害児・障害	害者福	祉				113 費		社会福祉費		01
	拖	策	坩	也域におけ	で自立	こした	.生活の実現	ı		1 目	目	精神保健福	i祉費	04
•	作成	:部署	侯	建康福祉局	障害福	[祉部]	障害企画課	09	01	16 連絡	各先	972-2532		
事				対象(誰る						意図			こしたいのか	
業の目的	神障	章害者	で、	所に雇用さ 通院治療 医が訓練に	中で症	三状が	安定して	必要ます		訓練を行	うい、	、再発防止	と社会的自立	Zを促進し
								力、	対	人能力、	仕事	事に対する打	寺久力、環境	適応能力を
事業の内容	本人に適した作業をすることによって、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境 高めるために必要な訓練を行います。													
開	始	年 度		平成 8	年度	根抄	処法令・要終	岡等	精神	伸保健及	び精	神障害者福祉	<b>並に関する法</b>	律第50条の4
事	業費	・人員	16	6年度決算額	17年度2	決算額	18年度予算額	н.	画	名古屋籍	新世紀	记計画2010第	2次実施計画	無 頁
事第	養	(千円)		9, 270	10	, 463	9, 498	掲	載	個別計画				頁
財	国•	県支出	金					事	業(	)実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 化	<b>-</b> 責						⇒r.r.A.	<b></b> → ×/	_	0.000	4 0 00	4 000
内	その	---- 他特定財	 源					1	訓練	東日数	日	3, 602	4, 069	4, 069
訳	 	 般 財 i	_  - · 京	9, 270	10	, 463	9, 498		訓絲	東者数	<u> </u>			
				•		•	· ·	2			人	32	28	32
職	貝数	(人)		0.9		0.9	0.9		(夫	人数)				
職			目的	0.9 9の成果を	測る指		1.9	定の	**		単位	16年度	17年度	目標18年度
職成		事業の		りの成果を	 測る指		指標設 社会復帰に	つた	<b>)考え</b> なが。	<b>た方</b> る援助	単位			目標18年度
				りの成果を	<u> </u> 測る指		指標設	つたがで	<b>考え</b> ながってきる	<b>大方</b> る援助 た成果	単位	3,602	4,069 <sub>目 標</sub>	目標18年度4,069
成	寻	訓練目	数	の成果を	<u> </u> 測る指		<b>指標設</b> 社会復帰に をすること として、指	つた がで け 標 に	<b>)考え</b> なできれている。	<b>え方</b> る援助 た成果 定しま		3,602 目標 (3,729)	4,069 目標 (3,602)	
成果	1	訓練目	数	りの成果を	 測る指		指標設 社会復帰に をするて、 もした。 社会復帰に 社会すること	つが標につがで	う考がなき。	<b>た方</b> るだが るだが るただ るただ るたが るたが るたが たが、 もので るたが もので もので もので もので もので もので もので もので もので もので	日	3,602	4,069 <sub>目 標</sub>	4, 069
成果	寻	訓練目	数	の成果を	 測る指		指標設 社会復居にと 社会するで、 社会するで、 を るるで、 は を として と と した と した と した と した も は る る る した も も る る した も も も も した も した も し	つが標につがで	う考がなき。	<b>た方</b> るだが るだが るただ るただ るたが るたが るたが たが、 もので るたが もので もので もので もので もので もので もので もので もので もので		3,602 目標 (3,729)	4,069 目標 (3,602)	
成果指	1	訓練目	数	の成果を	 測る指		指標設 社会復帰に をするて、 もした。 社会復帰に 社会すること	つが標につがで	う考がなき。	<b>た方</b> るだが るだが るただ るただ るたが るたが るたが たが、 もので るたが もので もので もので もので もので もので もので もので もので もので	日	3,602 目標 (3,729) 32	4,069 目標 (3,602) 28	4, 069
成果指	1	訓練目	数	の成果を		<del>標</del> - ] - ]	指標設 社会復居にと 社会するで、 社会するで、 を るるで、 は を として と と した と した と した と した も は る る る した も も る る した も も も も した も した も し	つがほったでは	考がき設がき設がき設	<b>た方</b> るた定 るた定 るた定 あた定 あた定	日人	3,602 目標 (3,729 ) 32 目標 (28 )	4,069 目標 (3,602) 28	4, 069
成果指標   訓成1	① ② <sup>東期年</sup>	<b>事業の</b> 訓練 目 のから	計り、ション・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	<b>内の成果を</b> ((実人数)	<b>事業</b> ありませ	<b>標</b> - ] 開始ほ	<b>指標設</b> 社会なした。 社会すした。 後るて、 <b>時からのが、</b> でしたがらが、年	つが標っかでは、	<b>1 考えがまでこれでこれがままれている。</b>	<b>た方</b> るた定 るた定 るた定 が現ま 助果ま 事(1) 10	日人のは年間	3,602  目標 (3,729 ) 32  目標 (28 ) <b>連続等</b> 引) しか利用	4,069 目標 (3,602) 28	4,069 32 たため、平
成果指標   訓成1	① ② <sup>東期年</sup>	<b>事業の</b> 訓練 目 のから	計り、ション・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	<b>内の成果を</b> ((実人数) に制限はな 集中的に約	<b>事業</b> ありませ	<b>標</b> - ] 開始ほ	<b>指標設</b> 社会なした。 社会すした。 後るて、 <b>時からのが、</b> でしたがらが、年	つが標ったでは、大変度のなった。	<b>1 考えがまでこれでこれがままれている。</b>	<b>た方</b> るた定 るた定 るた定 が現ま 助果ま 事(1) 10	日人のは年間	3,602  目標 (3,729 ) 32  目標 (28 ) <b>連続等</b> 引) しか利用	4,069 目標 (3,602) 28 目標 (32)	4,069 32 たため、平
成果指標訓戒で	(1) (2) 東3年新	<b>事業の</b> 訓練 目 訓練 目 のか可能	計り、と	<b>かの成果を</b> ((実人数) に制限はは 集中的した。	<b>事業</b> かり続し 内等閉鎖	<b>標</b> 一 ] 開始で で 訓練 された きょうしょう かいこう はいまた かいこう はいまた かいこう はいまた かいこう はいまた かいこう はいまた かいこう はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	指標設 社をとし 社をとし 社をとし 社をとし をすした 会すした のが、ら で作業境 で作業に	つが標 つが標 <b>呪</b> 度 り り り か ま か ま か ま か ま か り も か も か も か も か も か も か も か も か も か	つ考がさい。 なでことなでことでした。 化内よ	<b>注方</b> るた定 るた定 るた定 び回練 はない ま は な	日人の背側の海道	3,602  I 標 (3,729 ) 32  I 標 (28 ) <b>X善点等</b> 引) しか利用 合計を3年間	4,069 目標 (3,602) 28 目標 (32) できなかっ までとし、	4,069 32 たため、平 同一年度内
成果指標 訓成で	1 ② 期年新	<b>業の</b> 訓練 目 調練 目 のか可能 <b>効</b> 性	数量がある。	<b>かの成果を</b> ((実人数) に制限はは 集中的に系しました。	<b>事業</b> り続し ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	<b>標</b>	指標設 社存とし 社をとし 社をとした 会すした のが、らが た受 市評価	つが標 つが標 <b>児</b> 度 り り り り か で	つ考がき設 がき設 がき設 化内よ したり	<b>注方</b> るた定 るた定 び回練 でカ は、	日の金町の海流流	3,602  I 標 (3,729 ) 32  I 標 (28 ) <b>X善点等</b> 引) しか利用 合計を3年間	4,069 目標 (3,602) 28 目標 (32) できなかっ までとし、	4,069 32 たため、平 同一年度内 <b>総合評価</b>
成果指標   	1 ① ② 期年新 有達	<b>業の</b> 訓 [ 調 ] 制 [ のか可 ] <b>効 成</b>	数	大の成果を (実人数) に制限はは 集ましました。 3 病とり障害	事業の大社者を表する。	<b>標</b>	<b>指標</b> 録 社をとし 社をとし <b>持</b> しを 会すした 会すした <b>らが</b> け <b>市</b> で、済 境力経済 環境ので、 <b>の</b> 、 <b>ら 市</b> で、済 で、済 で、済 で、済 にと指	つが標 つが標 <b>呪</b> 度 り り り り か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	<b>つま</b> がき設 がき設 <b>化</b> 内よ 間も特別である。	<b>さ方</b> あた定 るた定 <b>び</b> 回練 でカを	日人のも間の通常的ま	3,602  I 標 (3,729 ) 32  I 標 (28 ) <b>X善点等</b> 引) しか利用 合計を3年間	4,069 目標 (3,602) 28 目標 (32) できなかっ までとし、	4,069 32 たため、平 同一年度内
成果指標   	1 ② 期年新	<b>業の</b> 訓 [ 調 ] 制 [ のか可 ] <b>効 成</b>	数量がある。	<b>かの成果を</b> ((実人数) に制限はに糸 しました。 3 病とり障とり障害	<b>事業</b> り続 等集会自ま 閉中復立す。	<b>標</b> 一 一 <b>開</b> むて	指標別にと指	つが標 <b>元</b> で	つまでこ よでこ 化 内よ まる である いまから かき ひと かき ひと から	<b>さ方</b> あた定 るた定 <b>び</b> 回練 でカをた	日人のも間の通常的ま	3,602  I 標 (3,729 ) 32  I 標 (28 ) <b>X善点等</b> 引) しか利用 合計を3年間	4,069 目標 (3,602) 28 目標 (32) できなかっ 引までとし、 練に取り組むこ ことにつなが	4,069 32 たため、平 同一年度内 <b>総合評価</b>
成果指標   	1 (2) 期年新 有達効	<b>業の</b> 訓 [ 調度が <b>効成率</b>	数計、とまま	内の成果を (実人数) に制限的した。 3 内とり障め 4 内にない。 第次には、 第次には、 第次には、 第分には、 第分による。	事業もから、社者れる。	<b>標</b> 一	<b>指標</b> 録 社をとし 社をとし <b>持</b> しを 会すした 会すした <b>らが</b> け <b>市</b> で、済 境力経済 環境ので、 <b>の</b> 、 <b>ら 市</b> で、済 で、済 で、済 で、済 にと指	つが標 つが標 <b>兄 と</b>	かき設   化内よ   単5時限れ   部   でこ   化内よ   での外進る   評	<b>た方</b> あた定 るた定 <b>び</b> 回練 でカをた <b>個</b> 以来ま 助果ま <b>業</b> 半期 く境で本	日のよりでは、適き事では、適き事では、適き事では、「のな」には、「のな。」には、「のな。」には、「のな」には、「のな」には、「のな」には、「のな」には、「のな」には、「のな」には、「のな」には、「のな」には、「のな	3,602  I 標 (3,729 ) 32  I 標 (28 ) <b>諸点等</b> 引) よか利用 合計を3年間 (5の事業所で訓) (5の事業所であること) (7) 有効性を高めること)	4,069 目標 (3,602) 28 目標 (32) でまでとし、 まさでとし、 東に取り組むが る取り組みが求	4,069 32 たため、平 同一年度内 <b>総合評価</b>

	± 4	# <i>h</i>	ULA 노는 사후 누나 시디		۷.			0.40	予学	会計	一般会計		01	
		業 名 ———		·健福祉事業	ŧ 			043	算		健康福祉費		03	
	部	門	障害児・障害		4.どの出日				_		社会福祉費		01	
	施佐成	策二部署		= • •	生活の実現 障害企画課	_	01	1			精神保健福 972-2532	1位質	04	
事	I F JX	, III 1	対象(誰			09	UI	意[				こしたいのか	١)	
業の目的	精神者	申障害者	香及びその家		護関・関係	済活 他市	動への 民の精	の医療 参加の 神的健	及び係 促進の 康の係	呆護る ひたる 呆持ち	を行い、その社会 めに必要な援助を	復帰の促進及びそ 行い、並びにその によって、精神障	の自立と社会経 )発生の予防その	
事業の内容	助る	各保健所に、精神科嘱託医、精神保健福祉相談員等を配置し、精神保健福祉に関する本助を行うほか、社会復帰相談指導事業や家族教室といったグループワーク、地域関係系助や関係機関の連携強化を行っています。また、心の健康づくりや精神障害に対する正普及啓発を行っています。												
開	始	年 度	昭和 41	年度 根	処法令・要約	岡等	精神	伸保候	丰福名	扯沒	去第47条及で	バ第49条		
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	н	_	名古	屋新	世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 47 頁	
事第	<b>美費</b>	(千円)	22, 897	22, 393	24, 115	撂	載	個別計	画	名さ	屋市障害者	福祉新長期計	画 23 頁	
財	国・	県支出金	Ž			事	業σ.	実績	責単	単位	16年度	17年度	目標 年度	
源内	地 その	方				1	延件		f ,	件	51, 838	48, 656	-	
訳		般財源	22, 897 20. 2	22, 393 20, 2		2	組織普及		,	件	945	783	_	
叫以		(人)	20. 2	20. 2	۷۰. ۷		件数							
	耳	真業の F	的の成果を	測る指標	指煙設	定の	) 老 え	方	并	並位	16年度	17年度	日煙18年度	
成		1	<b>的の成果を</b> 間延件数	測る指標	指標設 精神保健福 談や訪問援	祉(	こ関う	ナる村	泪	単位	<b>16年度</b> 51,838	<b>17年度</b> 48,656	目標18年度	
成果		1		測る指標	精神保健福	祉(	こ関う	ナる村	泪	件	51,838	48,656	<b>目標18年度</b> 51,838	
		1		測る指標	精神保健福 談や訪問援	祉(	こ関う	ナる村	泪		51,838	48, 656		
果		1		<u>測る指標</u> ]	精神保健福 談や訪問援	祉(	こ関う	ナる村	泪		51,838 目標 (49,153)	48,656		
果指	1	1		] ]	精神保健福 談や訪問援	が 助る	こ関で を行い	する材	1	件	51,838 目標 (49,153) 目標 ( )	48,656 目標 (51,838)		
<b>果 指 標</b> 社援そす。	(1) (2) 復てたまた、	相談訪	事業については、 が、近年は地域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業開始 精神障害者に こおける精神障 自立支援法に対	精神保健福 談や訪問援す。 時からの状 対データを 対データを 対データを 対データを 対データを 対対で を 対対で がある がある がある がある がある がある は がある は がっした がっした がっした がっした がっした がっした がっした がっした	<b>元</b> <b>元</b> <b>元</b> <b>元</b> <b>次</b> 料作事	こと (化及) 選挙 (地)	するするするする。 び な な な で な で お で で で で で で で で で で で で で	事 業の中は、	件の動物を	51,838 目標 (49,153) 目標 (サライン・ (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	48,656 目標 (51,838)	51,838 日中活動を支 しんでいます。 を行っていま	
<b>果 指 標</b> 社援そす。	(1) (2) 復てたまた、	相談訪	事業については、 が、近年は地域 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業開始 精神障害者に こおける精神障 自立支援法に対	精神保健福 談や訪問援す。 時からの状 対データを 対データを 対データを 対データを 対データを 対対で を 対対で がある がある がある がある がある がある は がある は がっした がっした がっした がっした がっした がっした がっした がっした	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	こと (化及) 選挙 (地)	するするするする。 び な な な で な で お で で で で で で で で で で で で で	事 業の中は、	件の動物を	51,838 目標 (49,153) 目標 (サライン・ (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	48,656 目標 (51,838) 目標 ( 51,838 )	51,838 日中活動を支 しんでいます。 を行っていま	
<b>果 指 標</b> 社援そす。	(1) (2) 復てたまひ	相談訪	事業については、 が、相談指導事者 ででいても。 ででいても。 を表していても。	事業開始 精神にこれが表現では、一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一	精神保健福 一様では 一様で 一様で 一様で 一様で 一様で 一様で 一様で 一様で	・ ・ ・ ・ ・ は を ・ は る。 は に に を の に る に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に に に に に に	と 化理業業に 必要	するま <b>び</b> なのいて とする	す <b>業の</b> 中は託職 あたい あんだい あんだい あんだい あんだい かんしん でんしん でんしん はいい かんしん しゅうしん はいい はい かんしん はい かんしん はい しゅうしゅう しゅう	件の対抗の保を対	51,838 目標 (49,153) 目標 (49,153) <b>Σ善点等</b> ( ** 「夢を通して、社会 を変形にしたところ	48,656 目標 (51,838) 目標 (51,838) 目標 ( 50,838) 日標 ( 51,838) 日標 ( 51,838) 日標 ( 51,838) 日標 ( 70,838) 日標 ( 70,838) 日標 ( 70,838) 日標 ( 70,838)	51,838 日中活動を支 にんでいっています。 を行っる予防対 は、自殺予防対	
果 指 標   社援そす策	① ② 復てたまひ <b>有 達</b>	相 (	事業については、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	事業開始 精神にこれを対して、 をは、 は、 は	精神保健福 談や訪問援す。 時からの状 対ではないでは、 対ででででででででででででででででででででででででででででである。 があります。 市評価	・ ・ ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ に、 ・ を、る。 を、。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を、る。 を 、る。 を 、。 を 。 を 、。 を 、 を 、。 を 。 を 、。 を 。 を 、。 を 、。 を 、。 を 、。 を 、。 を 、。 を 、。 を 、。 を 、 。 を 、 。 を 。 を 。 。 を 。 。 を 。 を 。 。 を 。 。 を 。 。 を 。 。 を 。 。 を 。 を	と と	するま ひなのいて とや促進す どりて嘱 す援進し	す <b>業の</b> 中は託職 方を、	件 の 団動各員 こうで 対う域	51,838 目標 (49,153) 目標 (49,153) 目標 ( <b>基</b> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	48,656 目標 (51,838) 目標 (51,838) (51,83	51,838 51,838 ○日中活動を支 にんでいています。 ・を行って下っています。 は、自殺予防対	
果 指 標   社援そす策	① ②	相談	事業については、 事業については、 が、相談指障害者 無力についてもまます。 を対してもまます。 ま業についてもまます。 ままます。 を対してもまます。 は、 はずるとめに ないにもまます。 ないにもまます。 は、 は、 は	事業開始 精神に対する おいま はい はい に関いている はい に関いている はい に とい に はい に とい に はい に はい に はい に はい に	精神や。 おがずができない は は で は で は で は で は で で で で で で で で で	・ ・ ・ ・ は ・ は ・ は ・ は ・ に を を を を を を を を を を を を を	こを 化理業業に 必助帰関こ と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	するま なのいて とや促機が すがまして すが とや とや に と で と で ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	する 第の中は託 るめつの おんしん はい こうしん はい	作   プラリカを員 こう 也 男 で おう 域 強	51,838 目標 (49,153) 目標 (49,153) 目標 ( <b>基</b> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	48,656 目標 (51,838) 目標 (51,838) (51,83	51,838 日中活動を支 いたで おまて で が で 行 殺 <b>総合評価</b> B	
果指標   社援そす策     三   三     (会しの。、   三     (回答しの。)   (回答しの。)     (日本)   (日本)     (日本) </th <th>① ②</th> <th>相 [</th> <th>事業については、 事業については、 が、相談指障害者 無力についてもまます。 を対してもまます。 ま業についてもまます。 ままます。 を対してもまます。 は、 はずるとめに ないにもまます。 ないにもまます。 は、 は、 は</th> <th>事業開始 非常対対は大きなでは、大きなが、大きなが、大きなが、は、地では、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが</th> <th>精談す。 時からの球やにめす。 時かしてケ本るり する、障害の成やにめす。 市談門者育進の成めで、 神観発を 神間で、 神にで、 ・ 神にで、 神にで、 神にで、 神にで、 神にで、 神にで、 神にで、 神にで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は 、 は 、 は 、</th> <th>・模る健問よ会助い 変料作事所をそる後、く 外</th> <th>である。 一般では、 一をは、 一を、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一を、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、</th> <th>するま なのいて とや促機が 価事ど日て嘱 す援進関重</th> <th>までは託 また おもので は また おもの で は また は で は また は で は また は で は かん の と で は かん の と は かん の と は かん の と は かん かん</th> <th>件 の 団動各員 こう 地隽 すい で 対 う 域強 。</th> <th>51,838 目標 (49,153) 目標 (49,153) 目標 (<b>善点等</b> (<b>夢を</b> (本子) (本子) (本子) (本子) (本子) (本子) (本子) (本子)</th> <th>48,656  目標 (51,838)  目標 (51,838)  (51,838)  目標 ( 52,838)  ( 53,838)  ( 54,8</th> <th>51,838 日中活動を支 したでいって を自殺予防対 <b>総合評価</b></th>	① ②	相 [	事業については、 事業については、 が、相談指障害者 無力についてもまます。 を対してもまます。 ま業についてもまます。 ままます。 を対してもまます。 は、 はずるとめに ないにもまます。 ないにもまます。 は、 は、 は	事業開始 非常対対は大きなでは、大きなが、大きなが、大きなが、は、地では、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが	精談す。 時からの球やにめす。 時かしてケ本るり する、障害の成やにめす。 市談門者育進の成めで、 神観発を 神間で、 神にで、 ・ 神にで、 神にで、 神にで、 神にで、 神にで、 神にで、 神にで、 神にで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は 、 は 、 は 、	・模る健問よ会助い 変料作事所をそる後、く 外	である。 一般では、 一をは、 一を、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一を、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、	するま なのいて とや促機が 価事ど日て嘱 す援進関重	までは託 また おもので は また おもの で は また は で は また は で は また は で は かん の と で は かん の と は かん の と は かん の と は かん	件 の 団動各員 こう 地隽 すい で 対 う 域強 。	51,838 目標 (49,153) 目標 (49,153) 目標 ( <b>善点等</b> ( <b>夢を</b> (本子) (本子) (本子) (本子) (本子) (本子) (本子) (本子)	48,656  目標 (51,838)  目標 (51,838)  (51,838)  目標 ( 52,838)  ( 53,838)  ( 54,8	51,838 日中活動を支 したでいって を自殺予防対 <b>総合評価</b>	

	事:	業名	米	青神科救急	情報セ	ンタ	_				, F	会計			0
	部	門	R-	章害児・障害	主老短为	L					_		健康福祉費 社会福祉費		00
	<u>마</u> 施	 策	_				生活の実現				目		精神保健福		04
		 龙部署					障害企画課		01	1			972-2532		0'
事	1 - 1-2	~ HP 'B		対象(誰を			平日正四怀	03	UI	意				こしたいのか	١)
業	精	神疾患		正又は症状			より相談	緊急	急的	,			· · · · -	対応し、精神	
の目	19	医療機	関0	り情報を必	-								防します。	7/2 - 1 1111	
的	及`	びその	家族	<b></b>											
	精	神保健	富礼	止士等2名》	及び精神	科图	医師1名の体	制(	医卸	iはオ	ンニ	ュー	ル)により電	<b>電話による</b> 権	談を24時
事														の実施、精	
業			案 🏻	内等の受診	援助を	行い	ます。愛知	県と	ر کے ک	もにを	上団	法ノ	人愛知県精神	申病院協会に	.委託してい
の	[E.	す。													
内															
容															
	<u>L.</u>			h	* *	1 1- 1			1						***
肼	始	年 度	_	平成 15	年度				精神	保健	及ひ	ド 精	神障害者福祉	に関する法律	第47条第2項
事	業費	貴・人員	1	6年度決算額	17年度決	算額	18年度予算額	ні	画	名古	屋新	f世紀	记計画2010第	2次実施計画	無
事詞	<b>業費</b>	(千円)		9,057	8,	961	8, 959	掲	載	個別計	画				頁
財	国	• 県支出:	金	4, 528	4,	480	4, 479	事	業(	の実績	į	単位	16年度	17年度	目標18年月
源	地	 方	責						[	ile tel ale		7.1			
内	その	 )他特定財	 源					1	相記	炎件数		件	1,602	1, 372	1,682
訳		 般 財 》		4, 529	 1	481	4, 480		压水	友	1				
1			小		٦,			2		<b>を機関</b>		件	83	78	-
贈	吕墨	έτ ( <b>,</b>		0 1		0.1	0 1	_	I, ≥ ±	彡11十安					
職		数(人)	日白	0.1	測る垢	0. 1 <b>!</b>	0.1			多件数 表 方	_	単位	16年度	17年	日煙18年月
	4		目的	0.1 <b>勺の成果を</b>	測る指標		指標設	定 <i>σ</i>	)考;	え方	j	単位	16年度	17年度	目標18年月
成	4			勺の成果を	測る指		指標設 どれだけ事	<b>定の</b> 業別	<b>)考</b>	<b>え方</b> 用され	i l	単位	<b>16年度</b> 1,602	<b>17年度</b> 1,372	目標18年度
成	4	事業の相談作		勺の成果を	測る指標		指標設	<b>定の</b> 業が	<b>)考</b> が利	<b>え方</b> 用され	i l	単位件	1,602	1, 372	目標18年月
	-	事業の相談作		勺の成果を	測る指		<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを	<b>定の</b> 業が	<b>)考</b> が利	<b>え方</b> 用され	i l		1,602	1,372	
成果	-	事業の相談作		勺の成果を	測る指		<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを	<b>定の</b> 業が	<b>)考</b> が利	<b>え方</b> 用され	i l		1,602	1, 372	
成	-	事業の相談作		勺の成果を	測る指		<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを	<b>定の</b> 業が	<b>)考</b> が利	<b>え方</b> 用され	i l		1,602	1,372	
成果指	1	相談作		勺の成果を	測る指		<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを	<b>定の</b> 業が	<b>)考</b> が利	<b>え方</b> 用され	i l		1,602 目標 ( - )	1,372 目標 (1,682)	
成果	-	相談作		勺の成果を	測る指		<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを	<b>定の</b> 業が	<b>)考</b> が利	<b>え方</b> 用され	i l		1,602	1,372	
成果指	1	相談作		勺の成果を		標 - ]	<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを て設定しま	<b>定の</b> 業が示った。	<b>)考</b> が利ける。	<b>え方</b> 用され のとし		件	1,602 目標 ( - )	1,372 目標 (1,682)	
成果指標	1	事業の 相談体	+数	りの成果を	事業原	標 - ]	指標設 どれだけ事 ているかを て設定しま	<b>定の</b> 業が示した <b>没変</b>	が利力を	え <b>方</b> 用されのとし	まして ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	件の改	1,602 目標 ( - ) 目標 ( ) <b>z善点等</b>	1,372 目標 (1,682) 目標 ( )	
成果指標	1	事業の 相談体	+数	りの成果を	事業原	標 - ]	<b>指標設</b> どれだけ事 ているかを て設定しま	<b>定の</b> 業が示した <b>没変</b>	が利力を	え <b>方</b> 用されのとし	まして ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	件の改	1,602 目標 ( - ) 目標 ( ) <b>z善点等</b>	1,372 目標 (1,682) 目標 ( )	
成果指標	1	事業の 相談体	+数	りの成果を	事業原	標 - ]	指標設 どれだけ事 ているかを て設定しま	<b>定の</b> 業が示した <b>没変</b>	が利力を	え <b>方</b> 用されのとし	まして ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	件の改	1,602 目標 ( - ) 目標 ( ) <b>z善点等</b>	1,372 目標 (1,682) 目標 ( )	
成果指標	1	事業の 相談体	+数	りの成果を	事業原	標 - ]	指標設 どれだけ事 ているかを て設定しま	<b>定の</b> 業が示した <b>没変</b>	が利力を	え <b>方</b> 用されのとし	まして ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	件の改	1,602 目標 ( - ) 目標 ( ) <b>z善点等</b>	1,372 目標 (1,682) 目標 ( )	
成果指標	1	事業の 相談体	+数	りの成果を	事業原	標 - ]	指標設 どれだけ事 ているかを て設定しま	<b>定の</b> 業が示した <b>没変</b>	が利力を	え <b>方</b> 用されのとし	まして ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	件の改	1,602 目標 ( - ) 目標 ( ) <b>z善点等</b>	1,372 目標 (1,682) 目標 ( )	
成果指標国	(1)	事業の 相談作	+数	<b>竹の成果を</b> で が で が で が で に 作	<b>事業</b> [ ドハ、平	<b>標</b> - ] - ] 開始 (元)	指標設 どれだけかを て設定しま <b>時からの状</b> 6年度及び平	<b>定の</b> 業元した <b>況</b> <b>兄</b> <b>反</b>	<b>1</b> <b>3</b> <b>7</b> <b>7</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>7</b> <b>7</b>	<b>え方</b> 用されのとし	ません (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	件 <b>の改</b> 話を:	1,602 目標 ( - ) 目標 ( ) <b>Z善点等</b> 減額しまし	1,372 目標 (1,682) 目標 ( )	
成果指標国	(1)	事業の 相談作	+数	の減額に住	<b>事業</b> 例 とい、平	<b>標</b> - ] - ] - 開始 (京) - ) - )	<b>指標設</b> どれだかかま て設定しま <b>時からの状</b> 6年度及び平 <b>市評価</b> の重篤化を予	<b>定の</b> 業 示し	<b>1 3 7 3 1 1 1 7 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>	<b>え方</b> 用され のとし めに、	1 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	件の改正を	1,602 目標 ( - ) 目標 ( - ) <b>落点等</b> 減額しまし	1,372 目標 (1,682) 目標 ( ) た。	1, 682
成果指標国	1 (2) 車補	事業の相談作	非数 額	<b>内の成果を</b> の減額に住	事業間 とい、平 必要に応	<b>標</b> - ] - <b>開始</b> ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	<b>指標設</b> どれだかま これだかま で設定しま <b>・                                    </b>	<b>  定の</b>	<b>1 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>	<b>え方</b> 用のとし めに、	1 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	件のなった。療機を	1,602 目標 ( - ) 目標 ( <b>*</b> ( <b>*</b> ( <b>*</b> <b>*</b> <b>*</b> <b>*</b> <b>*</b> <b>*</b> <b>*</b> <b>*</b> <b>*</b> <b>*</b>	1,372 目標 (1,682) 目標 ( ) た。	1,682 総合評価
成 果 指 標 国 評	1 (1) (2) (有) 達	事業の制制を関する。	#数 額	<b>内の成果を</b> の減額に作 4 精き相である。	事業間 できまる できまる できまる できまる できまる かい いっぱい できまる かいしゅう はい		<b>指標設</b> どれだかま これだかま で設定しま <b>・                                    </b>	<b>  定</b>	<b>1 3 3 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>	<b>え方</b> 用のと い かに い で に で に で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	で 業価 医窓 機機	件の改善療口関を	1,602 目標 ( - ) 目標 ( <b>善点等</b> ( <b>善点等</b> ) ( <b>善点</b> がいました。 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	1,372 目標 (1,682) 目標 ( ) た。	1, 682
成 果 指 標 国 評	1 (2) 車補	事業の制制を関する。	非数 額	<b>外の成果を</b> の減額に作 4 精き相談	事業間学い、平常のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	<b>標</b> - ] - ] <b>始</b> ・ 成 10 ・ 実じ少の 患精し重	<b>指標設</b> どれだること とれだること をある をある をある を を を を を を を を を を を を を を	定で、 定で、 たで、たで、たで、たで、ためで、 なで、たで、ためで、 なで、たいで、 なで、たいで、 なで、たいで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 、 ないで、 、 、 ないで、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	<b>1 方</b>	<b>え方</b> 用のとし が 事に いた 来大き	で 業価 医窓 機機	件の改善療口関を	1,602 目標 ( - ) 目標 ( <b>善点等</b> ( <b>善点等</b> ) ( <b>善点</b> がいました。 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	1,372 目標 (1,682) 目標 ( ) た。	1, 682 総合評価 B
成 果 指 標 国 評 価	1 1 2 有達効	事業の制制を関する。	推 数	<b>外の成果を</b> の減額に作  4 精き相きを表する。	事業 をい、 平 管害者の 必数疾 の の の の の の の の の の の の の	<b>標</b> - <b>  始</b> - <b>  始</b> - <b>  始</b> - <b>  始</b> - <b>  時</b> - <b>  1</b> - <b>  1</b>	指標設 どれだるしと とれたるしま を からの状 6年度及び平 市無係急す防に の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	定で、 定で、 たで、たで、たで、たで、ためで、 なで、たで、ためで、 なで、たいで、 なで、たいで、 なで、たいで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 、 ないで、 、 、 ないで、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	<b>1 方</b>	<b>え方</b> 用のとし が 事に いた 来大き	で 業価 医窓 機機	件の改善療口関を	1,602 目標 ( - ) 目標 ( <b>善点等</b> ( <b>善点等</b> ) ( <b>善点</b> がいました。 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	1,372 目標 (1,682) 目標 ( ) た。	1,682 総合評価
成 果 指 標 国 評 価	1 1 2 有達効	事業の制制を関する。	推 数	<b>内の成果を</b> の減額に作 4 精き相である。	事業 をい、 平 管害者の 必数疾 の の の の の の の の の の の の の	<b>標</b> - <b>  始</b> - <b>  始</b> - <b>  始</b> - <b>  始</b> - <b>  時</b> - <b>  1</b> - <b>  1</b>	指標設 どれだるしと とれたるしま を からの状 6年度及び平 市無係急す防に の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	定で、 定で、 たで、たで、たで、たで、ためで、 なで、たで、ためで、 なで、たいで、 なで、たいで、 なで、たいで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 、 ないで、 、 、 ないで、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	<b>1 方</b>	<b>え方</b> 用のとし が 事に いた 来大き	で 業価 医窓 機機	件の改善療口関を	1,602 目標 ( - ) 目標 ( <b>善点等</b> ( <b>善点等</b> ) ( <b>善点</b> がいました。 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	1,372 目標 (1,682) 目標 ( ) た。	1, 682 総合評価 B

į	事	業 名	身体障害	者福祉	ホーム	の運営補助	J		045		一般会計 健康福祉費			01
ì	部	門	障害児・阿	章害者福	<b>ā</b> 祉				113 費	項	社会福祉費	; ;		01
•	施	策	地域にお	ける自	立した	生活の実現	L		1	Ι	身体障害者	福祉費		02
	作成	部署				害者支援課	09	01			972-2560			
事業の目的	福花	业ホー.	<b>対象(i</b> ムを利用し			<del>-</del>	必要 本市	な便I では、	宝を供与 既存の	な料金 するこ 3ヶ所	で居室その他の とを目的として こついて、地域	にしたいのか の設備を利用させています。 生活移行にむけ こ寄与しています	た通道	
事業の内容	1 2 3 4 5 補助 1 2 3	人重変理 重変理備のマムカ かった かった	補助 … 配 順類 前期 … 配 順和 前期 … 前 順報 前間 減 順震 はいっす で に に に に に に に に に に に に に に に に に に	置重格備 お員() 連撃時代の備での員・準にの備での員・	員者費理賞。 0・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で補助を行い。 にででででででででででいます。 にでででででででででででででででででででででででいます。 にででででできます。 にでででできます。 にでででできます。 にでででできます。 にででできます。 にででできます。 にででできます。 にででできます。 にででできます。 にででできます。 にででできます。 にででできます。 にででできます。 にででできます。 にででできます。 にででできます。 にでできます。 にでできます。 にでできます。 にでできます。 にでできます。 にでできます。 にでできます。 にでできます。 にでできます。 にでできます。 にでできまます。 にでできます。 にできます。 にできます。 にでできます。 にできます。 にできます。 にできます。 にできます。 にできまする。 にできます。 にできまする。 にででできまする。 にでできまする。 にでできまする。 にでできまする。 にでできまする。 にでできまする。 にでできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまする。 にできまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	より りの よの 助い まる は は は は は に は に は に に に に に に に に に に に に に	、 件 り 持 た。 対 第 動 1 動 1 動 1	を補助した際の 1)・非常 1)・非常	ます。 ) 収入》 (対 (対 (対)				
開	始	年 度	平成	2 年度	を 根拠	処法令・要約	岡等	身体障	害者福祉	去第27	条、名古屋市身体	障害者福祉ホーム運	営費補.	助金交付要綱
事	業費	・人員	16年度決算	額 17年度	決算額	18年度予算額	計	画	名古屋	新世	紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
事第	養	(千円)	70, 92	28 6	4, 222	71, 294	撂	載	個別計画	1 名言	占屋市障害者	基本計画		25 頁
財	国・	県支出金	£ 6,00	52	6, 367	11, 359	事	業(0	)実績	単位	16年度	17年度	目標	票18年度
源	地	方 信	• <del>-</del>	-				各月	の利用		40=			
内	その	他特定財活					1		の合計		465	454		540
訳		 般 財 派	§ 64, 80	56 5	7, 855	59, 935		退可	f人員					
職	員数	(人)	0.		0. 2	0. 2	2	数	17 19	人・年	7	6		10
			1460 <b>世</b> 田	+ 1017	IL THE	16 JT 70		-			10	4 = 4 -		<b>=10左</b>
	<b>事</b>		目的の成果	を測る!	旧碟	指標設	疋()	)考え	【万	単位	16年度	17年度	日科	票18年度
成		事業の[   	利用:		皆標	指標設 福祉ホーム いる度合を	がタ	舌用	されて		86	84	日和	宗10年及
成果	1		利用: 月の利用者	率 数の合		福祉ホーム	がタ	舌用	されて		86	84	日刊	90
	1	<u>各</u>	利用	率 一数の合 (12		福祉ホーム	がみる	舌用でます。	されて	%	86	84	日本	90
果		<u>各</u>	利用。 月の利用者 定員数× 地域生活。 退所人	率 数の合 12 移行率 員数		福祉ホームいる度合を	がみる	舌用でます。	されて	%	86 目標 (90) 15	84 目標 ( 90 ) 14 目標	目和	
果指	1	<u>各</u>	利用 月の利用者 定員数× 地域生活	率 数の合 1 2 移行率 員数 員数	<u>計</u> ]	福祉ホーム いる度合を 利用者の地 度合いをみ	がみる。	舌用。 ます。 上活 ます。	されて <u></u> 移行の	%	86 目標 ( 90 ) 15 目標 ( 20 )	84 目標 ( 90 )	目和	90
果指標	1)	<u></u> [ <u> </u>	利用。 月の利用者 定員数× 地域生活。 退所人 利用人	率 数の合 12 移行率 員数 事業	計	福祉ホーム いる度合を 利用者の地 度合いをみ	が が は 域 は に の で の で の に 。 に 。	舌用。 ます。 生活す。	されて	% %	86 目標 ( 90 ) 15 目標 ( 20 ) <b>汝善点等</b>	84 目標 ( 90 ) 14 目標 ( 20 )		90
<b>果指標</b>	① ② 成減たた	A	利用 月の利用者 定域生活 地域生活 利用人 り変です よ激まです よ激まです	率 数 1 2 8 数 事よに者18 18年	計 <b>開</b> 人い祉度 <b>開</b> 件でホに <b>開</b> 件で ホに <b>に</b>	福い 利度 用合い 利度 イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	がみる地域を現実を指	舌ま 生す 化の逓移	されて 多行 の 事補 対 に が 事 は に に に に に に に に に に に に に	% <b>%</b> 第助にて通	86 F 標 ( 90 ) 15 F ( 20 ) 文善点等 で見過施設とし	84 目標 ( 90 ) 14 目標 ( 20 )	軍営を位	90 20 費補助 ご置づけ
<b>果指標</b>	① ② 成減たた	A	利用 月の利用者 定域生活 地域上所人 利用人 よ激変で身体で	率 数 1 2 8 数 事よに者18 18年	計 <b>開</b> 人い祉度 <b>開</b> 件でホに <b>開</b> 件で ホに <b>に</b>	福い 利度 用合 の あ の い あ り の り の り り り り り り り り り り り り り り り	がみ、域は、 沈至率と重重 変額を活症	舌ま 生す 化の逓移	されて 多行 の 事補 対 に が 事 は に に に に に に に に に に に に に	% <b>%</b> 第助にて通	86 F 標 ( 90 ) 15 F ( 20 ) 文善点等 で見過施設とし	84 目標 ( 90 ) 14 目標 ( 20 ) 変更に伴う ました。 てその役割	<b>重</b> をもっ	90 20 費補助 ご置づけ た福祉
<b>果 指 標</b>	① ②	6年   16年   16年   15   15   15   15   15   15   15   15	利用者 アラス カー	率 数 2 8 4 2 2 率 1 2 2 率 1 2 2 率 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	計	福い 利度 用合 の お か 助 の は 新 す い ま す い ま す い ま っ 、 ま す っ 、 ま す っ 、 ま う 。 。 う 。 ま う 。 ま う 。 ま う 。 ま う 。 ま う 。 ま う 。 ま う 。 ま う 。 ま う 。 ま う 。 う 。	がみ、域ま、現象を活症を変額を活症	舌ま 生す 化の逓移心 一	されて 多 で 事 補 力 に に に に に に に に に に に に に	% <b>※</b> が が が が が が た の に て 通 た の に 。 に に 。 に に に に に に に に に に に に に	86 F 標 ( 90 ) 15 F ( 20 ) <b>対善点等</b> 改 <b>き点</b> ひきしい	84 F 標 ( 90 ) 14 F 標 ( 20 ) 変更に伴う まこその役割 での機能を	<b>重</b> をもっ	90 20 費補助 ご置づけ
果指標   類でお     類でお	① ② 成減たたム 有達	A	利用者 アライ カー	率数事る名名名 <t< th=""><th>計 <b>開</b>人い祉度し ーで補 <b>開</b>件で赤にお はりに はりに</th><th>福い 利度 帯補そム、り 市者い 一合 のを が助のは新す 市者もは がこ激 で がこ数 がこ数 がこ数 がこ数 がこ数 に に に に に に に に に に に に に</th><th>がみ 域ま  変額を活症  に業</th><th>舌ま 生す <b>化</b>の逓移心 おは おは おは おは おば おば から おば から は から は から は から は から は から から</th><th>され 行 <b>び</b> <b>す</b> する向害 自す 立べ</th><th>% <b>※</b> 助向たの しきで</th><th>86 I 標 ( 90 ) 15 I ( 20 ) <b>対善点</b>、し設としい。 で見過にの場としい。 ではなとしい。 ではない。</th><th>84 目標 ( 90 ) 14 目標 ( 20 ) 変更に伴うさまての機能を で一定の役割</th><th><b>重</b> をもっ</th><th>90 20 費補助 ご置づけ た福祉</th></t<>	計 <b>開</b> 人い祉度し ーで補 <b>開</b> 件で赤にお はりに はりに	福い 利度 帯補そム、り 市者い 一合 のを が助のは新す 市者もは がこ激 で がこ数 がこ数 がこ数 がこ数 がこ数 に に に に に に に に に に に に に	がみ 域ま  変額を活症  に業	舌ま 生す <b>化</b> の逓移心 おは おは おは おは おば おば から おば から は から は から は から は から は から	され 行 <b>び</b> <b>す</b> する向害 自す 立べ	% <b>※</b> 助向たの しきで	86 I 標 ( 90 ) 15 I ( 20 ) <b>対善点</b> 、し設としい。 で見過にの場としい。 ではなとしい。 ではない。	84 目標 ( 90 ) 14 目標 ( 20 ) 変更に伴うさまての機能を で一定の役割	<b>重</b> をもっ	90 20 費補助 ご置づけ た福祉
<b>果 指 標</b>	① ② 成滅たたム <b>有</b>	(1)(1)(1)(1)(2)(1)(2)(2)(3)(2)(4)(2)(5)(2)(6)(2)(7)(3)(7)(3)(8)(3)(9)(3)(1)(3)(1)(3)(1)(3)(1)(3)(1)(3)(2)(3)(3)(3)(4)(3)	利用者 アライ カー	率 数 1 2 を	計	福い 利度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がみ 域ま 祝 篦を活症 は業和	舌ま 生す <b>化</b> の <b>歩</b> 移心 おは補 用す 活。 <b>及</b> 人減行身 い継助	され	% <b>※</b> 助向たの しきで	86 I 標 ( 90 ) 15 I ( 20 ) <b>対善点</b> 、し設としい。 で見過にの場としい。 ではなとしい。 ではない。	84 目標 ( 90 ) 14 目標 ( 20 ) 変更に伴うさまての機能を で一定の役割	軍 をも <b>総</b>	90 20 費補助 活福祉 <b>合評価</b>
果 指 標   類 でホ   評 価	① ② 成減たたム 有 <b>達 効</b>	16を、と1ケ効成率16を、と1ケ効成率	利用者 アライ カー	率 数 1 2	計	福い 利度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がみ 域ま 祝 篦を活症 は業和	舌ま 生す <b>化</b> の <b>歩</b> 移心 おは補 用す 活。 <b>及</b> 人減行身 い継助	され	% <b>※</b> 助向たの しきで	86 I 標 ( 90 ) 15 I ( 20 ) <b>対善点</b> 、し設としい。 で見過にの場としい。 ではなとしい。 ではない。	84 目標 ( 90 ) 14 目標 ( 20 ) 変更に伴うさまての機能を で一定の役割	軍 をも <b>総</b>	90 20 費補助 ご置福祉 <b>合評価</b>

		美 名	<u> </u>	田川ハ	- Д	の運営補助			046	予算		一般会計 健康福祉費	<del>,</del>		$\frac{01}{03}$
Ž	部	門	障害児・障害	<b>害者福祉</b>					113	費		社会福祉費			01
ţ	施	策	地域におけ	る自立し	ノた	生活の実現			1	目	目	知的障害者	福祉費		03
1	作成	部署	健康福祉局際	章害福祉	郭障	害者支援課	09	01	15	連綿	各先	972-2560			
事業の目的	福祉	止ホーム	<b>対象(誰</b> を を利用して						な料	金で	で居営	室その他の記	<b>にしたいのか</b> 設備を利用さ ことを目的と	せ、日	
事業の	福祉ホームの運営にあたり、次の経費について補助を行います。 1 人件費補助 … 配置基準職員数に応じて、定額により人件費を補助します。 2 激変緩和補助 … 格付人件費補助から定額人件費補助へ移行した際の収入減について補助します。 3 管理費補助 … 設備等の管理費について補助します。 (対象となる施設・・・2か所、定員計20名) あつた福祉ホーム 定員10名 ゆたか鳴尾寮 定員10名 「職員配置」 常勤1名 非常勤1名  開始年度 昭和 56 年度 根拠法令・要綱等 潜福祉ホームの運営について」・平成17年度名古屋書者福祉ホーム運営費補助金交付要綱														. USC day
開	始	年 度	昭和 56	年度	根挑	処法令・要約	岡等	者福	祉ホー	ームの	)運営	について」・3	P成17年度名古屋	市民間知	内障
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決	算額		H 1		名古	屋籍	折世紀	记計画2010第	2次実施計画	無	頁
事業	養	(千円)	14, 518	15,	152	15, 676	撂	載	個別	計画					頁
財	国•	県支出金	2, 712	2, 6	687	4, 068	事	業(	の実	績	単位	16年度	17年度	目標18:	年度
源内		方 債 <sup>他特定財源</sup>					1		<b>月</b> の和 数の台		人	228	228	240	
訳	— 舟	般 財源	11, 806	12,	165	11, 608									
職	員数	(人)	0. 1	(	0. 1	0. 1	2								
			的の成果を			指標設	定の	)考:	え方		単位	16年度	17年度	目標18:	年度
成	1		利用率	<u> </u>	K	福祉ホームいる度合を	が着	舌用	され	て	%	95	95	100	1 /2
果		[ _各	月の利用者 定員数×1								70	100 )	目標(100)	100	
指標	2	ſ			J							目標	目標		
		l			J							( )	( )		
				事業開	始	時からの状え	兄変	化及	なび	事業	の改	善点等			
			り格付けに E緩和補助に										変更に伴う運 した。	営費補助	力額
						市評価								総合評	<b>华価</b>
铝	有達	効 性成 度	3 き続 して は、	き事業を グループ このグル	進め ホー ープ	域で生活する ていく必要が ム・ケアホー ホーム・ケアは	あり	ます 制度 ムを	が、 もあや	よりして	小規 す。 いく	模で地域に密 今後の施策の こととしてい	着した事業と 方向として	В	
価	効	率 性		行ってま			<b>以</b> 及	.7V.Z.T'L	IIII 49)	<b>ソエ</b>		INCV \ JI C HILL	こ、原外元旦		
			•	行	政訓	平価委員会の	り外	部割	価					総合評	俨価
	国から		か額や個人 負	担額と	のバ	<sup>、ランスを考</sup>	意	l,	市の	支約	合額	の妥当性を	精査してく	В	

		美 名		精神障害者	社会復帰施	設等運営費	補具	<del>ர்</del>	047	算		健康福祉費				01 03
	邹	門	_	障害児・障害					113	費		社会福祉費				01
	他	策				.生活の実現			1	目		障害者自立	支援費			05
1	作成	部署			障害福祉部障	售者支援課	09	01		. — .		972-2560				
事業の目的	精祁	神障害	者	対象(誰る	を・何を)		等の	)設置	子者社 者に	会復	帰施 助成	設の運営に係	こしたいのかる経費についる 者の社会復帰 図ります。	て、1		
事業の内容	(3) (4) 上i	)精神M )精神M )精神M 計ずを 記の施記	章章章を	· 	設 B型 援センター 、その運営に係	を受ける施設 雇用されるこ るともに、職 症状が、社会 持神障害者か 係機関との連 る経費を国庫補	でと、業度とのというできる。	が得きなのは	な精を は活い支 に援成 の応 助成	神障智の長期である。	害者が 施設で 閉在院 受けた 必要を から た。	が通所し、自活がです。 です。 と患者が生活のなる施設です。 お指導及び助言を 投です。 (市負担 1/2		受け ると 関		
開	始	年 度		平成 8	年度 根拠	処法令・要組	尚等	精补	申保的	建及	び精	神障害者福	祉に関する法	生律	第5	51条
事	業費	・人員	Į	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額		画	名古	屋業	<b>斤世</b> 紀	記計画2010第	2次実施計画	有	37	頁
事業	養	(千円)	)	245, 824	279, 273	301, 111	撂	載	個別	計画						頁
財	国•	県支出	金	122, 912	139, 636	150, 554	4	業(	の実	績	単位	16年度	17年度	目柱	票184	年度
源内	地 そのt	 方 ( 也特定財	_ 債 源		<del>-</del>		1	1	<b>龙</b> 箇		箇所	8	10		(11)	
訳	一 舟	 设 財 i		122, 912		150, 557	2	利	用者 平均		人	128. 8	279. 2		(300	)
- 地		(人)	ᆜ	0.2			_			1)		1055	4.7 be etc		<b>=</b> 10 /	- d-
成果	1	<u>等業の</u> [ _	目	<b>的の成果を</b> 社会復帰者		指標設 精神障害者の 進及び自立る への参加の低 に貢献した原 に設定しま	社社世界	会経をとし	[帰の  済活  るこ	動と	<u>単位</u> 人	16年度 18 <sup>目 標</sup> ( 18 )	30 目標 (30)	目布	<b>票18</b> 4 30	<b>年</b> 度
指標	2	[ -			]						人	目標()	目標()			
なま																
証	<u>+</u>	<b>⊹.⊾</b> .₁	.д.		≥的 λ 陀 孝 σ	市評価	特	油腔	宇主	÷Φ.	<b>小</b>	有椙の伊油	及び白立し	総	合評	価
	有 達 効	成	生	——社会	会経済活動~		建	を図	]るた	:め、			会復帰施設		В	
,,,,,,,					行政言	平価委員会の	)外	部評	価					総	合評	価
				事業体系へ	への移行につ	ついては、無			•	當	ヒ利	用者が不便	とならない	170	В	1,224

:													
	事業	名	民間措置委	託(障害児	施設)			D48 予 算	会計款	一般会計 子ども青少	 ·年費		01
	部	門	障害児・障害	· 李者福祉				113 費		子ども青少			01
	<del></del> 施	<del></del> 策		る自立した	生活の実現			1 目		子ども措置			03
	作成語	部署	子ども青少年月	<b>高子ども育成部</b>	子ども育成課	10	01	06 連		972-2520			
事			対象(誰る	と・何を)				意図	(ど	ういう状態に	こしたいのか	١)	
業の	障害	児(重	症心身障害	者を含む)							とにより、例		
目									舌に	必要な指導	·知識技能の	)提供等	等を
的		1-1111			III men	, ,	います	•		- 11 - 1 - 1 - 1 - 1	T. F.F N 1		
											本等が設置す と	る施設	党へ入
事		G / C	のに対し、	国の定める	川安い性質	セハ	<b>\</b> [7] ] JU	1月又 (こと	y U	( 又开しま )	9 0		
業の													
内													
容													
開	始	年 度	昭和 23	年度 根拠	処法令・要終	岡等	児童	福祉法	第2	27条			
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	画:	名古屋籍	新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
事美	<b>業費</b> (	千円)	1, 325, 338	1, 315, 869	1, 335, 814	掲	載	固別計画					頁
財	国・県		565, 765	613, 215	640, 443	事	業の	実績	単位	16年度	17年度	目標1	8年度
源	地						1 日生	た N R.問					
内			65, 744	89, 437	48, 486	1	措置委	たり民間 託児童数	人	366	359		250
訳		以 財源			646, 885								
, ·	員数		0. 2	0. 2	0. 2	2							
4130		** **	<u>○・2</u> 的の成果を		指標設	定の	老さ	古	単位	16年度	17年度	目標1	8年度
成	7		民間障害児施記		市内の民間				+12	10-12	17-12	山水山	0 <del>- 1</del>
130			式间障音光旭記 日現在措置本記		有効に利用					89. 3	88. 7		
果	1	「 本	市民間措置	児童数 1	を指標とし	ます	<b>-</b> 。		%	目標	目標		90.0
714		l —									( 00 )		
	_		可民間障害児施	設の定員 亅						( 90)	1 ( 90)		
指			民間障害児施	設の定員 】						( 90 )	( 90 )		
指			<b>可民間障害児施</b>	設の足員 <b>」</b>						( 90 )	( 90 )		
指標	2	ſ	<b>可民間障害児施</b>	設の定員 】						( 90 )	目標		
	2	[	N民間障害児施	設の定員						( 90 )			
	2	[	<b>可民間障害児施</b>	]	<b>ー</b> 時からの状	兄変	化及	び事業	- の改				
標	乙成14年		市立の知的障	<b>事業開始</b> 6 害児通園施設	「あつた学園	jΓ	ちよか	ぎ学園」	を廃	<b>Z善点等</b> 止し、平成15	目 標 ( ) 年度から同所が		
標知的	乙成14年		市立の知的障	<b>事業開始</b> 6 害児通園施設	「あつた学園	jΓ	ちよか	ぎ学園」	を廃	<b>Z善点等</b> 止し、平成15	目標()		
標知た。ま	本成144 対障害リ ミた、ド	手度末に 見通園施 章害者自	- 市立の知的障 記で発達セン   立支援法の施	<b>事業開始</b> <b>事業開始</b> 害児通園施設 ターあつた」 行に伴う平成	「あつた学園 「発達センタ 18年10月の児	」 「 ち 童福	ちよが よだ」 祉法-	だ学園」 となっ 一部改正	を廃 たこ で、	<b>Z善点等</b> 止し、平成15 とから、民間 障害児施設の	目 標 ( ) 年度から同所だ 措置委託の件数 利用が原則とし	数が増え <sub>ン</sub> て措置	まし
標知た。ま	本成144 対障害リ ミた、ド	手度末に 見通園施 章害者自	- 市立の知的障 記で発達セン   立支援法の施	<b>事業開始</b> <b>事業開始</b> 害児通園施設 ターあつた」 行に伴う平成	「あつた学園 「発達センタ 18年10月の児	」 「 ち 童福	ちよが よだ」 祉法-	だ学園」 となっ 一部改正	を廃 たこ で、	<b>Z善点等</b> 止し、平成15 とから、民間 障害児施設の	目 標 ( ) 年度から同所だ 措置委託の件数	数が増え <sub>ン</sub> て措置	まし
標知た。ま	本成144 対障害リ ミた、ド	手度末に 見通園施 章害者自	- 市立の知的障 記で発達セン   立支援法の施	<b>事業開始</b> <b>事業開始</b> 害児通園施設 ターあつた」 行に伴う平成	「あつた学園 「発達センタ 18年10月の児	」 「ち 童福 度に	ちよが よだ」 祉法-	だ学園」 となっ 一部改正	を廃 たこ で、	<b>Z善点等</b> 止し、平成15 とから、民間 障害児施設の	目 標 ( ) 年度から同所だ 措置委託の件数 利用が原則とし	数が増え <sub>ン</sub> て措置	まし
標知た契	<sup>ズ成144</sup> 的障害! ミた、『 うに変!	長度末に 程通園 章害者自 更される	市立の知的障 記で発達セン 立支援法の施 予定です。(	<b>事業開始</b> <b>害</b> 児通園施設 ターあつた」 行に伴う平成 平成18年度の	「あつた学園 「発達センタ 18年10月の児 予算は契約制 <b>市評価</b>	」 ー を を を に	ちより よだ」 祉法- 移行す	ご学園」 となっ 一部改正 するもの	をたこで、障	<b>Z善点等</b> 止し、平成15 とから、民間 障害児施設の	目標 ( ) 年度から同所な 措置委託の件数 利用が原則とし 費〕を含む額で	数が増え して措置 です。)	まし
標知た契	立成14 <sup>4</sup> 対障害! だた、『 対に変す	手度 東 東 連 事 ま き ま れ る <b>効 性</b>	:市立の知的障 i設「発達セン 立支援法の施 予定です。(	事業開始に 事業開始に 害児通園施設 ターあつた」 行に伴う平成 平成18年度の 重度・複雑化	「あつた学園 「発達センタ 18年10月の児 予算は契約制 <b>市評価</b> ごする障害に できません	「ち 竜展に対し。「	ちよが 社 社 社 市 立 大	ご学園」 とない 一部もの 立の障 を設の	をたでに事効	<b>Z善点等</b> 止し、平成15 とから、民間 障害児施設の 害児施設給付	目標 ( ) 年度から同所だ 措置委託の件数 利用が原則とし 費」を含む額で は措置を受	数が増え して措置 です。) <b>総合</b>	まし けから <b>評価</b>
標知た契評	本成144 内障害リ ミた、下 うに変す <b>有</b> <b>達</b>	手度 東京 東京 東京 東京 東京 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪	<ul><li>市立の知的障</li><li>設「発達セン」</li><li>立支援法の施</li><li>予定です。 (</li><li>はフ</li><li>り</li><li>の目</li></ul>	<b>事業開始</b> 語 害児通園施設 ターあつた」 行に伴う平成 平成18年度の	「あつた学園 「発達センタ 18年10月の児 予算は契約制 <b>市評価</b> ごする障害に できません	「ち 竜展に対し。「	ちよが 社 社 社 市 立 大	ご学園」 となっ 一部もの 立の障 を設の	をたでに事効	<b>(善点等</b> 止し、平成15 とから、民間 障害児施設の 害児施設給付 施設だけで	目標 ( ) 年度から同所だ 措置委託の件数 利用が原則とし 費」を含む額で は措置を受	数が増え して措置 です。)	まし けから <b>評価</b>
標知た契	本成144 内障害! た、、 たた、 たたで変 <b>有</b> <b>達</b>	手度 東 東 連 事 ま き ま れ る <b>効 性</b>	ボー ホ 立 の 知 的 障 i 設 「 発 達 セ ン 立 支 援 法 の 施 予 定 で す 。 ( 4	事業開始に 害児通園施設 等児あつた」 行に伴う平成 平成18年度の を を を を を と は と し も で は り で に は り で に は り で れ り で れ り で れ り で れ り で れ り に れ り に れ り に れ ら れ ら れ ら こ る こ る と し る と る と る と る と れ と に る と る と に と れ と に と ろ と ろ と に と ろ と と に と ろ と と に と ろ と と と と	「あつた学園 「発達センタ 18年10月の児 予算は契約制 <b>市評価</b> ごする障害に ごできません Eは必要不可	」「ち 竜底に対して大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大	ちよが は は 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ご学と は で で で で で で で で で で で で で	をたでに事効	<b>(善点等</b> 止し、平成15 とから、民間 障害児施設の 害児施設給付 施設だけで	目標 ( ) 年度から同所だ 措置委託の件数 利用が原則とし 費」を含む額で は措置を受	数が増え して措。) <b>総合</b>	まし 計から <b>評価</b>
標知た契評価	本成144 対障害り た、で変す 有 <b>達</b> 効	手度通     書き       対成     性       変     性	ボー カー ボー	事業開始に 審児通園施設 を見しあった」 行に伴う平成 平成18年度の を度・複雑化 に間措置委託	「あつた学園 「発達センタ 18年10月の児 予算は契約制 市評価 ごする障害に でさま要不可 には必要不可	」「ち 竜底に対して大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大	ちよが は は 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ご学と は で で で で で で で で で で で で で	をたでに事効	<b>(善点等</b> 止し、平成15 とから、民間 障害児施設の 害児施設給付 施設だけで	目標 ( ) 年度から同所だ 措置委託の件数 利用が原則とし 費」を含む額で は措置を受	数が増え して措置 です。) <b>総合</b>	まし 計から <b>評価</b>
標知た契評価	本成144 対障害り た、で変す 有 <b>達</b> 効	手度通     書き       対成     性       変     性	<ul><li>市立の知的障</li><li>設「発達セン」</li><li>立支援法の施</li><li>予定です。 (</li><li>はフ</li><li>り</li><li>の目</li></ul>	事業開始に 審児通園施設 を見しあった」 行に伴う平成 平成18年度の を度・複雑化 に間措置委託	「あつた学園 「発達センタ 18年10月の児 予算は契約制 市評価 ごする障害に でさま要不可 には必要不可	」「ち 竜底に対して大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大力で大	ちよが は は 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ご学と は で で で で で で で で で で で で で	をたでに事効	<b>(善点等</b> 止し、平成15 とから、民間 障害児施設の 害児施設給付 施設だけで	目標 ( ) 年度から同所だ 措置委託の件数 利用が原則とし 費」を含む額で は措置を受	数が増え して措。) <b>総合</b>	まし 計から <b>評価</b>

	事業	業 名				ター(障害)				J   .	:計 :,=			01
	部	門				育グループ	尹耒					子ども青少スルまた		$ \frac{04}{01}$
	<u>라</u> 施		障害児・障害児・障害児・障害児・障害児・障害児・障害児・障害			生活の実現						子ども青少 子ども措置		03
		<sub></sub> 部署				(土)の天気 (子ども育成課		01	-		_	サ こ も 打 目 旦 972-2520	安配貝	03
事	1 F 1%	, HI / 13	対象(誰			) C O H MARK	10	01	意图				こしたいのか	١)
業	在年	老の障害	児及びその		_ /		療育	<b>新ガ</b> ガ					書の早期発見	
の目	,	_	) L	33.70				を図り			, , <b>.</b>		H - 1 //1/2002	
的														
													、②在宅支援外	
事	援争ルー	₹ 、③地 -プ事業に		・美、④)施 登害児施設	b設文 と(南	.援一般指導事 .部地域療育セ	・美の	(4つ0) ニーそ <i>(</i>	) りち、 よ風)	, ②1 で実	仕毛	E文援外米療育 するものです	育等支援事業の 。	うちの寮育ク
業	平成	対17年度ま	では南部地域	猿育セン	/ター	そよ風が障害	者地	域生活	舌支援	セン	タ	一事業として	受託していま	
の 18年度から、療育グループ事業を障害者地域生活支援センターで行う障害児(者)地域療育等支援事 内 行います。 (下表の事業費における平成16・17年度決算額は、療育グループ事業を含む在宅支援外来療育等支援												育等支援事業。	とは分離して	
容			費における平	区成16・17	7年度	決算額は、療	育ク	゛ルー:	プ事業	を含	む	在宅支援外来	療育等支援事業	業の経費を計
	上)													
盟	山台	年 度	昭和 57	年度	根地	加法令。更終	田生	夕士	: 屋市	陪当	包原	日	<b>ず</b> がループ事	業宝協更網
		・人員	16年度決算額		4	18年度予算額							ョ <u>クァーク 事</u> 2次実施計画	無 頁
_		(千円)	9,891		681	9,089		<u> </u>	但 口 // 個別計		上下		2久天旭計画	<b>三</b>
財		県支出金	3,031	10,	001	3,003		が 業業の		_	位	16年度	17年度	目標18年度
,,,							_ <del>-</del>	→未り。 	大阪	#	1111	10千尺	17十段	日保10十尺
源		方 債					1	実施領	箇所数	カ	亦	1	1	1
内		他特定財源												
訳		般財源	9, 891		681	9, 089	2	育等支	₹援外来 ₹援事業		人	3, 319	3, 584	
聝		(人)	0.2		0.2	0.2		延参加				10左曲		ᄆᄪᄱᇨᇠ
	事	事業の目	的の成果を	·測る指	標	指標設		)考え	方		位	16年度	17年度	目標18年度
成	事	事業の目 療育グ		·測る指	標	指標設 適切な指標	の責	<b>)考え</b> 没定な	<b>.方</b> が困巣	隹	位	16年度		目標18年度
成	事	事業の目	的の成果を	·測る指	標	指標設	の意	<b>)考え</b> 没定な 寮育 /	<b>方</b>	惟一	位人	_	17年度	目標18年度
	事	事業の目 療育グ	的の成果を	·測る指	標	<b>指標設</b> 適切な指標 であるため	の で 間 が	<b>考え</b> 党定が 寮育が 正参力	<b>方</b>	惟一		16年度		
成果	事	事業の目 療育グ	的の成果を	·測る指	標	<b>指標設</b> 適切な指標 であるため プ事業の年	の で 間 が	<b>考え</b> 党定が 寮育が 正参力	<b>方</b>	惟一		_	17年度	
成	事	事業の目 療育グ	的の成果を	·測る指	標	<b>指標設</b> 適切な指標 であるため プ事業の年	の で 間 が	<b>考え</b> 党定が 寮育が 正参力	<b>方</b>	惟一		_	17年度	
成果指	事	事業の目 療育グ	的の成果を	·測る指	標	<b>指標設</b> 適切な指標 であるため プ事業の年	の で 間 が	<b>考え</b> 党定が 寮育が 正参力	<b>方</b>	惟一		_	17年度	
成果	1	事業の目 療育グ	的の成果を	·測る指	標	<b>指標設</b> 適切な指標 であるため プ事業の年	の で 間 が	<b>考え</b> 党定が 寮育が 正参力	<b>方</b>	惟一		_	17年度	
成果指	1	事業の目 療育グ	的の成果を	の年間を	<b>標</b> 近参 - ]	<b>指標設</b> 適切な指標 であるため プ事業とし	の意思を	)考え 没定すり 変育が があた。	<b>方</b> が困難 がルー 加者数	惟 一 女	人	— 目標 ( )	17年度	
成果指標	① ②	<b>事業の目</b> 療育グ加 加 【 	<b>的の成果を</b> ループ事業	·測る指 の年間 事業	標 近参 - ] - 開始	指標設 適切な指標 であるため プ事業の年 を指標とし	の制ました。	)考えだ。 受験である。 他及	.方 が困難 がルー 加者数	推一女 業の	人	目標( )	17年度	3, 050
成果指標	(1) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	事業の目 療育者 加 [ 対療育障 で行う管	<b>的の成果を</b> ループ事業 ンターそよ風 で児(者)地域	<b>・測る指</b> の年間系 の年間系 事業間の療育等支	標	指標設 適切な指標であるたのである。 であるである。 があるのでは、 を指標としている。 である。 は、 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	で で で で で で で で で で で で に に に に に に に に に に に に に	ラ 考えがりが、 一	- <b>方</b> が困難 が水士 加者 数 成 14年	能一女 シーク	人	一   目 標   ( )   )   <b>善点等</b>   同施設が受託	17年度	3, 050
成果指標	<b>事</b> (1) (2) (2) (1) (1)	事業の目 療育者 がでで で で で で で で で で で で き で が で り で り で り で り で り で り で り で り で り	<b>的の成果を</b> ループ事業 シターそよ で見(者)地域 地生活支援セ	事業別の存等支流を ラーの	<b>標</b>	指標設 適切な指標でプリングである。 おおいるである。 おおいるである。 おいるでは、 はいるでは、 といるでは、 はいるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といると、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっ	で の に 間 ま に の に る に 。	ラ 考えがり かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かいま	<b>方</b> が困難 がルー 加者 数 14年ま	推 一 女	人	ー 目標 ( ) ( <b>善点等</b> 同施設が受託 、平成18年度	17年度  目 標 ( )	3, 050 或生活支援セ 青少年局の事
成果指標	<b>事</b> ① ② 可部地でてて で成18	事業の目 療育者 加 [	的の成果を ループ事業 シターそよ風 で、人と、 で、人と、 で、人と、 で、人と、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	事業別の 事業別の 京産等等の ででする でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でい	<b>標</b>	指標設 適切な指標でプリングである。 おおいるである。 おおいるである。 おいるでは、 はいるでは、 といるでは、 はいるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでは、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といると、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっ	で の 、間ま の 、間ま の の の の の に 。 に る に る に 。 に に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。	プラステン と	<b>方</b> が困難 が水者 <b>び</b> 114き に現た に対した。	能 - 女 <b>業</b> のかた	人 <b>)</b> 改 らが 系の	ー 目標 ( ) ( ) ( <b>善点等</b> 同施設が受託 下成18年度 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	17年度  目標 ( )	3, 050 或生活支援セ 青少年局の事
成果指標	<b>事</b> ① ② 可部地でてて で成18	事業の目 療育者 加 [	的の成果を ループ事業 シターそよ風 で、人と、 で、人と、 で、人と、 で、人と、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	事業別の 事業別の 京産等等の ででする でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でい	<b>標</b>	<b>指標設</b> 適切なまだった。 一ででする。 一ででする。 一ででは、 でででする。 は、 でででする。 は、 でででする。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででででできる。 でででででできる。 ででででででできる。 でででででででででで	で で 、間ま 一 の で の で に で に に の で に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に に る に 。 に に 。 に 。 に に に に に に に る に に に 。 に 。 に に 。	プラステン と	<b>方</b> が困難 が水者 <b>び</b> 114き に現た に対した。	能 - 女 <b>業</b> のかた	人 <b>)</b> 改 らが 系の	ー 目標 ( ) ( ) ( <b>善点等</b> 同施設が受託 下成18年度 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	17年度  目 標 ( )	3,050 或生活支援セ 青少年局の事 ・を行うことと
成果指標	<b>事</b> ① ② 部地でてて18.8 まずに対けます。	事業の目 療育者	めの成果を ループ事業 シターそよ風 ・児(者)地接生 ・児・選生活を ・児・原育グルー	事業 の 年間 系	<b>標</b>	<b>指標設</b> 適切あ事標 でプを 指標 がある で が うの で り い り の り の り の り の り の り の り の り り り り	の、間ま の、間ま の、間ま 変は実ま間の	考定育参に   化、施すで見   化 変   水の   で見   で見   で見   で見   で見   で見   で見   で	<b>方</b> が 水者 が 114き 施行 した。	能一女 業のかた という	人のよが、系定	ー 目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	17年度  目標 ( ) した障害者地なからは子ども言いて必要な検討	3, 050 或生活支援セ 青少年局の事
成果指標	す ① ② ② ② 一 の は 18 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	事業の目       療力       育者       上域療う障害の       8年       効       性	の成果を ループ事業 ンターそより で見ている。 は生活を は、 の療育グルー なった。	事業間の 事業に 一次である は一次である である である である である である である である である である	<b>標</b>	<b>指標設</b> 適でプを 事情なる 事標 を <b>か</b> 事の は 国も の で と 国 も は 国 は 国 は 国 は 国 は 国 は 日 は 日 は 日 は 日 は 日	の、間まり、現ってしば系の、調がいる。	考定育参た   化、施すで見 は、   人 平し。害直   、   、   、   、   、   、   、   、   、	<b>方</b> が 加者 が 114き 施行 立 立 立	能一女 <b>業</b> 度し 殴う・民	人のようが一条定間	ー 目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	17年度 日標 ( ) した障害者地からは子ども言いて必要な検討	3,050 或生活支援セ 青少年局の事 を行うことと <b>総合評価</b>
成果指標	す ① ② ② ② 一 の は 18 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	事業の目 療育者	<b>的の成果を</b> ループ事業 シターそより を見り、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	別る指 の年間を 事業間の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の できるの できるの できるの できるの できるの できるの できるの できる	<b>標</b>	<b>指標設</b> 適でプを 事情なる 事標 を <b>か</b> 事の は 国も の で と 国 も は 国 は 国 は 国 は 国 は 国 は 日 は 日 は 日 は 日 は 日	の、間まり、現ってし、門家の、第一次の、間まり、現ってし、門家ののでは実ますののでは、実ますののでは、実ますののでは、実行のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	考定育参た   化、施すで見 はって   はって   人工   で見 はって   でして   でして	<b>方</b> が 加 <b>び</b> <b>び</b> <b>は</b> <b>び</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b>	<b>業</b> 度し 殴う ・も	人のよが、不定間で	Table   Ta	17年度  目標 ( ) した障害者地なからは子ども言いて必要な検討	3,050 或生活支援セ 青少年局の事 ・を行うことと
成果指標	す ① ② ② ② 一 の は 18 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	事業の目       療力       育者       上域療う障害の       8年       効       性	<b>的の成果を</b> ループ事業 シターそと地域と リアのを は リアのを イン リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを	別る指 の年間を 事業間の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の 事業の できるの できるの できるの できるの できるの できるの できるの できる	<b>標</b>	<b>指標設</b> 適でプを 切め事指 切め事標 らのと らにつに今せ 市一と は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	の、間まり、現ってし、門家の、第一次の、間まり、現ってし、門家ののでは実ますののでは、実ますののでは、実ますののでは、実行のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	考定育参た   化、施すで見 はって   はって   人工   で見 はって   でして   でして	<b>方</b> が 加 <b>び</b> <b>び</b> <b>は</b> <b>び</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b>	<b>業</b> 度し 殴う ・も	人のよが、不定間で	Table   Ta	17年度 日標 ( ) した障害者地からは子ども言いて必要な検討	3,050 或生活支援セ 青少年局の事 を行うことと <b>総合評価</b>
成果指標	1 (1) (2) 部ででは8ま 有達	業の目       療力       育者       上域院で障害10が       効成       性度	<b>的の成果を</b> ループ事業 シターそと地域と リアのを は リアのを イン リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを	・測る指 のの年間を 事業育等のにに 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で を で りで に に で りで に りで に りで に りで に りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで りで	<b>標</b>	<b>指標設</b> 適でプを 切め事指 切め事標 らのと らにつに今せ 市一と は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	の、間まの、間まででは異素の、業行きでは実までの。	考定育参た   化、施すで見 はっな   人工   人工   人工   人工   人工   人工   人工   人	<b>方</b> が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	<b>業</b> 度し 殴う ・も	人のよが、不定間で	Table   Ta	17年度 日標 ( ) した障害者地からは子ども言いて必要な検討	3,050 或生活支援セ 青少年局の事 を行うことと <b>総合評価</b>
成果指標	す ① ② 部7:1元以 有達効	業の目       大会       有者       大会       大会   <	<b>的の成果を</b> ループ事業 シターそと地域と リアのを は リアのを イン リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを リアのを	調る指数のの年間を 事業では 事務である。 第一のでは 第一ので 第一ので 第一ので 第一ので 第一ので 第一ので 第一ので 第一ので	標	指標設 適でプを 特か事のは国も か業一別は併 市一とえ ののつと実後で でする でする でする でする でする でする でする です	の、間まの、間まででは異素の、業行きでは実までの。	考定育参た   化、施すで見 はっな   人工   人工   人工   人工   人工   人工   人工   人	<b>方</b> が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	<b>業</b> 度し 殴う ・も	人のよが、不定間で	Table   Ta	17年度 日標 ( ) した障害者地からは子ども言いて必要な検討	或生活支援セ 青少年局の事 を行うことと <b>総合評価</b>
成果指標	す ① ② 部7:1元以 有達効	業の目       大会       有者       大会       大会   <	めの成果を         ループ事業         シターそれ         そり         は         大り         は         大り         は         大り         は         大り         は         より         なり         なり	調る指数のの年間を 事業では 事務である。 第一のでは 第一ので 第一ので 第一ので 第一ので 第一ので 第一ので 第一ので 第一ので	標	指標設 適でプを 特か事のは国も か業一別は併 市一とえ ののつと実後で でする でする でする でする でする でする でする です	の、間まの、間まででは異素の、業行きでは実までの。	考定育参た   化、施すで見 はっな   人工   人工   人工   人工   人工   人工   人工   人	<b>方</b> が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	<b>業</b> 度し 殴う ・も	人のよが、不定間で	Table   Ta	17年度 日標 ( ) した障害者地からは子ども言いて必要な検討	或生活支援セ 青少年局の事 を行うことと <b>総合評価</b>

										<u></u>		
	事業	名	南部地域療	育センター	医療部門等	の運	営(		, <u>-</u>	一般会計	·	01
	部	門	障害児・障害	主者福祉				113		子ども青少 子ども青少		$ \frac{04}{01}$
	<u>iii—</u> 施	 策		る自立した	生活の実現					子ども措置		03
	<del>了</del> 作成部	部署	_ / /	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -			01	06 i		972-2520		
事			対象(誰る	・何を)				意图	(ど	ういう状態に	こしたいのた	<b>n</b> )
業の目的		地域療 る人件	ででシター ・費	そよ風の医	療部門に					ことにより、 を解消しま	、市立の地域 す。	<b>成療育セン</b>
事業の内容	につ 1 事業 2	いて、} 対象と 等 補給金の	次のとおり補 なる事業…幸	給金を支出   部地域療育    立の地域療	します。 センターそよ 育センターと	:風の  :同数:	医療 の人	部門.員配	で実施 置を前	する発達相記 提に、医療語	炎、機能訓練 部門に配属の	かかる人件費 等を行う医療 職員について
開	始:	年 度	平成 8	年度 根拠		岡等						
<b>-</b>		· 人員		17年度決算額			画	名古月	星新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事美	<b>美費</b> (	千円)	132, 180	145, 351	143, 246	10 +	∟ռ ⊢	固別計	·画			頁
財	国・児	見支出金		·	·	事	業の	実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債					-, , ,		1.1			
内		 !特定財源					診療	件数	件	2, 230	2, 493	2, 500
訳	一 般	 g 財 源	132, 180	145, 351	143, 246	<u> </u>	<b>≑</b> 111 <b>%</b> ±1	: /	. //-	7 914	6 196	7 500
職	員数	(人)	0.2	0.2	0.2	2	训練	性数	件	7, 214	6, 126	7, 500
	事	業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の	考え	.方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成		訓練件	数の対市立、	センター比	担当区未就人当たり訓					124. 2	305. 7	
果	1	<b>f</b> 未就:	学児1万人あたり南	部実施件数 7	の地域療育					目標	目標	125
		未就	学児1万人あたり市		較します。					( 125 )	( 125 )	
指												
標	2											
1亦		[ —		]								
				事業開始	<b>侍からの状</b> え	兄変亻	比及	び事	業の改	<b>文善点等</b>	<u> </u>	
を り く キ ・ 幸	司設し、 ト地域を 可部地域	. 現在公 寮育セン 或療育セ	「画2010」では よ民合わせ3から ✓ターの医療部 ✓ンターそよ風 ✓ンター:中村	所で事業を実別 門が担当する : 熱田区、南	色しています。 区) 区、緑区					ます。平成15 <sup>年</sup> :東区、北区	F度に北部地域 、西区	療育センター
					市評価							総合評価
評	有	効 性		南部地域療育			-					
		成 度									ターと同水 等への人件	Α
価		率 性		に対する補紹							17	
				行政訓	平価委員会の	り外部	化評化	西				総合評価
(;	この事	事業に対	寸するコメン	/トはありま	ミせん。)							_
												I A .

							7	会計	一般会計		01
	事業	美 名	デイサービ	`ス事業(児	皇童デイサー	ビン	ス)   051   予算		子ども青少	 年費	04
	部	門	障害児·障害	<b>害者福祉</b>			113 費		子ども青少		01
	施	策	地域におけ	る自立した	生活の実現	1	1 1		子ども措置		03
	作成	部署	子ども青少年月	哥子ども育成部	『子ども育成課	10			972-2520		
事業	ال مادور	<u> </u>	対象(誰る			17-åo				こしたいのか	
の	草洼	身のある	幼児及び小	字生			善児の療育さ します。	ら 庫:	善のある小'	学生の放課後	は古動を文
目的							J				
нЭ	障律	手者自立	支援法の障	害福祉サー	・ビスとして	L 、指	1定事業所に	こおし	ハて幼児・カ	小学生に対し	個別及び集
事	団フ	プログラ	ムによるデ	イサービス						育や障害のあ	
業	放護	果後活動	を支援しま	す。							
のも											
内容											
開	始	年 度	平成 15	年度根据	処法令・要約	岡等	障害者自立	支担	 爱法		
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	·画 名古屋新	折世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事	<b>業費</b>	(千円)	100, 811	236, 000	148, 844		載個別計画				頁
財	国•	県支出金	50, 405	118, 000	89, 462	事	業の実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	方 債					年度末市内指				
内	その作	---- 他特定財源				1	定事業者数	か所	17	49	_
訳	 一 点	 般 財 源	50, 406	118, 000	59, 382		当該年度支給				
職	員数	(人)	1.0	1. 0		2	決定者数	人	615	881	900
	事	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の	考え方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成		去公油。	定者の年間	主利田家	支給決定を受				68. 9	77. 2	
	1	<b>火</b> 和伏,	足有 の中间:	天们用学	際にサービス より、より身			%	00.9	11.2	80. 0
果			こ1日以上利用		サービスの「をみます。	利用	しやすさ」	/0	目 標	目標	00.0
114		し 当	該年度支給	決定者	<i>と</i> みより。				( 80 )	( 80 )	
指											
標	2	_									
际				<u>]</u>					目標	目標	
		· ·		事業開始!	<u> </u> 時からの母:	显亦	化及び事業	_ ന¤		( )	
	平成1	17年度に	こ市内の指定							· 『者自立支援	法の介護給
付	費へ、	と移行し	したとともは	こ、10月の-	一部改正で放	女課?	後支援的サー			直しが検討る	
たと	か、 5	平成18・	・19年度で第	尾施体系の響	隆理を行いま	ミす。					
					市評価						総合評価
	Τ,	効 性					支援は学童保				
評	有				'亩テイ サード	スに	.より質、量と	もに	充実しました	- 狩に平成17	
評			まし			し、	障害のある子	ども	やその保護者		Δ
	達	成 度	<b>4</b> 年度	は大幅に指定			障害のある子	・ども	やその保護者		A
			<b>4</b> 年度	は大幅に指定 が近で使いやす	≦事業所が増加 「いものとなり	まし	障害のある子 た。	・ども	やその保護者		
価	達 効	成 度率 性	まし 4 4 り身	は大幅に指定 近で使いやす <b>行政</b>	至事業所が増加 いものとなり 評価委員会の	まし	障害のある子 た。	・ども	やその保護者		総合評価
価	達 効	成 度率 性	<b>4</b> 年度	は大幅に指定 近で使いやす <b>行政</b>	至事業所が増加 いものとなり 評価委員会の	まし	障害のある子 た。	ども	やその保護者		

			_			••					<u> </u>		
Į	事業	名	心身障害	皆扶養共済	事業				052 予		一般会計 健康福祉費	. <b></b>	0:
-	部	門	障害児・障	生 考 福 祉							社会福祉費		0:
	<del>"</del> 施	 策			章害者、介護者の	)高齢化~	へのす	対応	2 目			· ·扶養共済費	
	<del>厄</del> 作成音				部障害企画			01			972-2585	1/12/10/54	
事		<del>" -</del>		を・何を)				Ů.	意図			にしたいのか	<b>v</b> )
業	心身	障害者	及びその			νĺ	心身	/障	害者の			祉の増進を図	
の目											将来に対し	、保護者の指	包く不安の
的								,	図りま	, 0			
												掛金を一定	
事	るこる制		り、保護す	すか死亡メ	(は里度障害	善者に	_7;	:07	ことさ	اثر . ا	草害児(者)(	こ終身一定額	別文紹され
業	掛金		加入時の年	E齢に広じ	こて3.500円	から	13.	300	Щ				
の内	年金		1口2万円(		(0,000)	J 14 2	10,		, ,				
容													
開	始:	年 度	昭和 43	年度	根拠法令・	要綱	等	名さ	屋市	<u></u> 心身隊	章害者扶養共	+済事業条例	
		· 人員	16年度決算額	_	算額 18年度予	_	<u>;</u> 計					2次実施計画	無
		千円)	477, 764				掲	<u> </u>	個別計画				I /m
		県支出金	93, 461	· · · · ·	· ·	721	事	業(	つ実績	単位	16年度	17年度	目標 年度
• • •		方債					$\overline{}$				10-12	17-72	
内		/]		-		(		干组者数	≳受給 ₩	人	658	695	_
			204 209	205.0		027		ря	^				
訳		· 財源			· ·	(	2	加フ	人口数	口数	2, 231	2, 191	-
垹	員数		0.9			0.9 漂設定	: A	<b>土</b> :	· +	224 / L	16年度	17年度	口描10左角
<del>-  -</del>	尹	未の日	的の成果で	に測る指情	<b>残され</b>					単位	10平及	17年度	目標18年度
成	4	年金受	給者数		生活の						658	695	
果	1	r			的があ	るため	り、	年	金受給	人	目標	目標	_
木					者数を		とし	て	設定し				
指		(			」 ました 扶養共済		にナ	加入	した方		( )	)	
10	4	実増加	加入者数		から任意	意脱退	して	た方	を差し		20	17	
標	2	( 新相	加入者数-任	音	引いた数					人	目標	目標	20
1233		191790	.//ii/で日	S.加. 之 日 奴	表すとえとして記						( 18 )	( 20 )	
		(		<b>重業</b> 問	始時から <i>0</i>					性ので		( 20 )	
保修	金財金	か悪化	とにより						•			爰) が導入さ	れました。
PINE	///J	~ · > /Liv   i		1 /2/2 0 1	1 ) 1 00 ) 11	\2 1 H\41 T		<b>₹</b> \⊏		J 1 1 1 1	1.45 //16/2/2/	x/ // <del>11</del> / <b>(</b> C	100 01C
					市	評価							総合評価
評	有	 効 性	4 心	身障害児			保証	<b>集者</b>	の持つ	不安	の軽減にと	って扶養共	440. HI I I I I I I I I I I I I I I I I I I
			<del>- 1</del> 済	制度の有効	効性は高い	と考.	えり	っれ	ます。		,—,,		D
		成 度	- 1.1					など	本市の	負担	が多く、ま	た掛金未納	В
価	効	率 性	3 な	どの問題	も抱えてい	ます。	)						
				行i	政評価委員	会の	外部	部評	価				総合評価
(3	_ の事	事業に対	付するコメ	ントはあり	りません。	)							
													D

:	事業	業 名	盲人情報文	化センター	運営補助		(	D53 <b>予</b>	会計款	一般会計 健康福祉費			01
	邹	門	障害児・障害	医者福祉			-	113 費		社会福祉費			01
	<u></u>	 策	就労の場の		:参加の促進	<u> </u>		3 目		身体障害者			02
		部署	健康福祉局				01	16 連絡		972-2587			
事			対象(誰を					意図			こしたいのか	١)	
業	視覚	<b></b>									覚障害者が社会		
の目						うえ	で必要 ・ タ#	要な情報 番細談車	る る な 業業学	は供を行うとと これ宝施オスト	もに、点訳ボーとにより、視り	ランティア 貴陪宝考σ	プの
的								図ります			. C (C & ) ( )(i)	九平 日 日 V	/ 1田
		点字図書											
事		社会参加 与記表社		会 朗蒜素	- 什昌	: JJ	<u>-</u>	一	[去]	田ワープログ	パソコン講習	200	
業			: 提供事業	云、奶肌净	山只食灰冊	· 日 ヱ	<b>5</b> 171	近門	1/11/	117 7 127	・ノーノ時日	1五寸	
の内	• 1	点字情報	誌発刊事業										
容			者用図書レ					<b>L</b>					
	<b>補</b> 具	切先:名	古屋ライト	ハワス名古	屋盲人情報	又们	ムセン	グー					
開	始	年 度	昭和 41	年度 根据	処法令・要約	綱等	身体降	章害者更	1生援	護施設の設備	及び運営に関	する基準	
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計	画	名古屋第	新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無	頁
事美	養	(千円)	72, 929	73, 907	71, 642	撂	載	固別計画					頁
財	国•	県支出金	22, 930	23, 345	23, 929	事	業の	実績	単位	16年度	17年度	目標184	年度
源	地	方 債						図書貸	MA	00 00 <b>=</b>	01 155	0.1 .1 .	_
内	その	.---- 他特定財源				(1)	出タ <i>-</i>  数	イトル	巻	30, 227	31, 175	31, 17	5
訳	— ,	 般 財 源	49, 999	50, 562	47, 713		点訳・音	訳ボラン					
ΠΨh	吕粉	(人)	0. 1	0. 1	0. 1	2	ティア養 ベ参加者	成講習会延 数	人	1, 491	1, 308	1, 491	-
職	貝奴		0. 1	0. 1	0. 1		U 7411 E						
聑			的の成果を		指標設	定の		方	単位	16年度	17年度	目標184	年度
成	寻	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設 視覚障害者	<del>i</del> ~0	<b>)考え</b> )援助	かを測	単位			目標184	年度
	事	事業の目		測る指標	指標設 視覚障害者 る指標とし	<del>i</del> ~0	<b>)考え</b> )援助	かを測		16年度 30, 227	<b>17年度</b> 31, 175		
	寻	事業の目	的の成果を	測る指標	指標設 視覚障害者	<del>i</del> ~0	<b>)考え</b> )援助	かを測	単位巻			目標184	
成	事	<b>事業の目</b> 録音図	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ	<b>測る指標</b> トル数 	指標設 視覚障害者 る指標とし た。	すへの	<b>)考え</b> り援助 设定し	を測しまし		30, 227	31, 175		
成	事	事業の目 録音図 点訳・	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音訳ボラン	<b>測る指標</b> トル数 	指標設 視覚障害者 る指標とし た。 視覚障害者	テヘク で	<b>  一</b>	かを測しました割かを測した割りを割ります。		30, 227 目標 (26, 002)	31, 175 目標 (30, 227)		
成果指	1	事業の目 録音図 点訳・	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ	<b>測る指標</b> トル数 	指標設 視覚障害者 る指標とし た。 視覚障害者 る指標とし	テヘク で	<b>  一</b>	かを測しました割かを測した割りを割ります。	巻	30, 227	31, 175	31, 17	5
成果	事	事業の目 録音図 点訳・	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音訳ボラン	<b>測る指標</b> トル数 	指標設 視覚障害者 る指標とし た。 視覚障害者	テヘク で	<b>  一</b>	かを測しました割かを測した割りを割ります。		30, 227 目標 (26, 002)	31, 175 目標 (30, 227)		5
成果指	1	事業の目 録音図 点訳・	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音訳ボラン	<b>測る指標</b> トル数	指標設 視覚障害も た。 視覚障とし 視覚標とし た。	テへで テへで テへで	<b>)考え</b> の援助 受定し 接助 り援定し	かま かまし	巻人	30, 227 目標 ( 26, 002 ) 1, 491 目標 ( 1, 431 )	31, 175 目標 (30, 227) 1, 308 目標	31, 17	5
成果指標	①	<b>事業の目</b> 録音図 点訳子 点講習会	的の成果を 書貸出タイ 音訳ボラン語 延べ参加者	<b>測る指標</b> トル数	指標設 視覚障害とした。 視覚障害とした。 現態標とした。 時からの状	かて言	<b>)考え</b> の援助 り援定し り援定し <b>(化及</b>	を 割 し か ま 割 し <b>び事業</b>	巻人の改	30, 227 目標 (26, 002) 1, 491 目標 (1, 431) <b>法善点等</b>	31, 175 目標 (30, 227) 1, 308 目標 (1, 491)	31, 17	5
成果指標	① ②	<b>事業の目</b> 録音図 点講 に講る 化する系	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音訳ボランジ 延べ参加者が	<b>測る指標</b> トル数ア養成	指標設 視覚に 視覚に で に で に で に を の が ら の 状 が ら た。	かへ 記変 、	考え   り	かま 測し <b>び事</b> 訳 <b>で音</b>	巻 人 <i>の</i> ぴ	30, 227 <sup>目 標</sup> (26, 002 ) 1, 491 <sup>目 標</sup> (1, 431 ) <b>注 点等</b> ンティアの	31,175 目標 (30,227) 1,308 目標 (1,491)	31, 17	5
成果指標	① ② 移移	事業の目       録音       点講       化に、       化に、	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音訳ボランデ 延べ参加者を 可用者からの 音図書におい	<b>測る指標</b> トル数	<b>指標設</b> 視覚標 る は 覚 に 、 で に で に き た。 は た る た 。 は た る た 。 は た る た る た る た る た る た る た る た る た ん た う ん た う ん た う ん た う ん う ん う ん た う ん う ん	へて つまり で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	考え   り考え   り   り   投定   上   上   上   上   上   上   上   上   上	かま かま をま をま <b>び</b> <b>音</b> 就 <b>で</b> <b>が</b> <b>き</b> <b>が</b> <b>き</b> <b>が</b> <b>き</b> <b>が</b> <b>き</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b> <b>が</b>	巻 人 の ず う 取	30,227 <sup>目標</sup> (26,002) 1,491 <sup>目標</sup> (1,431) <b>文善点等</b> ンティアの り組んでい	31,175 目標 (30,227) 1,308 目標 (1,491) スキルアップ ます。	31, 17 1, 491 プに努め	5
成果指標	① ② 様も1	事業の目       録     【       点講     【       化に7     本経費	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音訳ボランデ 延べ参加者を 可用者からの 音図書におい	<b>測る指標</b> トル数 ティア養成 <b>事業開始</b> いても、新いてが柔軟かて	<b>指標設</b> 視覚標 る も た。 視覚標 を は り に で に で で で で で で で で で で が す が う だ い う だ う だ う だ う だ う だ う 、 う 、 う 、 う 、 う 、	たって たって たって たって たって たって たって たって	<b>  考え</b> の	かま 変ま 変ま <b>び・</b> 音成き <b>3</b> <b>3</b> <b>3</b> <b>4</b> <b>5</b> <b>5</b>	巻んのである	30, 227  E 標 ( 26, 002 ) 1, 491 E 標 ( 1, 431 ) <b>Z善点等</b> ンテイでの り組費の見	31,175 目標 (30,227) 1,308 目標 (1,491)	31, 17 1, 491 プに努め	5
成果指標	① ② 様も1	事業の目       録     【       点講     【       化に7     本経費	的の成果を 書貸出タイ 音訳ボランラ 延べ参加者を があるの がいまして はり施設運営	<b>測る指標</b> トル数 ティア養成 <b>事業開始</b> いても、新いてが柔軟かて	<b>指標設</b> 視覚標 見指 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	かくて	<b>  考え</b> の	かま 変ま 変ま <b>び・</b> 音成き <b>3</b> <b>3</b> <b>3</b> <b>4</b> <b>5</b> <b>5</b>	巻んのである	30, 227  E 標 ( 26, 002 ) 1, 491 E 標 ( 1, 431 ) <b>Z善点等</b> ンテイでの り組費の見	31,175 目標 (30,227) 1,308 目標 (1,491) スキルアップ ます。	31, 17 1, 491 プに努め 公民格	5 る 差
成果指標と平是	1 ① ② 移む1 E制	業の目       録     【       点講     【       する録度廃	的の成果を 書貸出タイ 音訳ボランジ があるが がいるが がいるが は りました。	<b>測る指標</b> トル数	指標設 視覚標 見 覚 情 る た。 様 に で に で に が ら る た の が ら が ら が ら が ら が ら の の た り に り に の の の の の の の の の の の の の の の の	かって <b>況かい</b> かい がい で <b>別がい</b> で <b>別がい</b> に <b>で</b>	<b>  考え</b>   の役	かま をま <b>び・</b> 手成き過 関し <b>戦し</b>	巻 人 プラ取うあ	30, 227  F標 ( 26, 002 )  1, 491  F標 ( 1, 431 ) <b>X善点等</b> ンテイでい  変替力の見 り)	31,175 <sup>目標</sup> (30,227) 1,308 <sup>目標</sup> (1,491) スキルアップ ます。 直しを行い、	31, 17 1, 491 プに努め	5 る 差
成果指標   ***********************************	① ② 様も1	事業の目       録     【       点講     【       化に7     本経費	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音談ボラカオ 部であるい があるい 音がました。 <b>4</b>	<b>測る指標</b> トル数 アイアー・アップでは、 ・ は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	<b>指標設</b> 視るた 視るた 覚指 意 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	やって へて へて 次 かい の で で で の で の に 。 に に 。 に	考え   の	をま 変ま 変ま 変ま 変 事 音成き過 者 に る 者 に る 者 に る 者 に る 者 に る は に る は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に に の に の に の は に の に る に に に に に る に に に に に に に に に に に に に	巻 人 <b>の</b> ボもよ置 対	30, 227  E 標 ( 26, 002 )  1, 491  E 標 ( 1, 431 ) <b>7善点等</b> ン 知識費の見 り)  る福祉サー	31,175 <sup>目標</sup> (30,227 ) 1,308 <sup>目標</sup> (1,491 ) スキルアップ ます。 直しを行い、	31, 17 1, 491 プに努め 公民格 <b>総合評</b>	5 る 差
成果指標   ***********************************	1 ① ② 移む1 E制	業の目       録     【       点講     【       する録度廃	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音談がある。 一番がいる。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 一番である。 「できまれる。」 「できままれる。」 「できままれる。」 「できままれる。」 「できままままままままままま。」 「できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	<b>測る指標</b> トル数	<b>指標設</b> 視るた 視るた 覚指 意 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	で へて へて で で 次 、図 こ年 ・模業	考え   うつと   っとも   っとも	をま 変ま 変ま 変ま 変 事 音成き過 者 に る 者 に る 者 に る 者 に る 者 に る は に る は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に に の に の に の は に の に る に に に に に る に に に に に に に に に に に に に	巻 人 <b>の</b> ボもよ置 対	30, 227  E 標 ( 26, 002 )  1, 491  E 標 ( 1, 431 ) <b>7善点等</b> ン 知識費の見 り)  る福祉サー	31,175 <sup>目標</sup> (30,227) 1,308 <sup>目標</sup> (1,491) スキルアップ ます。 直しを行い、	31, 17 1, 491 プに努め 公民格	5 る 差
成果指標	1 ① ② 様も1制 <b>有達</b>	業の目       録     【       点講     【       水     よる       よる     よる       大     大       大	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音以ボラカオ があからおりました。 1月図施しました。 1月図施しました。 1月のようには運た。 1月のように対しました。 1月のようにははないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないました。 1月のようにはないまた。 1月のようなないまた。 1月のようなないまた。 1月のようなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	<b>測る指標</b> トル数	<b>指標設</b> 視るた 視るた 覚指。 一時にい活の で で で で で で で で で で で で で で で で で が す が た り た り た り た り た り た り た り た り た り た	で へて へて で で 次 、図 こ年 ・模業	考え   うつと   っとも   っとも	をま 変ま 変ま 変ま 変 事 音成き過 者 に る 者 に る 者 に る 者 に る 者 に る は に る は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に の は に に の に の に の は に の に る に に に に に る に に に に に に に に に に に に に	巻 人 <b>の</b> ボもよ置 対	30, 227  E 標 ( 26, 002 )  1, 491  E 標 ( 1, 431 ) <b>7善点等</b> ン 知識費の見 り)  る福祉サー	31,175 <sup>目標</sup> (30,227 ) 1,308 <sup>目標</sup> (1,491 ) スキルアップ ます。 直しを行い、	31, 17 1, 491 プに努め 公民格 <b>総合評</b>	5 る 差
成果指標	1 ① ② 様も1制 <b>有</b>	業の目点講化に7度効成会本会本の報告本の報告の目 </th <th><b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音談ボッカー 音がある。 一番を表しました。 一番を表しました。 一番を表しました。 音とはました。 音とはました。</th> <th><b>測る指標</b> トル数 テ数 事二でがで、情でなど、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、</th> <th><b>指標設</b> 視るた 視るた 覚指。 一時にい活の で で で で で で で で で で で で で で で で で が す が た り た り た り た り た り た り た り た り た り た</th> <th>(A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)</th> <th>  考え   うつら   うつら   うつら   うつら   うつら   うっぱ   ちょぱ   ちょぱ</th> <th>かま をま 事 ま で 本 音 成 き 過 者 充 に る 措 に る 措 に る 措 に る 措 に る 措 に る 者 た に る は に に に る は に に に に に に に に に に に に に</th> <th>巻 人 <b>の</b>ボもよ置 対</th> <th>30, 227  E 標 ( 26, 002 )  1, 491  E 標 ( 1, 431 )  <b>7善点等</b> ン 知識費の見 り)  る福祉サー</th> <th>31,175 <sup>目標</sup> (30,227 ) 1,308 <sup>目標</sup> (1,491 ) スキルアップ ます。 直しを行い、</th> <th>31, 17 1, 491 プに努め 公民格 <b>総合評</b></th> <th>5 る 差 価</th>	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音談ボッカー 音がある。 一番を表しました。 一番を表しました。 一番を表しました。 音とはました。 音とはました。	<b>測る指標</b> トル数 テ数 事二でがで、情でなど、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	<b>指標設</b> 視るた 視るた 覚指。 一時にい活の で で で で で で で で で で で で で で で で で が す が た り た り た り た り た り た り た り た り た り た	(A)	考え   うつら   うつら   うつら   うつら   うつら   うっぱ   ちょぱ   ちょぱ	かま をま 事 ま で 本 音 成 き 過 者 充 に る 措 に る 措 に る 措 に る 措 に る 措 に る 者 た に る は に に に る は に に に に に に に に に に に に に	巻 人 <b>の</b> ボもよ置 対	30, 227  E 標 ( 26, 002 )  1, 491  E 標 ( 1, 431 ) <b>7善点等</b> ン 知識費の見 り)  る福祉サー	31,175 <sup>目標</sup> (30,227 ) 1,308 <sup>目標</sup> (1,491 ) スキルアップ ます。 直しを行い、	31, 17 1, 491 プに努め 公民格 <b>総合評</b>	5 る 差 価
成果指標    **********************************	事     ①     ②     様も1制     有達効	業     信     上<	<b>的の成果を</b> 書貸出タイ 音談ボッカー 音がある。 一番を表しました。 一番を表しました。 一番を表しました。 音とはました。 音とはました。	<b>測る指標</b> トル数	指標 開 開 開 開 に に に に に に に に に に に に に	(A)	考え   うつら   うつら   うつら   うつら   うつら   うっぱ   ちょぱ   ちょぱ	かま をま 事 ま で 本 音 成 き 過 者 充 に る 措 に る 措 に る 措 に る 措 に る 措 に る 者 た に る は に に に る は に に に に に に に に に に に に に	巻 人 <b>の</b> ボもよ置 対	30, 227  E 標 ( 26, 002 )  1, 491  E 標 ( 1, 431 ) <b>7善点等</b> ン 知識費の見 り)  る福祉サー	31,175 <sup>目標</sup> (30,227 ) 1,308 <sup>目標</sup> (1,491 ) スキルアップ ます。 直しを行い、	31, 17 1, 491 かく 公民格 <b>総合評</b> B	5 る 差 価

												<u></u>		
	事	業 名	聴覚言語  助	章害者情	報文	化セン	ター	運営	営補 (	054 予		一般会計 健康福祉費	. <b></b>	01
	部	門	障害児・障	宝老短衫	ζι <b>-</b>					算 113 <b>費</b>		社会福祉費		$ \frac{0.3}{01}$
	<u>m</u> 施	 策	就労の場の			:参加の4	促准			3 目		身体障害者		02
		 述部署	健康福祉						01	U	Ι	972-2587	田   上 只	02
事		VHP E	対象(誰			1 <del>-</del> 11 <del>11</del> -	→ H/ K	0.5	01	意図			こしたいのか	<b>v</b> )
業	聴覚	覚言語障			_ /					章害者	青報文	化センターに	おいて、聴覚	言語障害者が
の目								社会	生活	を送る	うえて	必要な各種情	「報の提供を行 うあ者相談事」	うとともに、
的								多形るこ	上とに、	争任貝に	<sup>变风、</sup> 恵覚言	が追事来、た	1 の有相談事: 祉増進を図り	未寺と天旭り ます。
	_ ,	社会参加											•	
事			者派遣事	業、要約	筆記	奉仕員	養成	及て	<b>ド派</b> 遣	事業	等			
業			「相談事業 「事業:社会	<b>全                                    </b>	成の	開講								
のも			事業:字			等								
内容	(5)†	情報提供	事業:字	幕入りビ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙					出	等			
Ú	補具	助先:名	身連聴覚	言語障害	者情	報文化	セン	ター	-					
開	始	年 度	昭和 6	年度	根拠	処法令・	要糾	岡等	身体	章害者	更生援	養護施設の設備	  及び運営に関 <sup>-</sup>	する基準
事	業費	・人員	16年度決算額	頁 17年度法	央算額	18年度予	算額	計	·画:	名古屋	新世紀	紀計画2010第	2次実施計画	無 頁
事美	美費	(千円)	70, 16	0 70,	, 743	72,	982	10	<b>∓</b> ⊢	固別計画	_			頁
財	国•	県支出金			, 686	25,	478	事	業の	実績	単位	16年度	17年度	目標18年度
源	地	 方		-	í <b></b>				<u> </u>	通訳者		1 122		
		´'^ )他特定財源		-				1	派遣		口	2, 234	2, 407	2, 407
	<u> </u>	般財源			, 057	 17	504							
		川文 另 //示	40, 03	3 49,		47,	304	2	つり	あ者	件	194	190	194
膱	昌数	t (	0	1	0 1		0 1		相談	件数	' '	101	130	101
職		女(人) 事業の目	0.		0.1 / <b>桓</b>		0.1 <b>三訳</b>			件数				
		事業の目	的の成果で	を測る指		指相	漂設!	定の	考え	方	単位	16年度	17年度	目標18年度
成	Ę	事業の目 手話通		を測る指			<b>票設</b> : 加等	定 <i>の</i>	<b>考え</b> つ件数	<b>方</b> 女を示				
成		事業の目 手話通	的の成果で	を測る指		指本社会参	<b>票設</b> : 加等	定 <i>の</i>	<b>考え</b> つ件数	<b>方</b> 女を示		16年度 2,234	<b>17年度</b> 2,407	
	Ę	事業の目 手話通	的の成果で	を測る指		指 社会参 すもの	<b>票設</b> : 加等	定 <i>の</i>	<b>考え</b> つ件数	<b>方</b> 女を示	単位	16年度 2,234 <sup>目 標</sup>	17年度 2,407 <sup>目</sup> 標	目標18年度
成	Ę	事業の目 手話通 【	的の成果を訳者派遣回	<b>を測る指</b> 数		指 社会参 すもの	<b>票設:</b> 加等 とし	<b>定の</b> への て記	<b>考え</b> つ件数 设定し	<b>方</b> 女を示 よし	単位	16年度 2,234 <sup>目 標</sup> (1,918)	17年度 2,407 <sup>目 標</sup> (2,234 )	目標18年度
成果	1	事業の目 手話通 【 ろうあ	的の成果で	<b>を測る指</b> 数		指 社会参 た。 聴覚 を 測る	<b>漂設</b> : 加と 語指標	<b>定の</b> へでi 害者	<b>)考え</b> )件数 设定し	<b>方</b> かを示し 接助	単位	16年度 2,234 <sup>目 標</sup> (1,918) 194	17年度 2,407 <sup>目</sup> 標	<b>目標18年度</b> 2, 407
成果	Ę	事業の目 手話通 【 ろうあ	的の成果を訳者派遣回	<b>を測る指</b> 数		指 社会参 すもの た。 聴覚言	<b>漂設</b> : 加と 語指標	<b>定の</b> へでi 害者	<b>)考え</b> )件数 设定し	<b>方</b> かを示し 接助	単位	16年度 2,234 <sup>目 標</sup> (1,918) 194	17年度 2,407 <sup>目 標</sup> (2,234 )	目標18年度
成果指	1	事業の目 手話通 【 ろうあ	的の成果を訳者派遣回	<b>を測る指</b> 数		指 社会参 た。 聴覚 を 測る	<b>漂設</b> : 加と 語指標	<b>定の</b> へでi 害者	<b>)考え</b> )件数 设定し	<b>方</b> かを示し 接助	単位	16年度 2,234 目標 (1,918) 194 目標	17年度 2,407 <sup>目 標</sup> (2,234 ) 190	<b>目標18年度</b> 2, 407
成果指	1	事業の目 手話通 【 ろうあ	的の成果を訳者派遣回	<b>を測る指</b> 数	- ]	指 社会を た。 聴 測 る ま し た。	票から 語指。	<b>定の</b> への 害者	<b>)考え</b> ひ件数 安定し 本へ記	<b>方</b> かをまし 接定し り接定し	単位回	16年度 2,234 <sup>目 標</sup> (1,918 ) 194 <sup>目 標</sup>	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標	<b>目標18年度</b> 2, 407
成果指標	1	<b>事業の</b> 目 手話通 ろうあ	的の成果る 訳者派遣回 者相談件数	を測る指数 事業	標 _ ] ]	指 社会も た。 聴 覚 した。 時から0	票設 語等し 語精 で おおお で で おおい で で で かけい かけい かけい かけい かけい かけい かけい かけい かけい かい	<b>定の</b> で言って言言される。 字記される。	の考えの件数とは への記述 化及	<b>方</b> かをま り接定 <b>び事</b>	単位回	16年度 2,234 <sup>目 標</sup> (1,918 ) 194 <sup>目 標</sup> (103 ) 文善点等	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標	目標18年度 2,407 194
成果指標多話	① ② 様们 垂訳	事業の目       手話通       ろう       する派       本の	的の成果? 訳者派遣回 者相談件参 用者からの 遺体制の整	<b>*測る指</b> 数 事業 ( 二 第 二 第 二 第 二 第 二 で も に も に も り に も り に も り に も り に も り に も り に も り に も り に も り に も り に も り に も り に も り に も り に も り も り	標 - ] 開始 に努め	指 社 会 も 。 覚 測 し か す い る る る る る る る る る ろ る る ろ る ろ る ろ る ろ	漂かと 語指。 対め、	<b>定の</b> でできる。	<b>1)考え</b> の件定 へて <b>化</b> ソコ	<b>方</b> をま 接定 <b>びン</b> <b>び</b> <b>び</b>	単位回	16年度 2,234 <sup>目標</sup> (1,918) 194 <sup>目標</sup> (103) <b>対善点等</b> 記奉仕員の著	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 )	<b>目標18年度</b> 2,407 194 ともに、手
成果指標 多話平	① (1) (2) (基) (就)	事業の目       手話       ろう       する派貨       7年の	的の成果? 訳者派遣回 者相談件参 用者からの 遣体制の整 より施設運	<b>* 測る指</b> 数 <b>事</b> 二等 で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	<b>標</b> - ] <b>開始</b> に対めて、次かって、	指 社 士 会 も 。 覚測し かすい 発 の うる がまい 発 は に に に に に に に に に に に に に	漂加と 語指。 がよす行	<b>定の</b> (で) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	<b>1) 考え</b> の の の の で に の で に の に に の に に の に に の に る に の に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に る に る に 。 に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に 。	<b>方</b> をま 接定 <b>び</b> ン でき	単位回件のない。	16年度 2,234 <sup>目標</sup> (1,918) 194 <sup>目標</sup> (103) <b>X善点等</b> ご奉仕員の 運営費の見	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 )	<b>目標18年度</b> 2,407 194 ともに、手
成果指標 多話平	① (1) (2) (基) (就)	事業の目       手話       ろう       する派貨       7年の	的の成果? 訳者派遣回 者相談件参 用者からの 遺体制の整	<b>* 測る指</b> 数 <b>事</b> 二等 で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	<b>標</b> - ] <b>開始</b> に対めて、次かって、	指 社 士 会 も 。 覚測し かすい 発 の うる がまい 発 は に に に に に に に に に に に に に	漂加と 語指。 がよす行	<b>定の</b> (で) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	<b>1) 考え</b> の の の の で に の で に の に に の に に の に に の に る に の に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に る に る に 。 に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に 。	<b>方</b> をま 接定 <b>び</b> ン でき	単位回件のない。	16年度 2,234 <sup>目標</sup> (1,918) 194 <sup>目標</sup> (103) <b>X善点等</b> ご奉仕員の 運営費の見	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 )	<b>目標18年度</b> 2,407 194 ともに、手
成果指標 多話平	① (1) (2) (基) (就)	事業の目       手話       ろう       する派貨       7年の	的の成果? 訳者派遣回 者相談件参 用者からの 遣体制の整 より施設運	<b>* 測る指</b> 数 <b>事</b> 二等 で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	<b>標</b> - ] <b>開始</b> に対めて、次かって、	指 社 士 会 も 。 覚測し か すい発た の る ま の に に る に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に 。 に に 。 に 。 に 。 に 。 に に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	漂加と 語指。 がよす行	<b>定の</b> の 害と <b>兄</b> の こ年	<b>1) 考え</b> の の の の で に の で に の に に の に に の に に の に る に の に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に る に る に 。 に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に 。	<b>方</b> をま 接定 <b>び</b> ン でき	単位回件のない。	16年度 2,234 <sup>目標</sup> (1,918) 194 <sup>目標</sup> (103) <b>X善点等</b> ご奉仕員の 運営費の見	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 )	<b>目標18年度</b> 2,407 194 ともに、手
成果指標 多話平是	(1) (2) 様(訳1) 様(x1) 様(x	事業の目       手     合       方     一       おの年を       利減	的の成果。 訳者派遣回 者相談件巻 用者から整 よしました 4 聴	<b>*</b> 測る指	<b>標</b> -	指 会 も。 覚測し かすい発た 市 報	票加と 語指。 <b>ソ</b> とす行の <b>評</b> 化 化 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	定のできると、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	<b>うちたました。 イン・イン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン</b>	<b>方</b> をま 接定 <b>び</b> ン で蚤 よ、 助し 事	単位回件の第一方を置えている。	16年度 2,234 <sup>目標</sup> (1,918) 194 <sup>日標</sup> (103) <b>本善点等</b> 記奉仕員の記 変達費の見り)	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 ) を成を図ると 直しを行い、 対する福祉	目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差
成果指標 多話平是	① ② 様子 様子 様子 様子 様子 も も も も も も も も も も も も も	事業の目       手     日       方     一       すの年を       効	的の成果を 訳者派遣回 者相談件参 用者制設した としました	<b>* )</b>	<b>標</b>	指 社 士 士 士 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	漂加と 語指。 <b>ソ</b> とす行の <b>評</b> 化て <b>で</b> は、	定のの言と 兄 、 こ年 とらい	<b>1 考え</b> の で <b>1 と</b> で <b>2 と</b> で <b>2 と</b> で <b>3 と</b> で	<b>方</b> をま 援定 <b>び</b> ン で蚤 よき ・続 事要 る措 聴き	単位回件の第一方と置覚事	16年度 2,234 <sup>■ 標</sup> (1,918 ) 194 <sup>■ 標</sup> (103 ) <b>対善点等</b> ②本に負の記 である。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	17年度 2,407 <sup>目標</sup> (2,234 ) 190 <sup>目標</sup> (194 ) <b>該</b> 成を図ると 直しを行い、	目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差 総合評価
成果指標  多話平是    評	(1) (2) 様 (1) 様 (1) 様 (1) 有達	事業の目方の目大者7度方の年を効成内の年を対応度	的の成果。 訳者派遣回 者相談件参 用者からの整よりの整ました 4 聴りら	<b>*</b> 測る指	<b>標</b>	指 社 士 士 士 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	漂加と 語指。 <b>ソ</b> とす行の <b>評</b> 化て <b>で</b> は、	定のの言と 兄 、 こ年 とらい	<b>1 考え</b> の で <b>1 と</b> で <b>2 と</b> で <b>2 と</b> で <b>3 と</b> で	<b>方</b> をま 援定 <b>び</b> ン で蚤 よき ・続 事要 る措 聴き	単位回件の第一方と置覚事	16年度 2,234 <sup>■ 標</sup> (1,918 ) 194 <sup>■ 標</sup> (103 ) <b>対善点等</b> ②本に負の記 である。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 ) を成を図ると 直しを行い、 対する福祉	目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差
<b>成果指標</b>   多話平是  評	① ② 様子 様子 様子 様子 様子 も も も も も も も も も も も も も	事業の目       手     日       方     一       すの年を       効	的の成果。 訳者派遣回 者相談件参 用者からの整よりのました はしました 4 明明 3 切りの 4 関サら	<b>* )</b> 備営。	<b>標</b> - 開いた変 章のの <b>始</b> が残 害拠運 書点営	指 社 すた 聴をま かすい発た 報な助 情と補 である。	漂加と 語指。 <b>ソ</b> とす行の <b>评</b> 化て継 で で で で で で で で ま	定のででである。 この	考え   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一	<b>方</b> をま 接定 <b>び</b> ン で圣 よきと <b>事</b> 要 る措 聴き必	単位回件の第一方と置覚事	16年度 2,234 <sup>■ 標</sup> (1,918 ) 194 <sup>■ 標</sup> (103 ) <b>対善点等</b> ②本に負の記 である。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 ) を成を図ると 直しを行い、 対する福祉	目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差 総合評価 B
成 果 指 標 <u>多託平是</u> 評 価	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	事業の の 手 手 手 一 う ー る の 年 を 列 成 本 一 名 派 度 空 へ の 年 を 一 名 派 度 空 へ の 年 を へ の 名 が と 表 の 名 が と も の 年 を り へ の れ で と り へ り い り <br< th=""><th>的の成果訳者派遣回書相談件計算体施日本の整理日本の整理日本の整理日本の表現<!--</th--><th><b>*</b></th><th><b>標</b> - 開に対変 章のの <b>行</b> 開いた変 章のの <b>行</b> 関いたので 音処運 <b>政</b> 書点営 <b>認</b></th><th>指でで<t< th=""><th>漂加と 語指。 <b>ソ</b>とす行の <b>評</b>化て継 <b>会 (</b></th><th>定のででである。 この この</th><th>  考え   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一</th><th><b>方</b>をま 接定 <b>び</b>ン で圣 よきと <b>事</b>要 る措 聴き必</th><th>単位回件の第一方と置覚事</th><th>16年度 2,234  <sup>■ 標</sup> (1,918 ) 194  <sup>■ 標</sup> (103 ) <b>対善点等</b> ②本に負の記 である。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに</th><th>17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 ) を成を図ると 直しを行い、 対する福祉</th><th>目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差 総合評価</th></t<></th></th></br<>	的の成果訳者派遣回書相談件計算体施日本の整理日本の整理日本の整理日本の表現 </th <th><b>*</b></th> <th><b>標</b> - 開に対変 章のの <b>行</b> 開いた変 章のの <b>行</b> 関いたので 音処運 <b>政</b> 書点営 <b>認</b></th> <th>指でで<t< th=""><th>漂加と 語指。 <b>ソ</b>とす行の <b>評</b>化て継 <b>会 (</b></th><th>定のででである。 この この</th><th>  考え   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一</th><th><b>方</b>をま 接定 <b>び</b>ン で圣 よきと <b>事</b>要 る措 聴き必</th><th>単位回件の第一方と置覚事</th><th>16年度 2,234  <sup>■ 標</sup> (1,918 ) 194  <sup>■ 標</sup> (103 ) <b>対善点等</b> ②本に負の記 である。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに</th><th>17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 ) を成を図ると 直しを行い、 対する福祉</th><th>目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差 総合評価</th></t<></th>	<b>*</b>	<b>標</b> - 開に対変 章のの <b>行</b> 開いた変 章のの <b>行</b> 関いたので 音処運 <b>政</b> 書点営 <b>認</b>	指でで <t< th=""><th>漂加と 語指。 <b>ソ</b>とす行の <b>評</b>化て継 <b>会 (</b></th><th>定のででである。 この この</th><th>  考え   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一</th><th><b>方</b>をま 接定 <b>び</b>ン で圣 よきと <b>事</b>要 る措 聴き必</th><th>単位回件の第一方と置覚事</th><th>16年度 2,234  <sup>■ 標</sup> (1,918 ) 194  <sup>■ 標</sup> (103 ) <b>対善点等</b> ②本に負の記 である。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに</th><th>17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 ) を成を図ると 直しを行い、 対する福祉</th><th>目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差 総合評価</th></t<>	漂加と 語指。 <b>ソ</b> とす行の <b>評</b> 化て継 <b>会 (</b>	定のででである。 この	考え   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一	<b>方</b> をま 接定 <b>び</b> ン で圣 よきと <b>事</b> 要 る措 聴き必	単位回件の第一方と置覚事	16年度 2,234 <sup>■ 標</sup> (1,918 ) 194 <sup>■ 標</sup> (103 ) <b>対善点等</b> ②本に負の記 である。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 ) を成を図ると 直しを行い、 対する福祉	目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差 総合評価
成 果 指 標 <u>多託平是</u> 評 価	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	事業の の 手 手 手 一 う ー る の 年 を 列 成 本 一 名 派 度 空 へ の 年 を 一 名 派 度 空 へ の 年 を へ の 名 が と 表 の 名 が と も の 年 を り へ の れ で と り へ り い り <br< th=""><th>的の成果。 訳者派遣回 者相談件参 用者からの整よりの整ました 4 聴りら</th><th><b>*</b></th><th><b>標</b> - 開に対変 章のの <b>行</b> 開いた変 章のの <b>行</b> 関いたので 音処運 <b>政</b> 書点営 <b>認</b></th><th>指でで<t< th=""><th>漂加と 語指。 <b>ソ</b>とす行の <b>評</b>化て継 <b>会 (</b></th><th>定のででである。 この この</th><th>  考え   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一</th><th><b>方</b>をま 接定 <b>び</b>ン で圣 よきと <b>事</b>要 る措 聴き必</th><th>単位回件の第一方と置覚事</th><th>16年度 2,234  <sup>■ 標</sup> (1,918 ) 194  <sup>■ 標</sup> (103 ) <b>対善点等</b> ②本に負の記 である。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに</th><th>17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 ) を成を図ると 直しを行い、 対する福祉</th><th>目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差 総合評価 B</th></t<></th></br<>	的の成果。 訳者派遣回 者相談件参 用者からの整よりの整ました 4 聴りら	<b>*</b>	<b>標</b> - 開に対変 章のの <b>行</b> 開いた変 章のの <b>行</b> 関いたので 音処運 <b>政</b> 書点営 <b>認</b>	指でで <t< th=""><th>漂加と 語指。 <b>ソ</b>とす行の <b>評</b>化て継 <b>会 (</b></th><th>定のででである。 この この</th><th>  考え   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一</th><th><b>方</b>をま 接定 <b>び</b>ン で圣 よきと <b>事</b>要 る措 聴き必</th><th>単位回件の第一方と置覚事</th><th>16年度 2,234  <sup>■ 標</sup> (1,918 ) 194  <sup>■ 標</sup> (103 ) <b>対善点等</b> ②本に負の記 である。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに</th><th>17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 ) を成を図ると 直しを行い、 対する福祉</th><th>目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差 総合評価 B</th></t<>	漂加と 語指。 <b>ソ</b> とす行の <b>評</b> 化て継 <b>会 (</b>	定のででである。 この	考え   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一方   一	<b>方</b> をま 接定 <b>び</b> ン で圣 よきと <b>事</b> 要 る措 聴き必	単位回件の第一方と置覚事	16年度 2,234 <sup>■ 標</sup> (1,918 ) 194 <sup>■ 標</sup> (103 ) <b>対善点等</b> ②本に負の記 である。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	17年度 2,407 目標 (2,234 ) 190 目標 (194 ) を成を図ると 直しを行い、 対する福祉	目標18年度 2,407 194 ともに、手 公民格差 総合評価 B

				加									
-	事	業 名	身体障害者	補助力	犬等の	育成等		055	, , <u>–</u>		一般会計 健康福祉費	,	01
	部	門	障害児・障害	主者福	弘上			113			社会福祉費		01
	<u>ii)</u> 施	策	就労の場の			:参加の促	准	3			身体障害者		02
		部署	健康福祉局								972-2587	田山東	02
事	1 - 1-7	, HI, 13		<u>キュロリ</u> を・何		14日11日1	水 03					こしたいのか	1)
業	身在	木陪宝者	及び、身体			犬を育成	身					貸与すること	· ·
の		ようとす		1 <del>17-</del> 口 1	日刊四岁	C H PX						参加の促進を	
目的		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<b>3</b> /4				す。		- / 3	- ,			2 11 / 01
нэ	•		山邨宇道士	セクタ オー・	が運営	1 ている		上級会訓	舗わ`	ンメ	ターが 言い	首犬の斉成及	び貸与、訓
												テハい 自成及 テっています	
事												前助します。	0
業の			育成するも						. , , ,	• ,	7,117,70	114.54 - 61.56	
内													
容													
-													
開	始	年 度	昭和 50	年度	根#	処法令・要	9細筆	身体障	害者和	補助	 h 犬 法		
		・人員	16年度決算額									2次実施計画	有 42 頁
_		(千円)	5, 161		3, 718		- 1	, <del>I</del>			屋市障害者		24 頁
財		県支出金	0, 101	'	0, 110	1, 20		業の実		単位	16年度	17年度	目標18年度
							- 🗕 📑	<del>*未い天</del> 	小貝 中	丰江	10十尺	17千茂	口保10千皮
		_ 方 _ 债					(1)	育成数	Ī	頭	10	8	10
内	その	他特定財源 							5 ) . L				
訳	<b>—</b> :	般財源	5, 161	,	3, 718	4, 28	2	市内による補助に		頭	16	16	16
職	員数	(人)	0.1		0.1	0.		0 1111-7-27	-	->\	10	10	10
					0. 1	0.	1	数					
	Ę	事業の目	的の成果を	測る扌				<u>数</u> )考え方	単	単位	16年度	17年度	目標18年度
成	Į.		的の成果を	測る打		<b>指標</b> 活動状況	<b>没定の</b> を示っ	す主なも	の	単位			目標18年度
成		事業の目 育成数	的の成果を	測る打		<b>指標</b> 活動状況 であるた	<b>没定の</b> を示っ	す主なも	のし		<b>16年度</b> 10	<b>17年度</b> 8	
成果	<b>1</b>		的の成果を	測る打		<b>指標</b> 活動状況	<b>没定の</b> を示っ	す主なも	のし	<b>単位</b> 頭			目標18年度
	<b>1</b>		的の成果を	測る技		<b>指標</b> 活動状況 であるた	<b>没定の</b> を示っ	す主なも	のし		10	8 目標	
	<b>1</b>	育成数			<b>指標</b>	<b>指標</b> 活動状況 であるた	<b>没定の</b> を示っ め指	す主なも票としま	の こし !		10 目標 (6)	8 目標 ( 10 )	
果	1	育成数	<b>的の成果を</b> おける補助:		<b>指標</b>	指標: 活動状況 であるた た。 活動状況 であるた	<b>没定の</b> を示っめ指植	す主なも 票としま す主なも	のし	頭	10	8	10
果指	<b>1</b>	育成数			<b>指標</b>	指標: 活動状況 であるた た。 活動状況	<b>没定の</b> を示っめ指植	す主なも 票としま す主なも	のし	頭頭	10 目標 (6) 16	8 目標 ( 10 )	
果	1	育成数			<b>指標</b>	指標: 活動状況 であるた た。 活動状況 であるた	<b>没定の</b> を示っめ指植	す主なも 票としま す主なも	のし	頭頭	10 目標 (6) 16	8 目標 ( 10 ) 16 目標	10
果指	1	育成数		犬頭数	指標 — ]	指標: 活動状況 であるた 活動よるた た。	<b>設定</b> の を示す め指す を が指す	r主なま 票としま 主主としま		頭頭	10 目標 (6) 16 目標 (14)	8 目標 ( 10 )	10
果指標	(1)	育成数 { 市内に:	おける補助	大頭数 <b>事業</b>	指標 — ]  文 — ]	指標i 活動状況 であるた 活動状況 であるた た。	<b>設定</b> の をお指 を 赤指 <b>大況変</b>	r主なも 票としま す主としま	の の に し 引	頭頭の改	10 目標 (6 ) 16 目標 (14 ) <b>善点等</b>	8 目標 ( 10 ) 16 目標 ( 16 )	10
果指標四	① ②	育成数 [ 市内に: 0 年から	おける補助:	大頭数 <b>事業</b> E度ま	指標 一 女 一 関 前 道	指標: 活動状況 た。 活動ある 活動ある た。 時からの* 算大育成事	設定の をめる をめる をめる た指する である たがまた。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	r主なま まきしま まきとしま <b>に及び</b> に してすが	の の の し 事業の 事業の	頭頭	10 目標 (6) 16 目標 (14) ( <b>善点等</b> 補助を実施	8 目標 ( 10 ) 16 目標 ( 16 )	10 16 からは身体
果指標昭障	① ② 写者	育成数	おける補助: 5 平成 1 5 年 たに定める	大頭 <b>事業</b>	<b>指標</b>	<b>指標</b> : 活動ある。 動ある。 <b>時か</b> 育成( すが) が が が が すが が すが すが も が する。	設定の をめを指 をお指 を指 を変と大	ring ring ring ring ring ring ring ring	の の し 。 ず 変 及 で に に に に に に に に に に に に に	頭頭の砂でで	10 目標 ( 6 ) 16 目標 ( 14 ) <b>善点等</b> 補助を実施 導犬)の育	8 目標 ( 10 ) 16 目標 ( 16 ) 成に係る経費	10 16 からは身体 貴の補助を
果指標 昭障実い	① ① ② ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	育	おける補助: o平成15年 kに定めから f県事業に移	大 頭 事度体障行 まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	<b>指標</b>	指標記 活動ある 活でた。 動ある。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>設定の</b> をめ をめ <b>大</b> 業導行 <b>変</b> と犬に	すまと す票 化及び 所力当 もま	のし のし <b>事業の</b>	頭頭の破跡に業に	10 <sup>目標</sup> ( 6 ) 16 <sup>目標</sup> ( 14 ) <b>善点等</b> 補助を実施 導のうち、補	8 目標 ( 10 ) 16 目標 ( 16 )	10 16 からは身体 は 動いにつ
果指標 昭障実い	① ① ② ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	育	おける補助: o平成15年 kに定める身 3年4月から	大 頭 事度体障行 まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	<b>指標</b>	指標記 活でた 動あ。 動あ。 動あ。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	設をめをめ 大選導行、 一条指 一条指 一条指 一条指 一条指 一条指 一条指 一条指	すまと す票 化及び 所力当 もま	のし のし <b>事業の</b>	頭頭の破跡に業に	10 <sup>目標</sup> ( 6 ) 16 <sup>目標</sup> ( 14 ) <b>善点等</b> 補助を実施 導のうち、補	8 目標 ( 10 ) 16 目標 ( 16 ) 。 1 6 年度な 成にの育成 動大の育成	10 16 からは身体 費補助にてい まとしてい
果指標 昭障実いな	① ② 和害施 てい た	育	おける補助 で成15年 本に2月から おはまれる がはまままます。 では、15年 では、15	大 <b>事</b> 度体障行い <b>事</b> ま障害しま	<b>指標</b>	指標に活でた 活でた 時が育大援た おうない から成 (法だ 市評・	<b>設</b> をめ	す票 主と 主と をして介り犬 なし なし なし が成力 が成力 が成力 が成力 が成力 が成力 がある。 もま	のし のし <b>事業の</b> 事費及該導	頭頭の砂ででです。	10 目標 (6) 16 目標 (14) ( <b>善点等</b> 補助(大) がいたは、	8 目標 ( 10 ) 16 目標 ( 16 ) 。16年度な 成ににの が補助対象	10 16 からは身体 は 動いにつ
果指標 昭障実いな	① ① ② ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	育	おける補助: の平成15年 とによりから 3年4月から 5月県事補助を行 ででは、 15年4月から 15年4日から 15年4日が 15年4日	大 事 実 ま 障 等 ま で 事 ま で ま 、 ま 、 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	<b>指</b>	指標: 活でた 活でた   活でた  <th><b>設</b>をめ</th> <th>r 票 す 票 <b>化し、よ助</b> 本 で <b>と なし</b> なし <b>な で が が が が が が が が が か き で か ま で か ま で か ま で か ま で が が が が が か ま で か ま で か ま で が が が か き で か ま ま で か ま で か ま ま で か ま ま ま で か ま ま ま ま</b></th> <th>のし のし <b>事</b> 教文 6 該</th> <th>頭頭の砂の聴業に立</th> <th>10 目標 ( 6 ) 16 目標 ( 14 ) <b>善点等</b> 補導のついては、 生活と社会</th> <th>8 目標 ( 10 ) 16 目標 ( 16 ) の成助県が補助対対 参加を推進</th> <th>10 16 からは身体 費補助にてい まとしてい</th>	<b>設</b> をめ	r 票 す 票 <b>化し、よ助</b> 本 で <b>と なし</b> なし <b>な で が が が が が が が が が か き で か ま で か ま で か ま で か ま で が が が が が か ま で か ま で か ま で が が が か き で か ま ま で か ま で か ま ま で か ま ま ま で か ま ま ま ま</b>	のし のし <b>事</b> 教文 6 該	頭頭の砂の聴業に立	10 目標 ( 6 ) 16 目標 ( 14 ) <b>善点等</b> 補導のついては、 生活と社会	8 目標 ( 10 ) 16 目標 ( 16 ) の成助県が補助対対 参加を推進	10 16 からは身体 費補助にてい まとしてい
果指標 昭障実いな	① ② 和害施 てい た	育 [   市 [ 0 補平、め	おける補助 平成15年 をに2月を 3年4月に移 まま補助を行 でする。	大 <b>事</b> 度体障行い 事た 事た また 業 また また また また	<b>指 一 女 一 開 で害者ます</b> はに <b>開</b> で害者ます はに 、必 ・	<b>指標</b> 況 動あ。 動あ。 動あ。 <b>時</b> 大助支。 <b>時</b> 大り接た <b>時</b> 大りでは <b>は</b> ない <b>は</b> ない	登をめ をめ <b>大</b> 業導行、 <b>価</b> るあ <b>次</b> と犬に介 身り	す票 す票 化し、よ助 体、 主と 主と <b>及で</b> 育助、、	のし のし <b>事</b> 費及該導 ののの 自増	頭頭の砂ででです。立地	10 目標 (6 ) 16 目標 14 ) <b>善</b> 助犬うい <b>善</b> あか)ちて ときた となる	8 I 標 ( 10 ) 16 I 6 ( 16 ) の の の の の の の が が が が が が が が を を を を を を を の が の が の が の が の の が が が が が が が が が が が が が	10 16 からの補助にな は補助にてい 総合評価
果 指 標 昭障実いな 評	① ② 和害施 で 有 達	有一の補平、め方の補平、めの成の相平、めの方の方の相平、めの方の方の相平、めの方の方の相平、めの方の方の相平、めの方の方の相平、めの方の方の相平、めの方の方の相平、めの方の方の相平、めの方	おける補助 では15年 平成15年 3年4 第中4 第中4 第中4 第中4 第中4 第一4 では2 では2 では3 では3 では4 では4 では4 では4 では4 では4 では4 では4	大 <b>事</b> 度体障行い 事た 事た また 業 また また また また	<b>指 一 女 一 開 で害者ます</b> はに <b>開</b> で害者ます はに 、必 ・	<b>指標</b> 況 動あ。 動あ。 動あ。 <b>時</b> 大助支。 <b>時</b> 大り接た <b>時</b> 大りでは <b>は</b> ない <b>は</b> ない	登をめ をめ <b>大</b> 業導行、 <b>価</b> るあ <b>次</b> と犬に介 身り	す票 す票 化し、よ助 体、 主と 主と <b>及で</b> 育助、、	のし のし <b>事</b> 費及該導 ののの 自増	頭頭の砂ででです。立地	10 目標 ( 6 ) 16 目標 ( 14 ) <b>善点等</b> 補導のついては、 生活と社会	8 I 標 ( 10 ) 16 I 6 ( 16 ) の の の の の の の が が が が が が が が を を を を を を を の が の が の が の が の の が が が が が が が が が が が が が	10 16 からは身体 費補助にてい まとしてい
果 指 標 昭障実いな 評	① ② name を で	育 [   市 [ 0 補平、め	おける補助 平成15年 をに2月を 3年4月に移 まま補助を行 でする。	大 <b>事</b> 度体障行い 事た 事た また 業 また また また また	<b>指</b>	指標に 活でた 時代助支。 動あ。 か育犬接た 市お業援 がなば 神に事 が 事 盲 施し 神に お ま が 事 盲 施 し か ま ま が ま ま が ま ま が ま ま が ま ま が ま ま が ま ま が ま ま が ま ま か ま ま か ま こ か ま か ま	設をめをめ、大業導行、 価 るあ飼 定示指 示指 変と犬に介 身り育	す票 <b>化</b> し、よ助 体、費	のし のし <b>事</b> 費及該導 ののの 自増	頭頭の砂ででです。立地	10 目標 (6 ) 16 目標 14 ) <b>善</b> 助犬うい <b>善</b> あか)ちて ときた となる	8 I 標 ( 10 ) 16 I 6 ( 16 ) の の の の の の の が が が が が が が が を を を を を を を の が の が の が の が の の が が が が が が が が が が が が が	10 16 からのは補助にて は補助して <b>総合評価</b> <b>B</b>
<ul><li>果指標</li><li>昭障実いな</li><li>評価</li></ul>	① ② 5者。はた 有達効	育一市〇補平、め効成率方一た22大1道性度大1道2大1道2大1道2大1道2大122大122大222大222大222大3222322233333333333433353333533336333373333833338333383333833338333383333933339333393333933339333393333933339333393333 </th <th>おける補助 で で で で で で で に を は の か の で に を の の の の の の の の の の の の の</th> <th>大 <b>事</b>度体障行い 事たる <b>業</b>ま障害しま 業めた</th> <th>情</th> <th>指標況た 活でた 時犬助支。 地要軍 価券が育犬援た 市お業援 員の 一番 はなば かり はながら かり はながら かり はない かり はない かり はい はい</th> <th>設をめをめ、大業導行、 価 るあ飼 の の で の の の の の の の の の の の の の の の の の</th> <th>す票 す票 化し、よ助 体、費 部主と 主と <b>及で</b>育助、、</th> <th>のしのし事業のある。</th> <th>頭頭の砂糖業に一立進要</th> <th>10 目 ( 6 ) 目 ( 16 ) 目 ( 14 ) <b>善</b>助犬うい <b>善</b>広を ( <b>*</b> 大し を ( 2 ) を ( 2</th> <th>8 I ( 10 ) 16 I ( 16 ) の の の の の の の が が が が が が が が が が が が が</th> <th>10 16 からの補助にな は補助にてい 総合評価</th>	おける補助 で で で で で で で に を は の か の で に を の の の の の の の の の の の の の	大 <b>事</b> 度体障行い 事たる <b>業</b> ま障害しま 業めた	情	指標況た 活でた 時犬助支。 地要軍 価券が育犬援た 市お業援 員の 一番 はなば かり はながら かり はながら かり はない かり はない かり はい	設をめをめ、大業導行、 価 るあ飼 の の で の の の の の の の の の の の の の の の の の	す票 す票 化し、よ助 体、費 部主と 主と <b>及で</b> 育助、、	のしのし事業のある。	頭頭の砂糖業に一立進要	10 目 ( 6 ) 目 ( 16 ) 目 ( 14 ) <b>善</b> 助犬うい <b>善</b> 広を ( <b>*</b> 大し を ( 2 ) を ( 2	8 I ( 10 ) 16 I ( 16 ) の の の の の の の が が が が が が が が が が が が が	10 16 からの補助にな は補助にてい 総合評価
<ul><li>果指標</li><li>昭障実いな</li><li>評価</li></ul>	① ② 5者。はた 有達効	育一市〇補平、め効成率方一た22大1道性度大1道2大1道2大1道2大1道2大122大122大222大222大222大3222322233333333333433353333533336333373333833338333383333833338333383333933339333393333933339333393333933339333393333 </th <th>おける補助 では15年 平成15年 3年4 第中4 第中4 第中4 第中4 第中4 第一4 では2 では2 では3 では3 では4 では4 では4 では4 では4 では4 では4 では4</th> <th>大 <b>事</b>度体障行い 事たる <b>業</b>ま障害しま 業めた</th> <th>情</th> <th>指標況た 活でた 時犬助支。 地要軍 価券が育犬援た 市お業援 員の 一番 はなば かり はながら かり はながら かり はない かり はない かり はい はい</th> <th>設をめをめ、大業導行、 価 るあ飼 の の で の の の の の の の の の の の の の の の の の</th> <th>す票 す票 化し、よ助 体、費 部主と 主と <b>及で</b>育助、、</th> <th>のしのし事業のある。</th> <th>頭頭の砂糖業に一立進要</th> <th>10 目 ( 6 ) 目 ( 16 ) 目 ( 14 ) <b>善</b>助犬うい <b>善</b>広を ( <b>*</b> 大し を ( 2 ) を ( 2</th> <th>8 I ( 10 ) 16 I ( 16 ) の の の の の の の が が が が が が が が が が が が が</th> <th>10 16 16 からの補助して は補助して <b>路合評価</b> <b>B</b></th>	おける補助 では15年 平成15年 3年4 第中4 第中4 第中4 第中4 第中4 第一4 では2 では2 では3 では3 では4 では4 では4 では4 では4 では4 では4 では4	大 <b>事</b> 度体障行い 事たる <b>業</b> ま障害しま 業めた	情	指標況た 活でた 時犬助支。 地要軍 価券が育犬援た 市お業援 員の 一番 はなば かり はながら かり はながら かり はない かり はない かり はい	設をめをめ、大業導行、 価 るあ飼 の の で の の の の の の の の の の の の の の の の の	す票 す票 化し、よ助 体、費 部主と 主と <b>及で</b> 育助、、	のしのし事業のある。	頭頭の砂糖業に一立進要	10 目 ( 6 ) 目 ( 16 ) 目 ( 14 ) <b>善</b> 助犬うい <b>善</b> 広を ( <b>*</b> 大し を ( 2 ) を ( 2	8 I ( 10 ) 16 I ( 16 ) の の の の の の の が が が が が が が が が が が が が	10 16 16 からの補助して は補助して <b>路合評価</b> <b>B</b>
<ul><li>果指標</li><li>昭障実いな</li><li>評価</li></ul>	① ② 5者。はた 有達効	育一市〇補平、め効成率方一た22大1道性度大1道2大1道2大1道2大1道2大122大122大222大222大222大3222322233333333333433353333533336333373333833338333383333833338333383333933339333393333933339333393333933339333393333 </th <th>おける補助 で で で で で で で に を は の か の に を に の の の の の の の の の の の の の</th> <th>大 <b>事</b>度体障行い 事たる <b>業</b>ま障害しま 業めた</th> <th>情</th> <th>指標況た 活でた 時犬助支。 地要軍 価券が育犬援た 市お業援 員の 一番 はなば かり はながら かり はながら かり はない かり はない かり はい はい</th> <th>設をめをめ、大業導行、 価 るあ飼 の の で の の の の の の の の の の の の の の の の の</th> <th>す票 す票 化し、よ助 体、費 部主と 主と <b>及で</b>育助、、</th> <th>のしのし事業のある。</th> <th>頭頭の砂糖業に一立進要</th> <th>10 目 ( 6 ) 目 ( 16 ) 目 ( 14 ) <b>善</b>助犬うい <b>善</b>広を ( <b>*</b> 大し を ( 2 ) を ( 2</th> <th>8 I ( 10 ) 16 I ( 16 ) の の の の の の の が が が が が が が が が が が が が</th> <th>10 16 からのは補助にて は補助して <b>総合評価</b> <b>B</b></th>	おける補助 で で で で で で で に を は の か の に を に の の の の の の の の の の の の の	大 <b>事</b> 度体障行い 事たる <b>業</b> ま障害しま 業めた	情	指標況た 活でた 時犬助支。 地要軍 価券が育犬援た 市お業援 員の 一番 はなば かり はながら かり はながら かり はない かり はない かり はい	設をめをめ、大業導行、 価 るあ飼 の の で の の の の の の の の の の の の の の の の の	す票 す票 化し、よ助 体、費 部主と 主と <b>及で</b> 育助、、	のしのし事業のある。	頭頭の砂糖業に一立進要	10 目 ( 6 ) 目 ( 16 ) 目 ( 14 ) <b>善</b> 助犬うい <b>善</b> 広を ( <b>*</b> 大し を ( 2 ) を ( 2	8 I ( 10 ) 16 I ( 16 ) の の の の の の の が が が が が が が が が が が が が	10 16 からのは補助にて は補助して <b>総合評価</b> <b>B</b>

#### 4経常的事務事業

-	事業	名	小規模通所	授産施設運	営補助		0	56 <b>予</b>		一般会計 健康福祉費			01 03
	部	門	障害児・障害	害者福祉			1	13 費		社会福祉費			01
J	施	策	就労の場の	確保と社会	参加の促進		;	3 目		障害者自立	支援費		05
•	作成語	部署	健康福祉局際	章害福祉部障	害者支援課	09	01 1	15 連	絡先	972-2560			
事			対象(誰を	生・何を)				意図	. ځ)	ういう状態に	こしたいのか	١)	
業の目的	18歳	以上の	一般就労の	困難な障害	者	者の	自活		要な	訓練を行う	運営費を助成 とともに、暗		
事業	設( 金を 対象	定員1( 交付しる 経費: が	)名以上の小 ます。 徳設運営に必	規模通所授施要な人件費、	金施設) へ移 管理費、事	行し	た名言	古屋市	内の	小規模通所授	小規模作業所 受産施設に対し に係るもの		
の内容		<u> </u>	基本補助額 定員加算	1,132千円~	(内訳(知 (精神 2,460千円(	障害 利用	)国z 者15⁄	基準額 名~19	i10, 50 名)	00千円+市単	7単費補助1,6 4費補助1,100	千円)	
開	始	年 度	平成 14	年度 根拠	処法令・要約	岡等 /	小規模通所	·授産施設運	営費補助金	を交付要綱・名古屋市精	神障害者小規模通所授産施	設運営費補助金交	付要綱
事	業費	・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計ī		3古屋	新世紀	记計画2010第	2次実施計画	有 42	頁
事第	美費 (	(千円)	88, 358	134, 705	146, 339	掲	載 個	別計画	名さ	屋市障害者	基本計画	49	頁
財	国・原	県支出金	34, 125	40, 250	42, 550	事	業の	実績	単位	16年度	17年度	目標18年	F度
源		方債					対象数数	施設	箇所	10	11	(11)	
内		特定財源					奴						
訳職	一	<ul><li>財源</li><li>(人)</li></ul>	54, 233	94, 455	103, 789	2	延利	用者	人	910	1, 294	1, 476	; )
	事	業の目	的の成果を	測る指標	指標設	定の	考え	方	単位	16年度	17年度	目標18年	F度
成					無⇒刃司事光	正子かく	ら注	+++					
		補助事	業対象施設	数	無認可事業設へ移行す	るこ	とを	推奨		10	11		
果	1	補助事	業対象施設	数]	設へ移行す しているこ 対象施設の	ることか	とをいら、	推奨 補助	箇所	目標	目標	(11)	
		補助事 [ <u></u>	業対象施設	数]	設へ移行す しているこ 対象施設の ました。	るとかを	.とを .ら、 :指標	推奨補助し	箇所	目標		(11)	
指	1	補助事 [ 利用率	業対象施設	数 ]	設へ移行るの 大りな施 た が 表した 模 が は が は が れ に が は が れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ	ると数 授	と よ よ 指 施 設	推奨助しが活		目標	目標		
	1	[	業対象施設 延利用者 定員×12ヶ	数]	設へ移行す しているこ 対象施設の ました。 小規模通所	ると数 授	と よ よ 指 施 設	推奨助しが活	箇所 %	目標(10)	目標( 11 )	90	

#### 事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

- ・平成16年度より利用者数の多い施設に対し定員加算を新設し、運営の安定の確保を図りました。
- ・障害者自立支援法の施行により事業体系の見直しが図られ、平成18年度以降の新規設置はなくなり ました。平成18年10月以降、5年間の経過措置により新たな事業体系(就労継続支援事業や地域活動支援センター等)への移行が求められます。

					市評価	総合評価
評	有	効	性	3	本市では「小規模作業所」から、法定施設である小規模通所授産施設への移行を積極的に進めてまいりました。	
	達	成	度	3	障害者自立支援法の施行により、障害者の日中活動及び就労への支援を図る観点から、新事業体系の移行に対する支援を図っていく必	В
価	効	率	性	3	要があります。	
					行政評価委員会の外部評価	総合評価

#### 4 経常的事務事業

-	事業	名	障害者	<b>首雇用支</b>	援センタ	ーの運営補	助		057	予	会計		01
										算	款	健康福祉費	03
i	部	門	障害児	見・障害者	皆福祉				113		項	社会福祉費	01
7	施	策	就労の	場の確	保と社会	:参加の促進			3	目	目	知的障害者福祉費	03
•	作成部	图署	健康福	祉局障害	<b></b>	管害者支援課	09	01	15	連絡	各先	972-2558	
事			対象	(誰を・	・何を)				意	巡	(ど	ういう状態にしたいのか)	
業の目	障害	者										の円滑な運営を図ることで、障 ます。	害者
的													

障害者雇用支援センターの概要

- 1 実施主体・・・社団法人 愛知県セルプセンター
- 2 対象者・・・市内の在宅障害者及び授産所等の福祉関係施設に入所している障害者の方(定員30名)
- 3 事業内容
- (1) 職業準備訓練
- いろいろな作業への取り組みを通じて就職する上で必要な労働習慣、作業遂行能力、作業態度等を養成します。
- (2) 職場見学・職場実習
- ■個く事に対する意識・意欲を高めるために、事業所の見学や働く体験をします。
- (3) 就職後の職場適応・定着の支援
- 業 職場を訪問し、安定した職場生活が送れるように助言及び指導を行います。
- の (4) 事業所との連携

内 障害者の雇用に関する情報提供、職場実習等の協力事業所の確保、公共職業安定所等の協力による職場開拓を行いま 容 す。

(5) 障害者雇用支援者 (ボランティア) の登録・研修

雇用支援センター内の訓練等を支援したり、余暇活動についての相談や情報提供を行うボランティアを募集し、必要な知識技能の習得を目的に研修を行っています。

(6) 外来職業相談

就職するための心がまえや、障害についての理解、家族の協力などについての相談を行ったり、事業所情報等を提供します。

4 利用料・・・無料 (ただし、通勤交通費・食事代は自己負担です。)

開	始	始 年 度   平成 11 年度   根拠法令・要綱等   障害者					章害者の雇用の促進等に関する法律、障害者雇用支援センター運営費補助金交付要綱						
事	事業費・人員		16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画		名古屋新世紀計画2010第2次実施計画 有 41				41 頁	
事美	事業費(千円)		21, 626 21, 725		26, 277	掲載		個別計画					頁
財	国・県支出金					事	事業の実績		単位	16年度	17年度	目標	₹ 18年度
源	地	方 債	方 債		4.老米	人	29	30	32				
内	その	————— 他特定財源				小儿 机 有 数		以日刻	人	29	30	J <u>Z</u>	
訳	一般財源		21, 626	21, 725	26, 277	2		来相談 件		677	612	700	
職	員数	(人)	0. 1	0. 1	0. 1	٧	件数	女	17	011	012	100	
成	事業の目的の成果を測る指標				指標設定の考え方			単位	16年度	17年度	目標	18年度	
八人		就職率				ンターに在籍			55. 7	59.6			
果	1	①   就職者数   した人の就しました。					職率を指標に			目標	目標	64	
指			0 & 0 / 0 0				( 55.0 )	( 60.0 )					
										目標	目標		
標	2									口 1示	口 1示		

#### 事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成11年度に開設されました。平成11年度は定員15人、平成12年度は定員20人、平成13年度 以降は定員30人となりました。

また、18年度から職場実習訓練(発達障害訓練担当)及び職場定着の支援を担当する職員を増員配置 しました。

市評価						
評	有	効	性	4	障害者の就業意欲が高まる中、改正障害者雇用促進法及び障害者自立支援 法が施行され、障害者の雇用機会の一層の確保が求められています。障害	
	達	成	度	4	者雇用支援センターは本市の障害者雇用のネットワークにおける中核的な	Α
価	効	率	性	4	存在として、その役割はますます重要になっています。	
行政評価委員会の外部評価						総合評価
(この事業に対するコメントはありません。)						Α